

<資料>

国内経済の概況

【経済情勢に関する報告】

○経済・物価情勢の展望 2022年10月 (10月31日、日本銀行)

- ・わが国の景気は、資源高の影響などを受けつつも、新型コロナウイルス感染症抑制と経済活動の両立が進むもとで、持ち直している。海外経済は、総じてみれば緩やかに回復しているが、先進国を中心に減速の動きがみられる。輸出や鉱工業生産は、供給制約の影響が和らぐもとで、基調として増加している。企業収益は全体として高水準で推移しており、業況感は横ばいとなっている。こうしたもとで、設備投資は、一部業種に弱さがみられるものの、持ち直している。雇用・所得環境は、全体として緩やかに改善している。個人消費は、感染症の影響を受けつつも、緩やかに増加している。住宅投資は弱めの動きとなっている。公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。
- ・わが国経済の先行きを展望すると、見通し期間の中盤にかけては、資源高や海外経済減速による下押し圧力を受けるものの、感染症や供給制約の影響が和らぐもとで、緩和的な金融環境や政府の経済対策の効果にも支えられて、回復していくとみられる。海外経済は、世界的なインフレ圧力やそれを受けた各国中央銀行の利上げが続くもとで、減速の動きがみられている。また、原油等の資源価格や小麦等の穀物価格は総じて下落に転じているものの、既往の資源・穀物価格の上昇は、これらの大部分を輸入に頼るわが国において、海外への所得流出（交易利得の悪化）をもたらす、エネルギーや食料品の価格上昇を通じて、家計の実質所得や企業収益に対する下押し要因として作用している。わが国経済は、こうした海外経済の減速や海外への所得流出といった下押し圧力を受けるものの、感染症や供給制約の影響が和らぐもとで、ペントアップ需要を含めた自律的な需要の増加が継続することから、回復していくと考えられる。政府による各種の施策も、所得面へのマイナスの影響を和らげるものと見込まれる。家計部門をみると、雇用面では、正規雇用の増加が続くほか、対面型サービス部門の回復に伴って、非正規雇用の増加も明確化していくとみられる。加えて、労働需給の改善を反映して賃金上昇率も高まることから、雇用者所得は緩やかな増加を続けると予想される。こうしたもとで、個人消費は、物価上昇に伴う実質所得面からの下押し圧力を受けつつも、感染抑制と消費活動の両立が一段と進むもとで、行動制限下で積み上がってきた貯蓄にも支えられたペントアップ需要の顕在化を主因に、増加を続けるとみられる。企業部門をみると、海外経済が先進国を中心に減速するものの、輸出や生産は、供給制約の影響が和らぐもとで、自動車や資本財における高水準の受注残に支えられて、増加基調を続けるとみられる。また、サービス輸出であるインバウンド需要も、入国制限の緩和等を受けて、増加していくと予想される。企業収益は、原材料コスト高が下押し圧力として作用するものの、ペントアップ需要の顕在化などに伴う経済活動の改善が続くもとで、為替円安もあって、業種・規模間のばらつきを伴いつつ、全体として高水準を維持すると予想される。

○月例経済報告 令和4年11月 (11月24日、内閣府)

- ・景気は、緩やかに持ち直している。
- ・先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
- ・住宅建設は、底堅い動きとなっている。持家の着工は、横ばいとなっている。貸家及び分譲住宅の着工は、底堅い動きとなっている。総戸数は、9月は前月比5.1%減の年率85.7万戸となった。なお、首都圏のマンション総販売戸数は、おおむね横ばいとなっている。先行きについては、底堅く推移していくと見込まれる。
- ・対米ドル円レート（インターバンク直物中心相場）は、148円台から139円台まで円高方向に推移した後、140円台まで円安方向に推移した。
- ・長期金利（10年物国債利回り）は、0.2%台で推移した。

○短観 2022年9月 (10月3日、日本銀行)

- ・9月調査の木材・木製品業の業況判断は、6月調査に対して、大企業・中堅企業・中小企業で「良い」の幅が縮小（大企業：±0→-7、中堅企業：+16→+8）、中小企業：-3→-6）。また、先行きは、大企業・中堅企業・中小企業で「良い」の幅が縮小（大企業：-13→-20、中堅企業：-12→-16、中小企業：-7→-10）との見通しである。

短 観 (概要) — 2022年9月 —

第194回 全国企業短期経済観測調査

本件の対外公表は
10月3日(月)8時50分

2022年10月3日
日本銀行調査統計局

I. 全国企業

調査対象企業数

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,804社	5,464社	9,268社	99.5%
うち大企業	959社	857社	1,816社	99.6%
中堅企業	1,010社	1,574社	2,584社	99.6%
中小企業	1,835社	3,033社	4,868社	99.4%

< 回答期間 > 8月29日 ~ 9月30日

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート (全規模・全産業)

		2021年度		2022年度	
		上期	下期	上期	下期
米ドル円 (円/ドル)	2022年6月調査	111.23	109.33	113.13	118.96
	2022年9月調査	—	—	—	125.71
ユーロ円 (円/ユーロ)	2022年6月調査	128.85	128.36	129.33	131.60
	2022年9月調査	—	—	—	134.15

1. 業況判断

(「良い」 - 「悪い」・%ポイント)

	大 企 業						中 堅 企 業						中 小 企 業						
	2022年6月調査		2022年9月調査				2022年6月調査		2022年9月調査				2022年6月調査		2022年9月調査				
	最近	先行き	最近	変化幅		先行き	最近	先行き	最近	変化幅		先行き	最近	先行き	最近	変化幅		先行き	変化幅
				変化幅	変化幅					変化幅	変化幅								
製造業	9	10	8	-1	9	1	0	-3	0	0	-4	-4	-4	-5	-4	0	-5	-1	
繊維	-10	-7	-9	1	6	15	-13	-17	-4	9	-17	-13	-34	-31	-27	7	-29	-2	
木材・木製品	0	-13	-7	-7	-20	-13	16	-12	8	-8	-16	-24	-3	-7	-6	-3	-10	-4	
紙・パルプ	-7	-11	-14	-7	-17	-3	-6	3	-16	-10	-13	3	-19	-14	-10	9	-8	2	
化学	24	17	16	-8	14	-2	10	3	6	-4	-1	-7	5	-4	4	-1	-4	-8	
石油・石炭製品	20	0	7	-13	-14	-21	-5	-27	-10	-5	-6	4	-22	-31	-12	10	-19	-7	
窯業・土石製品	4	-7	9	5	0	-9	-9	-11	-10	-1	-15	-5	-3	-9	-9	-6	-14	-5	
鉄鋼	-6	3	18	24	13	-5	-2	0	11	13	2	-9	10	8	10	0	5	-5	
非鉄金属	15	18	3	-12	3	0	9	0	2	-7	0	-2	18	13	16	-2	9	-7	
食料品	-11	-9	-14	-3	-6	8	-9	-17	-10	-1	-19	-9	-6	-6	-11	-5	-7	4	
金属製品	3	0	0	-3	-3	-3	2	-3	5	3	0	-5	-7	-1	3	10	5	2	
はん用機械	20	21	31	11	28	-3	25	20	15	-10	13	-2	11	3	4	-7	-4	-8	
生産用機械	34	36	33	-1	31	-2	17	13	20	3	10	-10	-3	0	0	3	-2	-2	
業務用機械	22	20	27	5	27	0	23	13	17	-6	11	-6	14	4	7	-7	8	1	
電気機械	23	27	20	-3	22	2	8	9	9	1	6	-3	4	3	2	-2	-2	-4	
造船・重機等	-19	-19	-19	0	-15	4	-8	0	-5	3	0	5	-7	-7	-6	1	-10	-4	
自動車	-19	-5	-15	4	-3	12	-39	-7	-25	14	-5	20	-26	-3	-20	6	2	22	
素材業種	10	5	8	-2	5	-3	0	-6	0	0	-7	-7	-5	-7	-4	1	-8	-4	
加工業種	8	12	8	0	12	4	-1	-1	0	1	-2	-2	-4	-3	-4	0	-2	2	
非製造業	13	13	14	1	11	-3	6	1	7	1	2	-5	-1	-5	2	3	-3	-5	
建設	11	13	16	5	13	-3	12	-3	14	2	4	-10	9	-1	9	0	2	-7	
不動産	22	22	27	5	22	-5	19	9	23	4	11	-12	14	4	14	0	3	-11	
物品賃貸	23	20	30	7	20	-10	15	14	19	4	15	-4	3	6	16	13	6	-10	
卸売	20	14	21	1	19	-2	14	8	12	-2	4	-8	1	-9	0	-1	-6	-6	
小売	7	5	3	-4	3	0	-4	1	-4	0	1	5	-17	-16	-15	2	-14	1	
運輸・郵便	9	2	14	5	4	-10	-11	-15	-8	3	-10	-2	-18	-19	-9	9	-12	-3	
通信	14	21	21	7	21	0	34	20	38	4	38	0	13	10	14	1	17	3	
情報サービス	37	34	36	-1	34	-2	29	21	31	2	25	-6	26	21	27	1	19	-8	
電気・ガス	-11	-15	-17	-6	-17	0	-14	-11	-14	0	-15	-1	12	7	2	-10	7	5	
対事業所サービス	35	35	36	1	31	-5	24	14	25	1	19	-6	14	6	15	1	8	-7	
対個人サービス	18	27	2	-16	15	13	-3	3	-2	1	6	8	-14	-9	-7	7	-4	3	
宿泊・飲食サービス	-31	-18	-28	3	-23	5	-39	-28	-34	5	-22	12	-27	-14	-21	6	-22	-1	
全産業	11	11	11	0	11	0	3	0	4	1	0	-4	-2	-5	0	2	-4	-4	

全規模合計					
製造業	1	-1	0	-1	-1
非製造業	4	0	5	1	-4
全産業	2	-1	3	1	-2

(注) 1. 回答率 = 業況判断の有効回答社数 / 調査対象企業数 × 100

2. 「最近」の変化幅は、前回調査の「最近」との対比。「先行き」の変化幅は、今回調査の「最近」との対比。

3. 「造船・重機等」は自動車以外の輸送用機械。

木材産業関係基本データの推移

年月	①為替(東京 スポット中心 相場月中平均) 円/\$	②製材工場 国産材 入荷量 千m3	③製材工場 製材品 生産量 千m3	④合板工場 国産材 入荷量 千m3	⑤合板工場 合板 生産量 千m3	⑥木材輸入量		⑦木 材 価 格							
						丸太 千m3	製材 千m3	スギ			ホワイトウッド 集成柱 円/本	パルプ向けチップ		合板 針葉樹 円/枚	
								中丸太 円/m3	正角 円/本	KD正角 円/本		針葉樹 円/m3	広葉樹 円/m3		
平成29年	112.16	12,465	9,287	3,750	3,211	3,266	6,170	13,092	1,905	2,188	1,867	6,257	10,891	1,271	
平成30年	110.39	12,526	9,218	4,201	3,216	3,926	5,871	13,575	2,023	2,200	1,875	6,382	11,014	1,287	
令和元年	109.01	13,069	9,175	4,530	3,324	3,019	5,700	13,458	2,046	2,207	1,860	6,586	11,219	1,294	
令和2年	106.78	11,551	8,135	4,131	2,993	2,301	5,000	12,683	2,064	2,205	1,805	6,745	11,386	1,251	
令和3年	109.80	13,019	9,035	4,735	3,215	2,639	4,856	16,125	2,210	3,496	3,121	6,666	11,377	1,363	
令和2年	1	109.34	1,065	700	364	268	225	455	13,000	2,073	2,239	1,800	6,772	11,411	1,310
	2	109.96	1,086	688	384	270	239	373	13,100	2,073	2,239	1,800	6,772	11,411	1,310
	3	107.29	1,120	740	414	263	251	411	12,800	2,073	2,232	1,800	6,772	11,411	1,300
	4	107.93	1,022	723	342	242	204	485	12,300	2,073	2,229	1,800	6,772	11,411	1,280
	5	107.31	942	643	315	224	146	458	12,000	2,067	2,225	1,820	6,772	11,411	1,280
	6	107.56	940	675	324	230	202	533	11,600	2,067	2,225	1,820	6,726	11,411	1,260
	7	106.78	765	651	288	231	187	493	11,900	2,057	2,206	1,820	6,726	11,411	1,220
	8	106.04	793	584	274	215	216	404	12,800	2,057	2,206	1,800	6,726	11,411	1,220
	9	105.74	889	646	319	240	143	337	12,800	2,057	2,153	1,800	6,726	11,411	1,200
	10	105.24	960	725	356	264	155	350	13,100	2,057	2,166	1,800	6,726	11,352	1,200
	11	104.40	982	687	385	272	209	380	13,400	2,057	2,169	1,800	6,726	11,293	1,210
	12	103.82	987	673	367	272	125	323	13,400	2,057	2,169	1,800	6,726	11,293	1,220
令和3年	1	103.70	932	618	335	252	219	322	13,500	2,057	2,176	1,850	6,726	11,411	1,230
	2	105.36	979	662	377	253	187	359	13,300	2,057	2,179	1,850	6,635	11,352	1,230
	3	108.65	1,065	781	422	272	247	381	13,400	2,067	2,206	1,850	6,635	11,352	1,230
	4	109.13	1,121	788	415	265	259	375	13,600	2,133	2,490	1,900	6,635	11,352	1,250
	5	109.19	1,020	738	382	254	213	371	15,500	2,163	2,864	2,300	6,635	11,352	1,270
	6	110.11	1,131	803	412	280	249	426	17,500	2,318	3,697	2,650	6,681	11,352	1,290
	7	110.29	1,156	798	382	277	215	451	17,800	2,361	4,190	2,950	6,681	11,352	1,330
	8	109.84	1,004	726	345	250	243	433	18,100	2,278	4,319	3,600	6,681	11,411	1,360
	9	110.17	1,143	773	398	276	219	433	18,100	2,278	4,415	4,300	6,681	11,411	1,410
	10	113.10	1,175	796	422	281	196	396	18,000	2,282	4,481	4,600	6,681	11,411	1,490
	11	114.13	1,222	803	440	285	218	458	17,500	2,278	4,475	4,800	6,681	11,352	1,540
	12	113.87	1,071	749	404	268	176	451	17,200	2,242	4,461	4,800	6,635	11,411	1,730
令和4年	1	114.83	1,031	646	393	250	226	510	16,900	2,235	4,332	4,800	6,817	11,411	1,890
	2	115.20	1,100	689	463	259	170	434	17,600	2,176	4,329	4,800	6,817	11,411	1,980
	3	118.51	1,223	806	496	279	222	465	17,800	2,176	4,326	4,800	6,862	11,411	2,070
	4	126.04	1,155	791	500	258	234	396	17,500	2,179	4,326	4,800	6,908	11,528	2,170
	5	128.78	1,399	726	430	240	279	463	17,900	2,179	4,359	4,800	6,953	11,646	2,210
	6	133.86	1,517	809	469	270	274	442	17,800	2,179	4,346	4,600	6,953	11,646	2,300
	7	136.63	1,389	752	424	265	163	429	17,500	2,179	4,339	4,500	6,953	11,646	2,360
	8	135.24	1,310	698	385	240	223	490	17,400	2,136	4,180	4,200	6,953	11,705	2,360
	9	143.14	1,326	711	402	252	174	355	17,400	2,100	3,962	4,000	6,953	11,705	2,350
	10	147.01	1,326	705	379	227			18,000	-	3,793	3,700	7,044	11,705	-
	11											3,500			

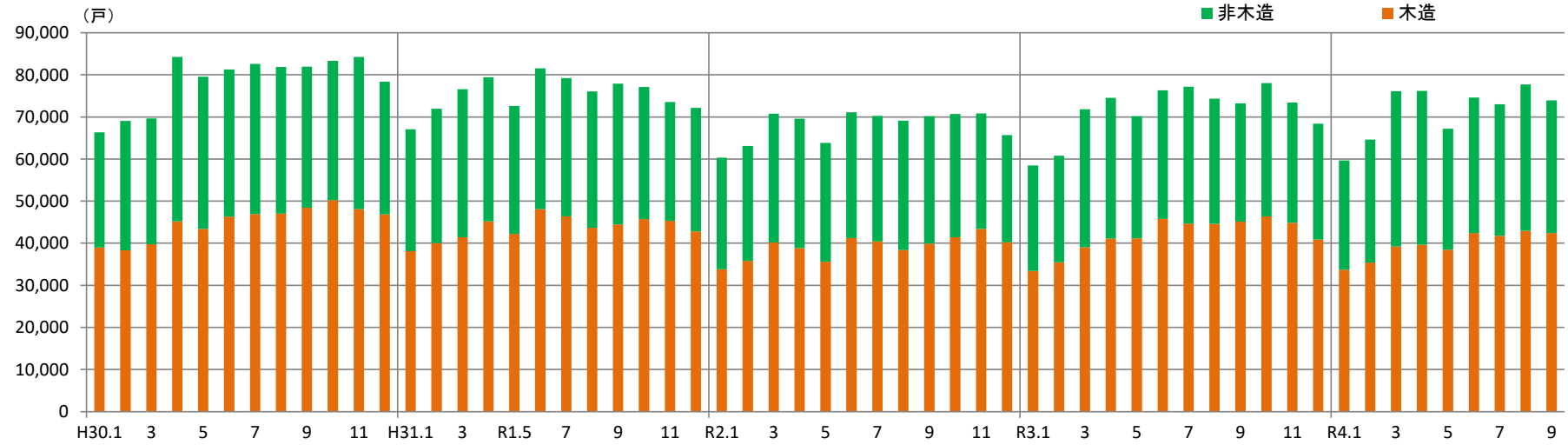
関連資料：①日本銀行「主要時系列統計データ表(月次)」②～⑤農林水産省「製材統計」「合板統計」、⑥農林水産省「農林水産物輸出入情報」、⑦農林水産省「木材価格」、うちホワイトウッド集成柱は「日刊木材新聞調べ」(※農林水産省「木材価格」は、平成30年1月から、平成28年の素材・木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しを行ったことから、平成29年12月以前の数値とは接続しない。スギ正角及び針葉樹合板の価格は、令和4年1月から四半期毎(4月、7月、10月及び翌1月)の公表としている。)

全国の新設住宅着工戸数及び床面積

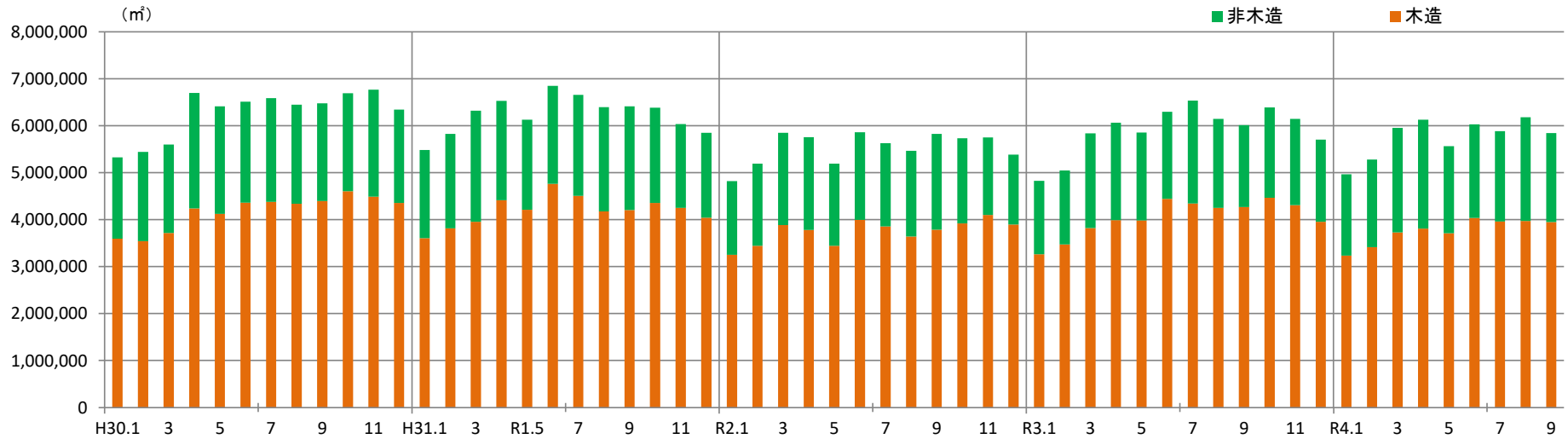
年月	新設住宅着工戸数(戸)								新設住宅着工床面積(m ²)								木造1戸あたりの床面積(m ²)
	総数	木造	木造			非木造	木造率	総数	木造	木造			非木造	木造率			
			軸組	2×4	プレハブ					軸組	2×4	プレハブ					
平成29年	964,641	545,366	412,004	120,059	13,303	419,275	56.5	77,514,644	50,346,278	39,926,113	9,009,512	1,410,653	27,168,366	65.0	92.32		
平成30年	942,370	539,394	409,873	116,988	12,533	402,976	57.2	75,309,090	50,144,489	39,859,749	8,928,890	1,355,850	25,164,601	66.6	92.96		
令和元年	905,123	523,319	401,584	109,625	12,110	381,804	57.8	74,875,931	50,297,820	40,571,300	8,442,900	1,283,620	24,578,111	67.2	96.11		
令和2年	815,340	469,295	365,464	93,009	10,822	346,045	57.6	66,464,243	44,991,375	36,770,304	7,111,272	1,109,799	21,472,868	67.7	95.87		
令和3年	856,484	502,330	395,803	96,018	10,509	354,154	58.7	70,846,168	48,564,449	39,971,820	7,522,603	1,070,026	22,281,719	68.5	96.68		
令和2年	1	60,341	33,849	26,055	7,013	781	26,492	56.1	4,820,770	3,248,917	2,620,105	547,481	81,331	1,571,853	67.4	95.98	
	2	63,105	35,824	27,778	7,285	761	27,281	56.8	5,193,980	3,441,666	2,795,594	562,944	83,128	1,752,314	66.3	96.07	
	3	70,729	40,139	30,588	8,668	883	30,590	56.8	5,848,292	3,886,184	3,141,841	652,774	91,569	1,962,108	66.4	96.82	
	4	69,568	38,849	30,323	7,717	809	30,719	55.8	5,758,259	3,778,505	3,111,171	584,346	82,988	1,979,754	65.6	97.26	
	5	63,839	35,634	27,916	6,778	940	28,205	55.8	5,195,155	3,440,711	2,832,965	515,666	92,080	1,754,444	66.2	96.56	
	6	71,101	41,218	32,981	7,280	957	29,883	58.0	5,861,263	3,997,158	3,324,681	568,703	103,774	1,864,105	68.2	96.98	
	7	70,244	40,450	31,671	7,835	944	29,794	57.6	5,626,216	3,856,587	3,153,010	606,285	97,292	1,769,629	68.5	95.34	
	8	69,101	38,410	29,952	7,485	973	30,691	55.6	5,465,808	3,642,719	2,981,974	566,528	94,217	1,823,089	66.6	94.84	
	9	70,186	39,905	30,368	8,575	962	30,281	56.9	5,824,511	3,784,025	3,039,735	647,105	97,185	2,040,486	65.0	94.83	
	10	70,685	41,424	32,239	8,248	937	29,261	58.6	5,735,154	3,919,067	3,199,895	626,706	92,466	1,816,087	68.3	94.61	
	11	70,798	43,386	33,858	8,557	971	27,412	61.3	5,749,804	4,097,177	3,351,339	644,819	101,019	1,652,627	71.3	94.44	
	12	65,643	40,207	31,735	7,568	904	25,436	61.3	5,385,031	3,898,659	3,217,994	587,915	92,750	1,486,372	72.4	96.96	
令和3年	1	58,448	33,400	26,829	5,933	638	25,048	57.1	4,824,892	3,265,609	2,704,922	491,877	68,810	1,559,283	67.7	97.77	
	2	60,764	35,448	28,162	6,575	711	25,316	58.3	5,045,477	3,472,987	2,880,801	522,114	70,072	1,572,490	68.8	97.97	
	3	71,787	39,008	31,159	7,029	820	32,779	54.3	5,837,903	3,818,104	3,175,610	557,762	84,732	2,019,799	65.4	97.88	
	4	74,521	41,056	32,479	7,803	774	33,465	55.1	6,064,027	3,990,470	3,297,172	610,379	82,919	2,073,557	65.8	97.20	
	5	70,178	41,156	32,512	7,894	750	29,022	58.6	5,852,123	3,983,307	3,282,444	622,770	78,093	1,868,816	68.1	96.79	
	6	76,312	45,750	35,804	8,888	1,058	30,562	60.0	6,294,542	4,445,256	3,635,103	703,298	106,855	1,849,286	70.6	97.16	
	7	77,182	44,659	35,535	8,308	816	32,523	57.9	6,532,469	4,344,379	3,602,972	656,453	84,954	2,188,090	66.5	97.28	
	8	74,303	44,587	34,974	8,662	951	29,716	60.0	6,147,403	4,250,531	3,475,752	674,933	99,846	1,896,872	69.1	95.33	
	9	73,178	45,126	34,783	9,220	1,123	28,052	61.7	6,012,497	4,266,874	3,462,559	699,929	104,386	1,745,623	71.0	94.55	
	10	78,004	46,399	35,967	9,364	1,068	31,605	59.5	6,389,681	4,464,298	3,640,818	715,764	107,716	1,925,383	69.9	96.22	
	11	73,414	44,881	35,379	8,526	976	28,533	61.1	6,142,946	4,309,659	3,556,143	655,912	97,604	1,833,287	70.2	96.02	
	12	68,393	40,860	32,220	7,816	824	27,533	59.7	5,702,208	3,952,975	3,257,524	611,412	84,039	1,749,233	69.3	96.74	
令和4年	1	59,690	33,714	27,308	5,854	552	25,976	56.5	4,967,628	3,231,880	2,709,697	464,090	58,093	1,735,748	65.1	95.86	
	2	64,614	35,407	28,502	6,194	711	29,207	54.8	5,282,200	3,415,577	2,850,919	492,813	71,845	1,866,623	64.7	96.47	
	3	76,120	39,225	30,524	7,921	780	36,895	51.5	5,953,188	3,727,955	3,053,107	595,288	79,560	2,225,233	62.6	95.04	
	4	76,179	39,625	31,172	7,625	828	36,554	52.0	6,125,363	3,806,828	3,130,071	594,109	82,648	2,318,535	62.1	96.07	
	5	67,193	38,427	30,536	7,194	697	28,766	57.2	5,564,283	3,712,018	3,074,381	562,540	75,097	1,852,265	66.7	96.60	
	6	74,596	42,380	33,288	8,148	944	32,216	56.8	6,027,208	4,033,885	3,310,631	626,768	96,486	1,993,323	66.9	95.18	
	7	72,981	41,731	33,142	7,641	948	31,250	57.2	5,881,484	3,960,575	3,274,588	598,203	87,784	1,920,909	67.3	94.91	
	8	77,712	42,923	33,933	8,016	974	34,789	55.2	6,177,881	3,969,311	3,269,187	606,284	93,840	2,208,570	64.3	92.48	
	9	73,920	42,381	33,101	8,383	897	31,539	57.3	5,843,663	3,947,329	3,224,145	635,208	87,976	1,896,334	67.5	93.14	

資料：国土交通省「住宅着工統計 月次 第18表(新設住宅)利用関係別、構造別、建て方別/戸数床面積」、「第29表(プレハブ新設住宅)利用関係別、構造別、建て方別/戸数床面積」、「第43表(ツーバイフォー新設住宅)利用関係別、構造別、建て方別/戸数床面積」

全国の新設住宅着工戸数



全国の新設住宅床面積

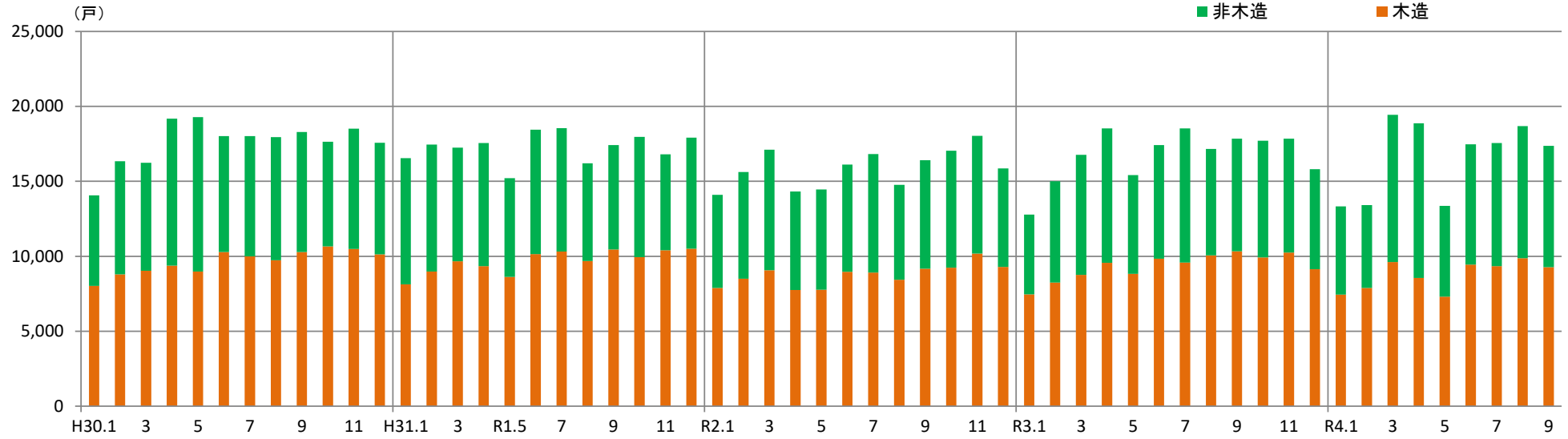


管内の新設住宅着工戸数及び床面積

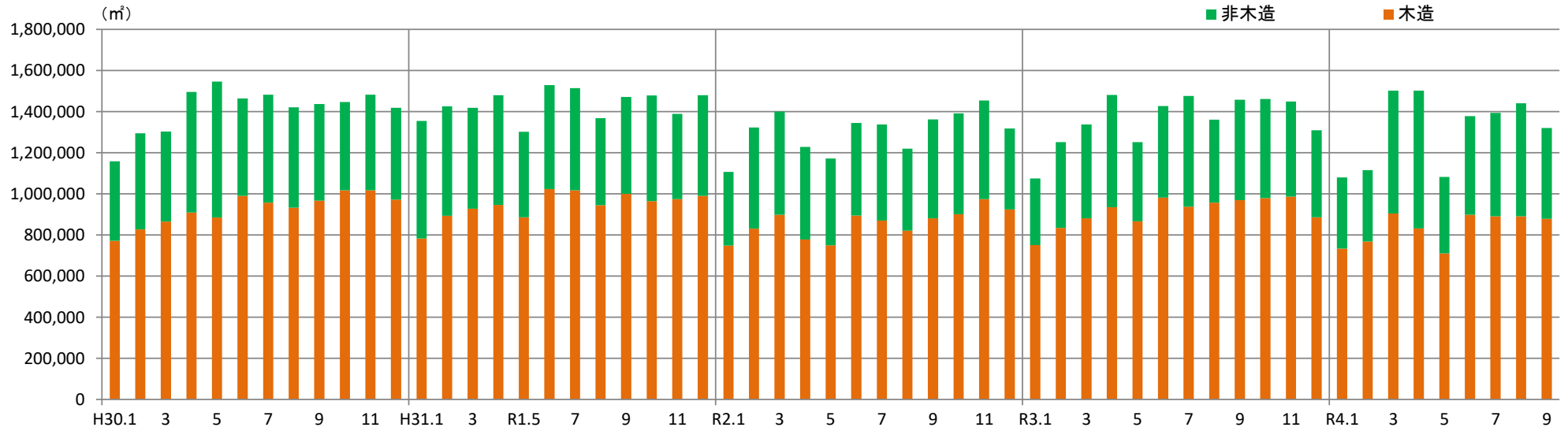
年月	新設住宅着工戸数(戸)									新設住宅着工床面積(m ²)							木造1戸あたりの床面積(m ²)	
	総数	対全国シェア	木造	木造			非木造	木造率	総数	対全国シェア	木造	木造			非木造	木造率		
				軸組	2×4	プレハブ						軸組	2×4	プレハブ				
平成29年	208,932	21.7	114,402	90,379	21,196	2,827	94,530	54.8	17,020,011	22.0	10,996,914	9,119,000	1,563,401	314,513	6,023,097	64.6	96.13	
平成30年	211,103	22.4	115,781	91,014	21,970	2,797	95,322	54.8	16,954,754	22.5	11,116,527	9,169,942	1,628,150	318,435	5,838,227	65.6	96.01	
令和元年	207,319	22.9	116,184	92,421	21,103	2,660	91,135	56.0	17,216,351	23.0	11,356,551	9,483,671	1,580,014	292,866	5,859,800	66.0	97.75	
令和2年	190,668	23.4	105,179	85,128	17,819	2,232	85,489	55.2	15,662,158	23.6	10,274,889	8,703,335	1,329,327	242,227	5,387,269	65.6	97.69	
令和3年	200,833	23.4	111,982	91,315	18,662	2,005	88,851	55.8	16,344,134	23.1	10,969,655	9,338,004	1,418,094	213,557	5,374,479	67.1	97.96	
令和2年	1	14,095	23.4	7,880	6,323	1,398	159	6,215	55.9	1,107,198	23.0	748,793	626,364	103,948	18,481	358,405	67.6	95.02
	2	15,629	24.8	8,498	6,724	1,585	189	7,131	54.4	1,323,620	25.5	831,576	693,568	116,629	21,379	492,044	62.8	97.86
	3	17,109	24.2	9,074	7,105	1,763	206	8,035	53.0	1,400,238	23.9	898,020	744,812	131,250	21,958	502,218	64.1	98.97
	4	14,321	20.6	7,758	6,259	1,343	156	6,563	54.2	1,228,253	21.3	778,908	662,059	100,961	15,888	449,345	63.4	100.40
	5	14,460	22.7	7,768	6,049	1,508	211	6,692	53.7	1,172,804	22.6	750,688	621,113	108,115	21,460	422,116	64.0	96.64
	6	16,112	22.7	8,964	7,587	1,198	179	7,148	55.6	1,344,853	22.9	894,742	778,169	95,444	21,129	450,111	66.5	99.82
	7	16,824	24.0	8,916	7,306	1,432	178	7,908	53.0	1,338,327	23.8	870,624	741,533	109,455	19,636	467,703	65.1	97.65
	8	14,760	21.4	8,441	6,937	1,317	187	6,319	57.2	1,220,041	22.3	820,895	702,911	99,514	18,470	399,146	67.3	97.25
	9	16,412	23.4	9,164	7,370	1,610	184	7,248	55.8	1,362,514	23.4	880,817	742,542	117,101	21,174	481,697	64.6	96.12
	10	17,050	24.1	9,242	7,540	1,487	215	7,808	54.2	1,391,419	24.3	900,587	764,494	114,405	21,688	490,832	64.7	97.45
	11	18,033	25.5	10,178	8,176	1,801	201	7,855	56.4	1,454,835	25.3	975,198	826,375	126,996	21,827	479,637	67.0	95.81
	12	15,863	24.2	9,296	7,752	1,377	167	6,567	58.6	1,318,056	24.5	924,041	799,395	105,509	19,137	394,015	70.1	99.40
令和3年	1	12,774	21.9	7,456	6,329	994	133	5,318	58.4	1,074,776	22.3	751,444	650,128	86,017	15,299	323,332	69.9	100.78
	2	15,000	24.7	8,253	6,893	1,217	143	6,747	55.0	1,252,296	24.8	835,076	720,734	100,264	14,078	417,220	66.7	101.18
	3	16,761	23.3	8,760	7,231	1,387	142	8,001	52.3	1,338,154	22.9	881,655	757,748	107,067	16,840	456,499	65.9	100.65
	4	18,532	24.9	9,563	7,927	1,499	137	8,969	51.6	1,481,285	24.4	935,529	808,511	111,520	15,498	545,756	63.2	97.83
	5	15,421	22.0	8,825	7,079	1,615	131	6,596	57.2	1,251,757	21.4	866,429	730,820	120,368	15,241	385,328	69.2	98.18
	6	17,419	22.8	9,839	8,005	1,630	204	7,580	56.5	1,428,119	22.7	981,943	834,045	127,756	20,142	446,176	68.8	99.80
	7	18,540	24.0	9,582	7,903	1,520	159	8,958	51.7	1,476,649	22.6	937,820	804,448	116,886	16,486	538,829	63.5	97.87
	8	17,159	23.1	10,068	8,129	1,732	207	7,091	58.7	1,360,860	22.1	957,751	807,980	128,175	21,596	403,109	70.4	95.13
	9	17,845	24.4	10,327	8,346	1,820	161	7,518	57.9	1,458,477	24.3	969,371	819,132	131,881	18,358	489,106	66.5	93.87
	10	17,710	22.7	9,924	8,146	1,591	187	7,786	56.0	1,462,051	22.9	979,483	839,216	119,364	20,903	482,568	67.0	98.70
	11	17,854	24.3	10,250	8,152	1,889	209	7,604	57.4	1,449,666	23.6	987,432	826,664	140,095	20,673	462,234	68.1	96.33
	12	15,818	23.1	9,135	7,175	1,768	192	6,683	57.8	1,310,044	23.0	885,722	738,578	128,701	18,443	424,322	67.6	96.96
令和4年	1	13,332	22.3	7,442	6,335	1,006	101	5,890	55.8	1,080,339	21.7	734,233	640,262	82,226	11,745	346,106	68.0	98.66
	2	13,409	20.8	7,888	6,538	1,242	108	5,521	58.8	1,115,820	21.1	768,029	661,944	94,273	11,812	347,791	68.8	97.37
	3	19,441	25.5	9,616	7,445	2,057	114	9,825	49.5	1,502,977	25.2	904,365	752,421	139,178	12,766	598,612	60.2	94.05
	4	18,876	24.8	8,553	7,091	1,332	130	10,323	45.3	1,502,708	24.5	832,911	714,363	105,395	13,153	669,797	55.4	97.38
	5	13,360	19.9	7,312	5,735	1,459	118	6,048	54.7	1,082,333	19.5	710,611	587,574	110,322	12,715	371,722	65.7	97.18
	6	17,466	23.4	9,437	7,574	1,641	222	8,029	54.0	1,378,971	22.9	899,093	759,024	120,508	19,561	479,878	65.2	95.27
	7	17,549	24.0	9,339	7,727	1,469	143	8,210	53.2	1,394,499	23.7	891,414	764,092	110,926	16,396	503,085	63.9	95.45
	8	18,690	24.1	9,870	8,095	1,642	133	8,820	52.8	1,440,825	23.3	891,202	758,218	119,297	13,687	549,623	61.9	90.29
	9	17,368	23.5	9,274	7,473	1,672	129	8,094	53.4	1,320,916	22.6	878,866	740,730	123,419	14,717	442,050	66.5	94.77

資料：国土交通省「住宅着工統計 月次 第18表(新設住宅)利用関係別、構造別、建て方別/戸数床面積」、「第29表(プレハブ新設住宅)利用関係別、構造別、建て方別/戸数床面積」、「第43表(ツーバイフォー新設住宅)利用関係別、構造別、建て方別/戸数床面積」

管内の新設住宅着工戸数



管内の新設住宅床面積

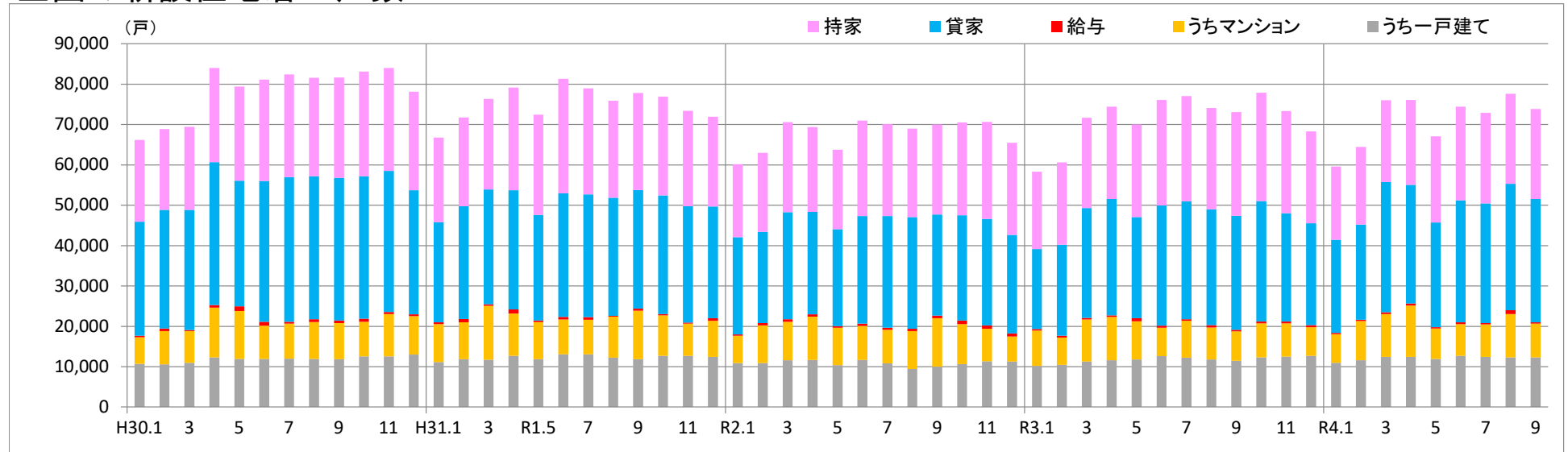


全国の新設住宅着工戸数及び床面積(利用関係別)

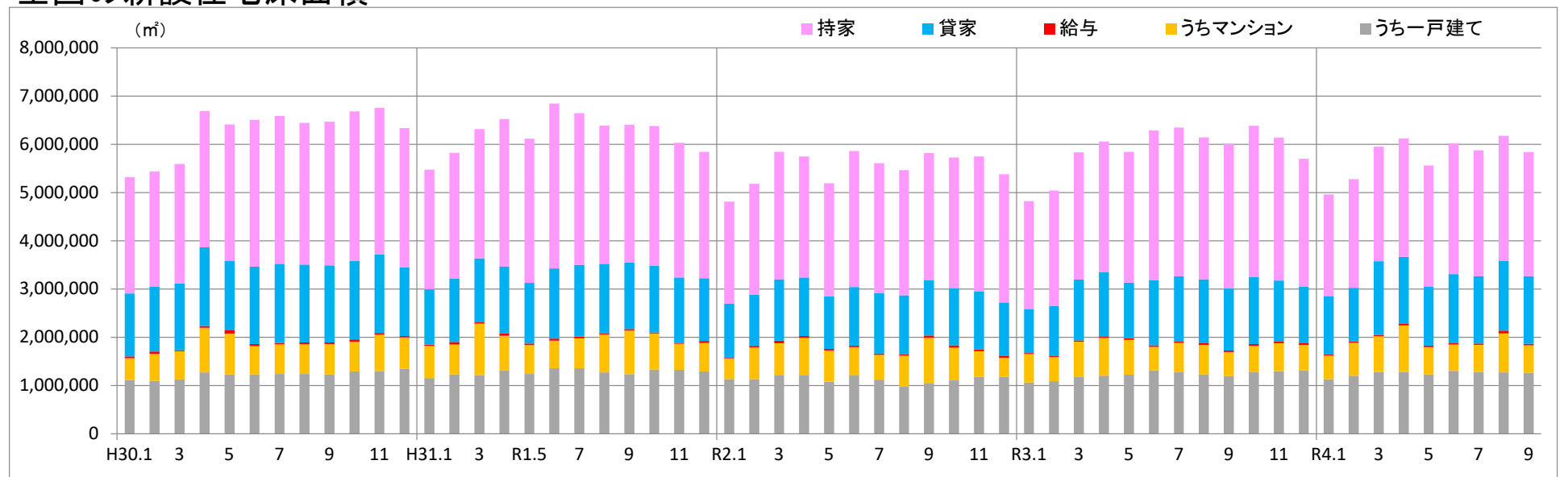
年月	新設住宅着工戸数(戸)								新設住宅着工床面積(m ²)								
	総数	持家	貸家	給与	分譲	持家+分譲一戸		総数	持家	貸家	給与	分譲	持家+分譲一戸				
						うちマンション	うち一戸建て						うちマンション	うち一戸建て			
平成29年	964,641	284,283	419,397	5,770	255,191	114,830	138,189	43.8	77,514,644	34,327,638	19,548,703	392,313	23,245,990	8,820,182	#####	62.8	
平成30年	942,370	283,235	396,374	7,468	255,263	110,510	142,393	45.2	75,309,090	33,967,273	18,245,287	477,432	22,619,098	7,828,137	#####	64.6	
令和元年	905,123	288,738	342,289	6,400	267,696	117,803	147,522	48.2	74,875,931	34,388,473	16,227,593	419,330	23,839,995	8,420,440	#####	66.4	
令和2年	815,340	261,088	306,753	7,231	240,268	107,884	130,753	48.1	66,454,243	30,802,712	14,101,103	434,145	21,116,283	7,455,080	#####	66.8	
令和3年	856,484	285,575	321,376	5,589	243,944	101,292	141,094	49.8	70,666,168	33,558,191	14,838,514	363,802	21,905,661	7,184,706	#####	68.2	
令和2年	1	60,341	18,037	24,147	301	17,856	6,789	10,881	47.9	4,820,770	2,110,166	1,127,399	16,599	1,566,606	422,314	1,135,089	67.3
	2	63,105	19,557	22,638	548	20,362	9,353	10,907	48.3	5,193,980	2,299,189	1,057,449	30,599	1,806,743	658,905	1,133,394	66.1
	3	70,729	22,327	26,545	637	21,220	9,500	11,616	48.0	5,848,292	2,639,888	1,275,632	54,365	1,878,407	666,912	1,207,432	65.8
	4	69,568	21,018	25,379	614	22,557	10,723	11,665	47.0	5,758,259	2,511,887	1,214,466	34,109	1,997,797	779,456	1,209,915	64.6
	5	63,839	19,697	24,041	344	19,757	9,292	10,381	47.1	5,195,155	2,342,561	1,091,657	29,072	1,731,865	646,675	1,081,605	65.9
	6	71,101	23,650	26,666	596	20,189	8,422	11,658	49.7	5,861,263	2,816,470	1,212,195	35,563	1,797,035	585,607	1,207,907	68.7
	7	70,244	22,708	27,696	481	19,359	8,352	10,820	47.7	5,616,216	2,693,997	1,252,697	27,763	1,641,759	513,284	1,120,981	67.9
	8	69,101	21,915	27,671	582	18,933	9,377	9,455	45.4	5,465,808	2,589,072	1,219,748	33,175	1,623,813	636,932	983,501	65.4
	9	70,186	22,337	25,053	637	22,159	11,970	10,036	46.1	5,824,511	2,630,723	1,152,169	49,510	1,992,109	944,946	1,042,103	63.1
	10	70,685	23,013	26,043	923	20,706	9,908	10,647	47.6	5,735,154	2,707,364	1,188,824	48,162	1,790,804	678,979	1,104,084	66.5
	11	70,798	24,010	26,451	789	19,548	8,049	11,372	50.0	5,749,804	2,800,758	1,198,073	36,105	1,714,868	530,927	1,179,693	69.2
	12	65,643	22,819	24,423	779	17,622	6,149	11,315	52.0	5,385,031	2,660,637	1,110,794	39,123	1,574,477	390,143	1,179,592	71.3
令和3年	1	58,448	19,200	19,794	365	19,089	8,775	10,213	50.3	4,824,892	2,234,388	911,499	22,513	1,656,492	588,722	1,064,241	68.4
	2	60,764	20,390	22,556	420	17,398	6,779	10,470	50.8	5,045,477	2,387,687	1,030,949	28,743	1,598,098	504,079	1,088,688	68.9
	3	71,787	22,340	27,245	378	21,824	10,392	11,319	46.9	5,837,903	2,633,547	1,261,101	26,440	1,916,815	733,810	1,176,715	65.3
	4	74,521	22,877	28,825	336	22,483	10,776	11,595	46.3	6,064,027	2,708,776	1,339,188	23,979	1,992,084	786,691	1,201,683	64.5
	5	70,178	22,887	25,074	791	21,426	9,444	11,797	49.4	5,852,123	2,713,669	1,150,922	37,072	1,950,460	720,634	1,224,025	67.3
	6	76,312	26,151	29,802	482	19,877	7,024	12,654	50.9	6,294,542	3,103,650	1,351,157	31,460	1,808,275	484,115	1,317,340	70.2
	7	77,182	26,071	29,230	401	21,480	9,117	12,242	49.6	6,352,469	3,081,904	1,357,800	24,599	1,888,166	607,692	1,275,162	68.6
	8	74,303	25,100	28,733	534	19,936	7,968	11,783	49.6	6,147,403	2,941,179	1,322,660	37,786	1,845,778	612,012	1,227,879	67.8
	9	73,178	25,659	28,254	410	18,855	7,251	11,505	50.8	6,012,497	2,999,966	1,285,265	32,210	1,695,056	495,383	1,196,778	69.8
	10	78,004	26,840	29,822	506	20,836	8,436	12,284	50.2	6,389,681	3,141,379	1,384,365	34,549	1,829,388	547,086	1,277,614	69.2
	11	73,414	25,329	26,819	453	20,813	8,239	12,509	51.5	6,142,946	2,965,006	1,268,737	28,442	1,880,761	580,576	1,298,013	69.4
	12	68,393	22,731	25,222	513	19,927	7,091	12,723	51.8	5,702,208	2,647,040	1,174,871	36,009	1,844,288	523,906	1,315,824	69.5
令和4年	1	59,690	18,130	23,083	323	18,154	7,071	11,003	48.8	4,967,628	2,108,401	1,216,105	22,803	1,620,319	482,179	1,134,909	65.3
	2	64,614	19,258	23,583	320	21,453	9,727	11,590	47.7	5,282,200	2,250,090	1,114,572	25,943	1,891,595	685,579	1,200,268	65.3
	3	76,120	20,246	32,305	425	23,144	10,618	12,439	42.9	5,953,188	2,371,245	1,530,695	28,490	2,022,758	735,119	1,284,638	61.4
	4	76,179	21,014	29,444	522	25,199	12,685	12,448	43.9	6,125,363	2,452,068	1,394,637	31,835	2,246,823	958,932	1,285,006	61.0
	5	67,193	21,307	25,942	349	19,595	7,569	11,905	49.4	5,564,283	2,503,543	1,227,085	30,121	1,803,534	568,195	1,229,502	67.1
	6	74,596	23,184	30,285	435	20,692	7,855	12,689	48.1	6,027,208	2,713,440	1,422,150	35,127	1,856,491	546,388	1,304,685	66.7
	7	72,981	22,406	29,668	295	20,612	8,053	12,461	47.8	5,881,484	2,609,887	1,394,399	27,406	1,849,792	562,061	1,283,519	66.2
	8	77,712	22,291	31,295	954	23,172	10,727	12,341	44.6	6,177,881	2,594,445	1,441,890	58,487	2,083,059	807,477	1,271,879	62.6
	9	73,920	22,248	30,555	351	20,766	8,386	12,290	46.7	5,843,663	2,573,386	1,401,383	30,924	1,837,970	568,106	1,266,050	65.7

資料:国土交通省「建築着工統計調査(時系列)【住宅】都道府県別着工戸数、【住宅】都道府県別着工床面積

全国の新設住宅着工戸数



全国の新設住宅床面積

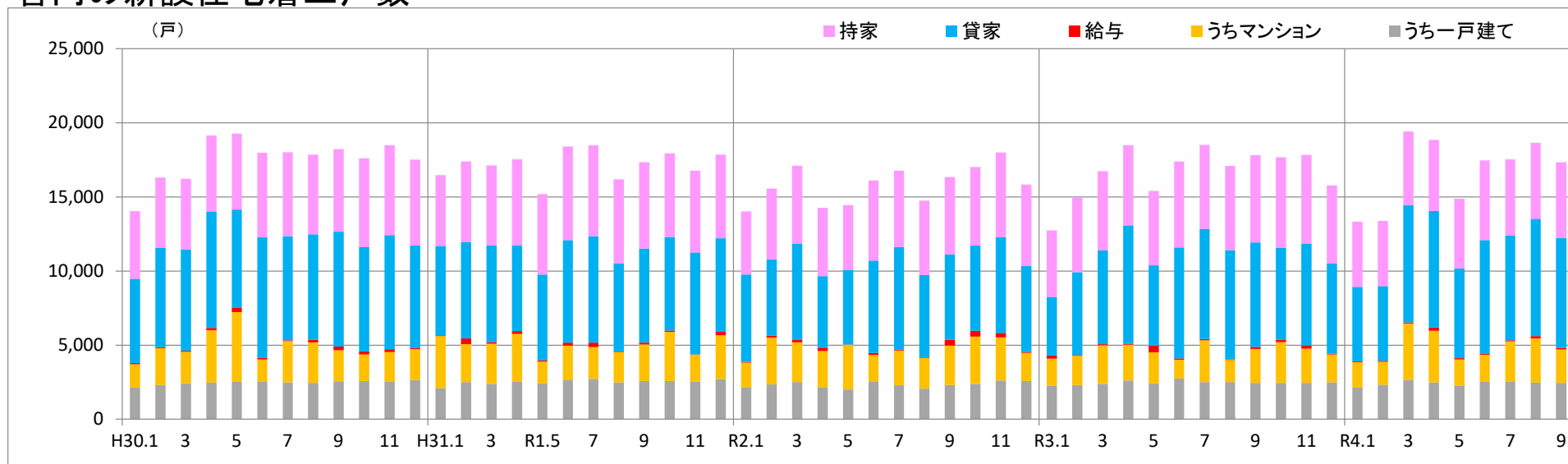


管内の新設住宅着工戸数及び床面積(利用関係別)

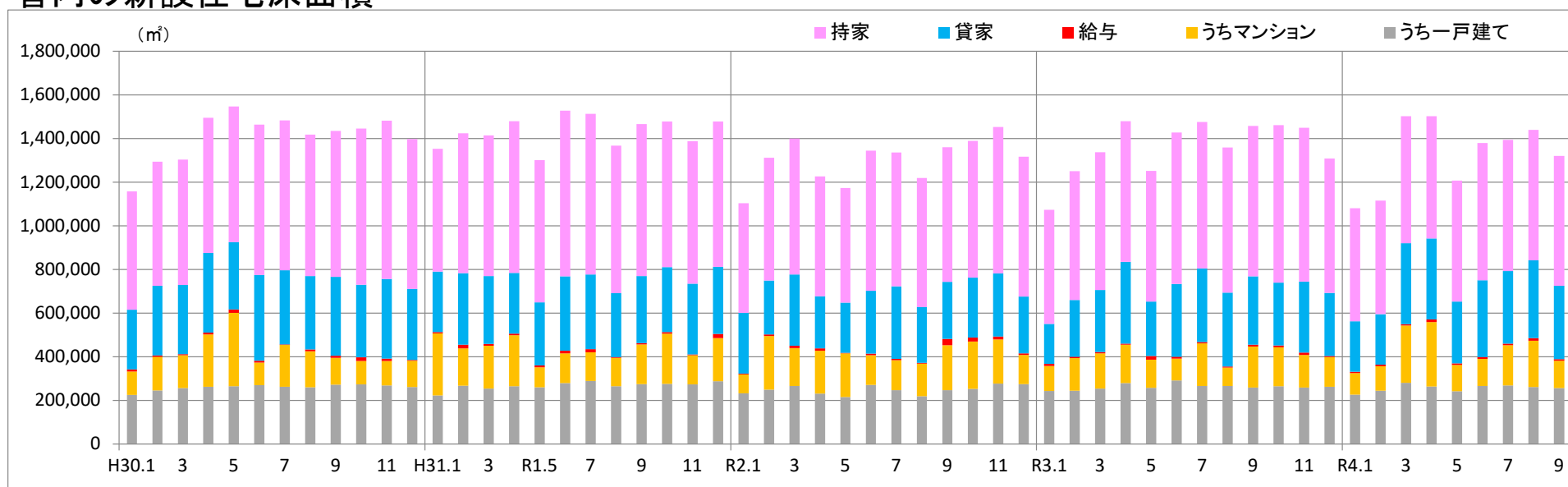
年月	新設住宅着工戸数(戸)								新設住宅着工床面積(m ²)								
	総数	持家	貸家	給与	分譲	持家+分譲一戸		総数	持家	貸家	給与	分譲	持家+分譲一戸				
						うちマンション	うち一戸建て						うちマンション	うち一戸建て			
平成29年	208,932	64,053	88,361	979	55,539	26,547	28,794	44.4	17,020,011	7,732,689	4,197,967	70,020	5,019,335	1,962,883	3,046,815	63.3	
平成30年	211,103	64,519	85,371	1,733	59,480	29,319	29,804	44.7	16,954,754	7,747,643	4,033,826	105,287	5,067,998	1,910,466	3,122,641	64.1	
令和元年	207,319	67,511	76,555	1,881	61,372	30,572	30,202	47.1	17,216,351	8,049,943	3,694,950	112,781	5,358,677	2,119,211	3,212,925	65.4	
令和2年	190,668	60,517	69,859	2,030	58,262	29,775	28,077	46.5	15,662,158	7,170,086	3,280,603	116,689	5,094,780	2,084,386	2,983,218	64.8	
令和3年	200,833	65,645	77,851	1,629	55,708	25,739	29,630	47.4	16,344,134	7,748,380	3,577,853	96,376	4,921,525	1,761,815	3,145,637	66.7	
令和2年	1	14,095	4,261	5,890	51	3,893	1,648	2,172	45.6	1,107,198	503,027	278,479	3,095	322,597	86,388	232,867	66.5
	2	15,629	4,785	5,142	146	5,556	3,148	2,355	45.7	1,323,620	562,367	246,657	7,238	507,358	246,085	249,166	61.3
	3	17,109	5,242	6,472	206	5,189	2,679	2,510	45.3	1,400,238	623,544	326,755	10,331	439,608	173,284	266,324	63.6
	4	14,321	4,601	4,833	231	4,656	2,425	2,181	47.4	1,228,253	549,704	238,698	10,068	429,783	196,176	231,715	63.6
	5	14,460	4,377	5,030	25	5,028	3,016	2,012	44.2	1,172,804	525,352	229,165	2,270	416,017	200,200	215,817	63.2
	6	16,112	5,405	6,232	131	4,344	1,783	2,561	49.4	1,344,853	642,783	287,731	7,305	407,034	136,375	270,659	67.9
	7	16,824	5,134	6,953	48	4,689	2,330	2,308	44.2	1,338,327	613,942	332,042	6,195	386,148	137,472	246,497	64.3
	8	14,760	5,007	5,553	35	4,165	2,080	2,070	47.9	1,220,041	592,492	255,401	3,310	368,838	149,247	219,091	66.5
	9	16,412	5,208	5,772	400	5,032	2,649	2,321	45.9	1,362,514	616,864	261,781	29,326	454,543	205,632	246,624	63.4
	10	17,050	5,298	5,744	390	5,618	3,192	2,392	45.1	1,391,419	627,489	273,837	18,063	472,030	217,830	252,291	63.2
	11	18,033	5,713	6,456	293	5,571	2,918	2,617	46.2	1,454,835	671,148	289,959	12,359	481,369	202,317	277,446	65.2
	12	15,863	5,486	5,782	74	4,521	1,907	2,578	50.8	1,318,056	641,374	260,098	7,129	409,455	133,380	274,721	69.5
令和3年	1	12,774	4,488	3,961	220	4,105	1,799	2,285	53.0	1,074,776	523,274	183,215	9,529	358,758	114,308	243,574	71.3
	2	15,000	5,029	5,592	50	4,329	1,978	2,314	49.0	1,252,296	590,855	260,282	5,303	395,856	149,934	244,236	66.7
	3	16,761	5,339	6,323	80	5,019	2,612	2,380	46.1	1,338,154	631,355	283,423	6,434	416,942	161,722	253,678	66.1
	4	18,532	5,402	7,996	62	5,072	2,417	2,617	43.3	1,481,285	644,654	374,807	5,496	456,328	176,133	278,810	62.3
	5	15,421	5,019	5,433	439	4,530	2,096	2,425	48.3	1,251,757	598,326	249,315	17,550	386,566	128,592	257,647	68.4
	6	17,419	5,813	7,476	96	4,034	1,276	2,741	49.1	1,428,119	694,344	333,924	8,391	391,460	99,534	291,376	69.0
	7	18,540	5,652	7,441	93	5,354	2,817	2,511	44.0	1,476,649	670,555	337,549	6,002	462,543	195,461	265,850	63.4
	8	17,159	5,673	7,382	46	4,058	1,492	2,504	47.7	1,360,860	664,166	338,903	4,827	352,964	84,391	266,122	68.4
	9	17,845	5,881	7,040	145	4,779	2,294	2,454	46.7	1,458,477	689,008	313,597	8,516	447,356	187,418	258,804	65.0
	10	17,710	6,114	6,214	155	5,227	2,750	2,455	48.4	1,462,051	721,101	288,027	8,681	444,242	178,494	264,579	67.4
	11	17,854	5,983	6,890	198	4,783	2,320	2,452	47.2	1,449,666	705,092	325,670	10,877	408,027	149,181	258,601	66.5
	12	15,818	5,252	6,103	45	4,418	1,888	2,492	49.0	1,310,044	615,650	289,141	4,770	400,483	136,647	262,360	67.0
令和4年	1	13,332	4,390	5,030	47	3,865	1,716	2,143	49.0	1,080,339	517,996	231,085	5,487	325,771	99,537	225,835	68.9
	2	13,409	4,408	5,034	67	3,900	1,550	2,329	50.2	1,115,820	519,916	230,787	7,188	357,929	112,447	244,566	68.5
	3	19,441	4,963	7,906	70	6,502	3,799	2,673	39.3	1,502,977	581,566	371,206	5,611	544,594	263,175	280,526	57.4
	4	18,876	4,790	7,846	234	6,006	3,480	2,493	38.6	1,502,708	559,959	371,168	12,251	559,330	294,025	264,263	54.8
	5	14,869	4,699	6,036	99	4,035	1,762	2,273	46.9	1,206,552	554,007	282,313	7,765	362,467	120,569	241,898	66.0
	6	17,466	5,368	7,653	81	4,364	1,823	2,537	45.3	1,378,971	628,226	351,618	8,607	390,520	124,407	265,907	64.8
	7	17,549	5,144	7,052	72	5,281	2,706	2,560	43.9	1,394,499	601,787	332,140	7,238	453,334	183,910	268,820	62.4
	8	18,690	5,132	7,903	168	5,487	2,972	2,485	40.8	1,440,825	598,019	356,879	12,161	473,766	211,048	261,801	59.7
	9	17,368	5,116	7,417	107	4,728	2,253	2,455	43.6	1,320,916	594,934	335,793	7,934	382,255	124,828	256,529	64.5

資料:国土交通省「建築着工統計調査(時系列)【住宅】都道府県別着工戸数、【住宅】都道府県別着工床面積

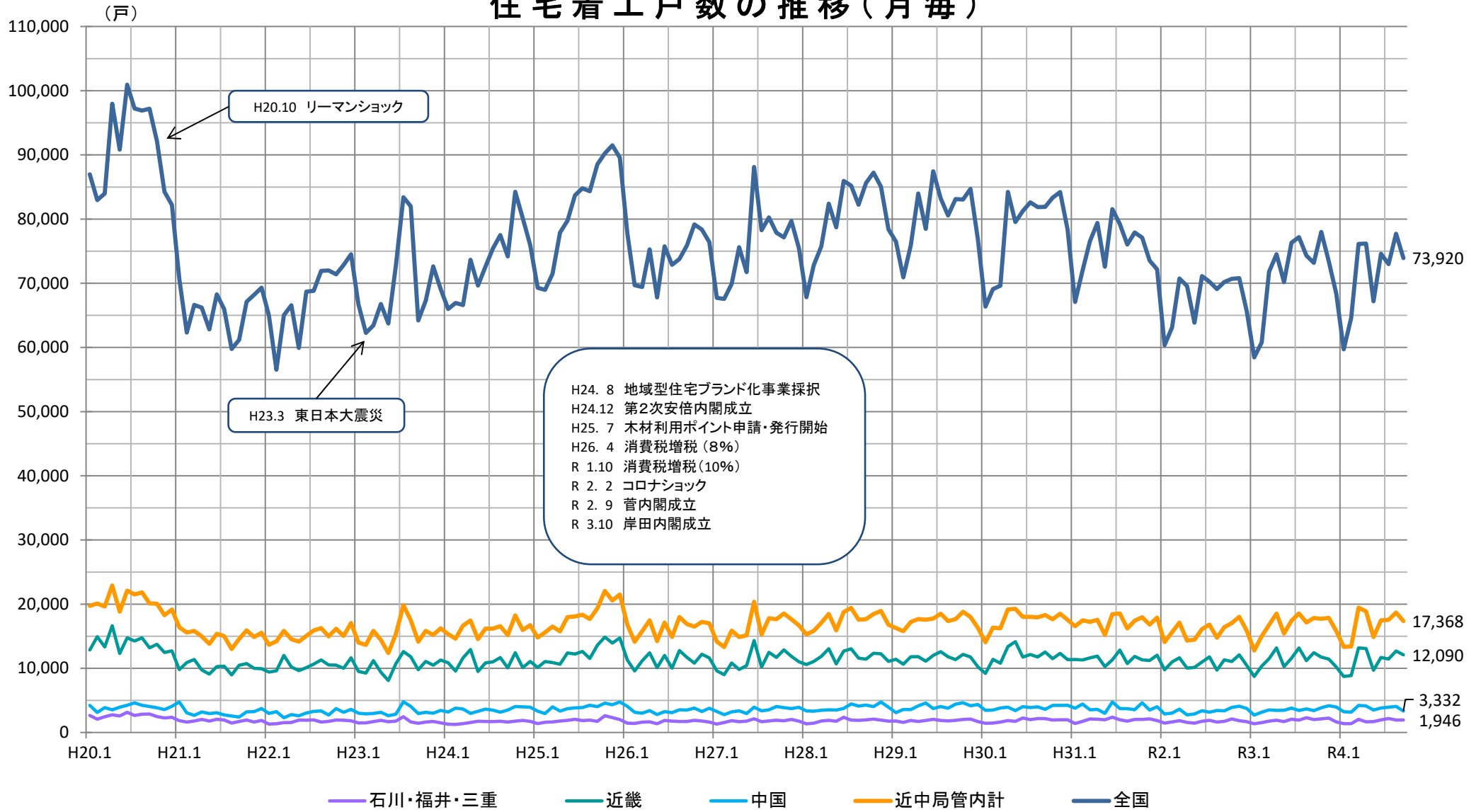
管内の新設住宅着工戸数



管内の新設住宅床面積



住宅着工戸数の推移（月毎）



※(資料)国土交通省「建築着工統計調査(月次)」【住宅】都道府県別着工戸数より

<資料>

木材需給動向関連資料

モクレポ



○流山市立おおぐろの森中学校（千葉県流山市）
※令和4年度木材利用優良施設等コンクール内閣総理大臣賞

令和4年11月

No.14

特集

- 「林業労働力の確保の促進に関する基本方針」の変更
- 2022年木材利用促進月間（10月）取組実績
- 第1回森林づくり全国推進会議^{もり}
- 国連食糧農業機関（FAO）第26回林業委員会

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

CONTENTS 令和4年11月号

特集

- 1 「林業労働力の確保の促進に関する基本方針」の変更
- 2 2022年木材利用促進月間（10月）取組実績
- 3 第1回森林づくり全国推進会議
- 4 国連食糧農業機関（FAO）第26回林業委員会

特集1

特集2

特集4

特集5

01 基礎的指標

- 1 新設住宅着工戸数
- 2 新設住宅着工床面積 <参考> 非居住用建築物着工床面積
- 3 木材産業の業況
- 4 USドル及びユーロ為替相場
- 5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃
- 6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準

基礎1

基礎4

基礎8

基礎9

基礎10

基礎11

02 木材価格情報

- 1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格
- 2 木材価格（農林水産統計）

価格1

価格3

03 木材需給情報

- 1 需要量、供給量、自給率の動向
- 2 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 3 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 4 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 5 燃料材（国内生産）利用量、紙品種別生産高
- 6 素材生産量
- 7 木材生産の産出額

需給1

需給4

需給5

需給6

需給7

需給8

需給9

04 林産物輸出入情報

- 1 林産物輸出額
- 2 木材輸出額
- 3 木材輸入額
- 4 木材輸入量
- 5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価

輸出入1

輸出入2

輸出入3

輸出入4

輸出入10

05 特用林産情報

- 1 特用林産物の国内生産量
- 2 特用林産物の産出額
- 3 特用林産物の輸出入量
- 4 特用林産物の輸出額
- 5 中国からのしいたけ菌糸輸入量
- 6 きのこと類の卸売量・価格

特産1

特産2

特産3

特産4

特産7

特産8

06 セミナー・イベント情報

- 11月中旬以降の開催情報

イベント1

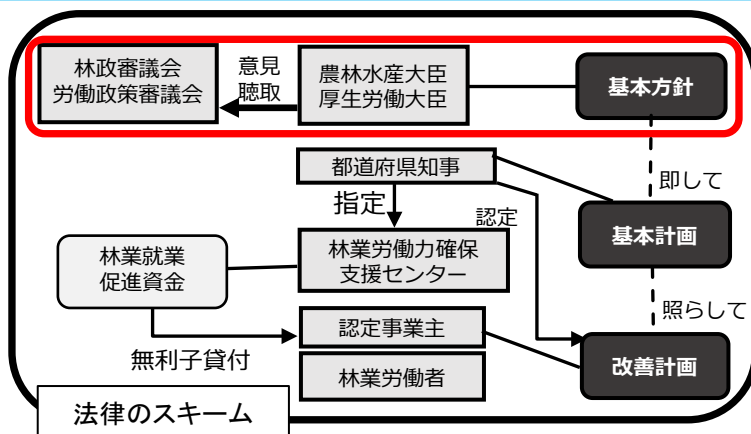
「林業労働力の確保の促進に関する基本方針」の変更

特集-1

- 農林水産省及び厚生労働省は、2022年10月5日に「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づく「林業労働力の確保の促進に関する基本方針」を変更し、10月26日に公表。
- 2021年6月に改訂された森林・林業基本計画等を踏まえ、林政審議会や労働政策審議会の議論等を経て、12年ぶりに変更。

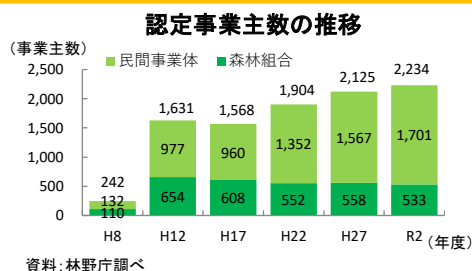
■ 林業労働力の確保の促進に関する法律の概要

- 国が林業労働力の確保に関する基本方針を策定し、各種の施策を実施。
- 具体的には、林業労働力確保支援センターを中核とした、求人情報の提供や就業相談、林業機械の研修、「緑の雇用」事業による新規就業者の確保・育成の取組を推進。



■ 前基本方針に基づく成果

- 前基本方針に基づく取組等により、同法に基づき事業の改善計画を作成し、都道府県知事の認定を受けた事業主は2010年(平成22年)の1,904事業主から2020年(令和2年)には2,234事業主に増加。
- 通年雇用化や月給制の導入、社会保険等の加入も拡大するとともに、労働災害も減少傾向で推移し、雇用管理が改善。



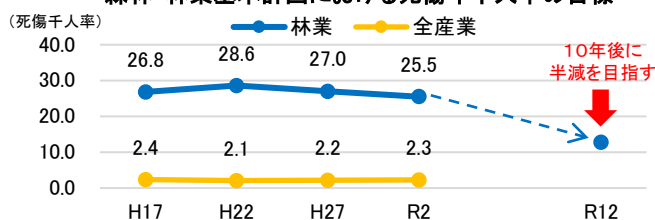
■ 基本方針の変更の主な内容

- 「新しい林業」の実現に必要な造林やICT等の知識や技術、技能を持つ人材の確保・育成を推進。
- 極めて高い労働災害の発生状況を改善するため、小規模経営体の安全対策強化や、高性能林業機械等の導入・開発を促進。
- 林業への新規参入・起業の促進等により、多様な担い手を確保。
- 女性の活躍・定着の促進、外国人材の適正な受入れ。

ICTハーベスタ



森林・林業基本計画における死傷年千人率の目標



資料: 厚生労働省「業種別死傷年千人率」
注: 死傷年千人率とは、労働者1000人あたり1年間に発生する労働災害による死傷者数(休業4日以上)を示したもの

「林業労働力の確保の促進に関する法律に基づく取組」は、次のURLをご覧ください。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/routai/koyou/02.html>



- 2021年10月に成立した「都市（まち）の木造化推進法（※）」において、10月を「木材利用促進月間」と法定。
- 今年の木材利用促進月間も昨年に引き続き、官民連携により、「木づかい運動」展開のために様々な形で木材利用を進める普及活動を実施。

※ 「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」の略称

木づかいシンポジウム2022

10月7日、室町三井ホール（東京都中央区）において、基調講演と7つのパネルディスカッションで構成するシンポジウムを官民連携の下で開催。

建築物への木材利用に熱心に取り組む施主・施工者・ディベロッパーや学識経験者等30名ほどが登壇。

現状を踏まえつつ今後の木材利用についてのチャレンジや期待について議論を実施。

主催：（株）Spero、（株）Give First、（一社）全国木材組合連合会
 後援：総務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、（一社）ウッドデザイン協会、森林を活かす都市の木造化推進協議会



各種情報発信

MEET! WOOD CHANGE
 会いに行こう。木と過ごす。いろいろな時間に！
 国産木材商品特集

ウッド・チェンジ特設サイト
<https://event.rakuten.co.jp/area/japan/woodchange/>

クワダクション
 【身近な暮らしに！】
 身近なものを木製に。小遣いもアクリル。

ウッドチェンジ関連記事の掲載

林野 RINYA
 ウッド・チェンジ対談

情報誌林野10月号
 ウッド・チェンジ対談
<https://www.rinya-maff.go.jp/j/kouhou/kouhoujitu/jouhoushi/0410.html>

BUZZMAFF 推し
 BUZZMAFF 林野庁職員はやっぱり木が好き？ もりチル
<https://www.youtube.com/watch?v=HHOqm90Y-u8>

MEET! WOOD CHANGE
 動画「会いに行こう。木と過ごす。いろいろな時間に！」
<https://www.youtube.com/watch?v=An0Bvl7Klmk>

Tokyo FM青木源太と足立梨花のSunday Collection
 「今こそウッド・チェンジ！木のある暮らし」
<https://www.tfm.co.jp/collection/index.php?catid=4022&itemid=190402>
 （アーカイブ配信中）

イベント出展



NIPPON FOOD SHIFT FES. 東京2022
 10/29,30(於 六本木ヒルズアリーナ)



川崎駅前優い木のひろば
 10/28,29(於 ラゾーナ川崎)

ウッド・チェンジのPR



農林水産省庁舎回りにおけるウッド・チェンジのPR

※掲載している取組は、林野庁補助事業により民間団体等が実施したものも含む

令和4年度木材利用優良施設コンクール受賞施設決定

木材利用促進月間において、令和4年度木材利用優良施設等コンクール
(主催:木材利用推進中央協議会)の受賞施設等を決定、公表。

内閣総理大臣賞

「流山市立おおぐろの森中学校」



農林水産大臣賞 「京丹波町役場 新庁舎」



文部科学大臣賞 「大豊町立大豊学園」



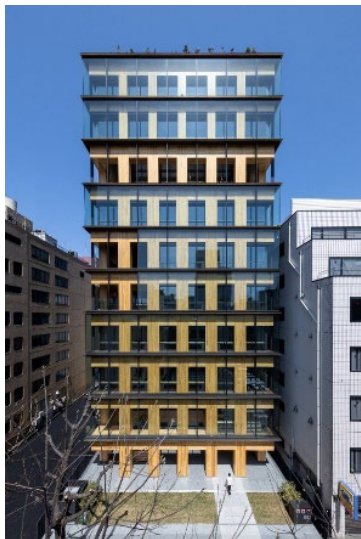
今年度は、文部科学大臣賞を新設するとともに、
国産材の利用推進に貢献した事業者等を顕彰する
「国産材利用推進部門」を新設。

この他受賞については、次のURLをご覧ください。
https://www.jcatu.jp/commendation/14_list_detail.html



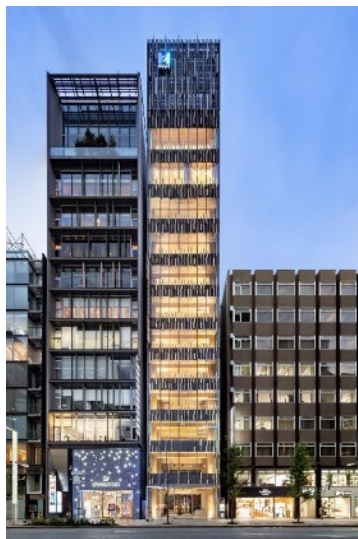
国土交通大臣賞

「Port Plus 大林組横浜研修所」



環境大臣賞

「HULIC & New GINZA 8」



[優良施設部門]

内閣総理大臣賞

流山市立おおぐろの森中学校
〔千葉県〕

農林水産大臣賞

京丹波町役場 新庁舎
〔京都府〕

文部科学大臣賞

大豊町立大豊学園
〔高知県〕

国土交通大臣賞

PortPlus 大林組横浜研修所
〔神奈川県〕

環境大臣賞

HULIC & New GINZA 8
〔東京都〕

[国産材利用推進部門]

農林水産大臣賞

テクノウッドワークス株式会社
〔栃木県〕

特集-3 第1回森林づくり全国推進会議

- 2022年10月21日、経済、地方自治体、教育、消費者、観光等各界の企業・団体が構成する「森林づくり全国推進会議」が発足。
- 同会議会長は、櫻田謙悟氏（経済同友会代表幹事、SOMPOホールディングス(株)グループCEO取締役 代表執行役会長）。事務局は、(公社)国土緑化推進機構。
- 本会議の目的は、SDGsやカーボンニュートラルの実現に貢献する森林づくりに取り組むことであり、この目的に賛同する企業・団体が会員となり、具体的な森林づくりを展開。
- 毎年夏頃開催予定の本会議において、先駆的な森林づくりに取り組んでいる会員の事例発表等を行っていく予定。

※ 本会議において「森林づくり」とは、植樹や間伐等の森林整備だけでなく、森林内での学習活動、森林を活用した自然体験型観光、J-クレジット制度の活用、木材利用、緑の募金等森林と関連する様々な取組も含む。



第1回森林づくり全国推進会議において、櫻田会長(前列中央)、同会議実行委員会委員等と記念撮影

■ 第1回森林づくり全国推進会議（発足式及びシンポジウム）

- 発足式では、櫻田会長の主催者挨拶に続き、野村 農林水産大臣、林業復活・地域創生を推進する国民会議 宮下 会長（(株)竹中工務店 特別顧問）から来賓挨拶。
- シンポジウムでは、林野庁 織田 長官から話題提供「カーボンニュートラルに向けた民間活力による森林づくりの促進」。
- その後のパネルディスカッション「企業等による森林づくり活動の更なる展開に向けて」では、モデレーターに(株)農林中金総合研究所理事長 皆川氏、パネリストにアサヒグループジャパン(株) 高森氏、(株)山陰合同銀行 井上氏、ピジョン(株) 板倉氏、コメンテーターに林野庁 小坂 森林整備部長が登場。各社の森林づくりの取組について意見交換。

当日の会議資料は、次のURLをご覧ください。

https://www.green.or.jp/news/zenkoku_suishinkaigi/



野村農林水産大臣



パネリストの皆様

「森林づくり全国推進会議」会員登録申請は、次のURLをご覧ください。

<https://mori-zukuri.jp/forest-mtg/admission.html>



- ・ 2022年10月3～7日にイタリア（ローマ）において、FAO第26回林業委員会が開催。
- ・ 日本からは、林野庁海外林業協力室が、我が国における木材利用促進に向けた取組を紹介するなど、各議題において意見表明や取組紹介等を実施。

■ FAO林業委員会とは

- ・ 国連食糧農業機関（FAO）が主催（2年に1度の開催）する会議で、森林・林業に関する世界的な諸課題及びそれらに対するFAOの取組等について、加盟国等が議論・検討を実施。なお、FAOには林業の他、農業、水産、商品問題についても委員会が常設。
- ・ 今回の会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4年ぶりの対面を含むハイブリッド開催。



FAO建物一階大ホールの様子

■ 主な議題と日本からの意見表明・取組紹介

○ 森林と木材・非木材林産物の持続可能な生産

冒頭に開催されたハイレベル会合において、日本より「伐って、使って、植えて、育てる」という森林の循環利用の重要性をハイライトするとともに、官民連携による木材利用促進に向けた取組を紹介。

○ 森林と農業のつながり（農業委員会との共同議題）

森林減少を伴わない持続可能な食料・農業システムの実現に向けて議論。日本からは、森林の持つ多面的機能を「見える化」することにより、森林保全に繋げていくことが重要である旨、またFAOが森林と農業に係る課題に対処するためには、ITTO（国際熱帯木材機関）等の他の国際機関との連携も重要である旨指摘。

○ 気候変動に対処するための森林を活用した解決策

気候変動に対する適応策の重要性が増してきていることから、日本はFAOとの協力の下、日本の経験や知見を活かしつつ山地流域の強靱化を目的とした事業を実施中。今後もFAOと連携し、途上国の自然災害に対する強靱性の強化に向けて協力していく旨発言。



木材利用に関するハイレベル会合への出席



日本からの発言

■ 同会議における結果等

第26回林業委員会の成果として、議論の内容及びFAOや加盟国への勧告事項を取りまとめたレポートが最終日に採択。今後のFAOの森林・林業に係る活動は、本委員会において決定された内容に基づき実施。

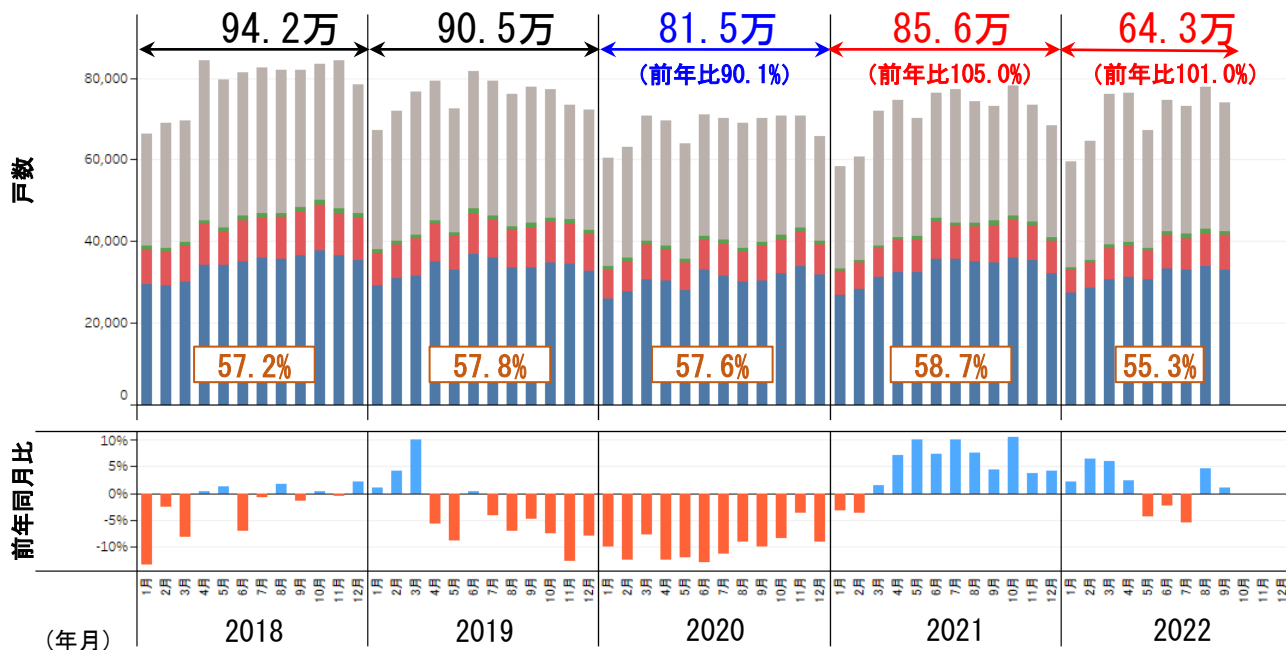
行事の詳細は、次のURLをご覧ください。

FAO第26回林業委員会HP：<https://www.fao.org/events/detail/cofo-26/en>



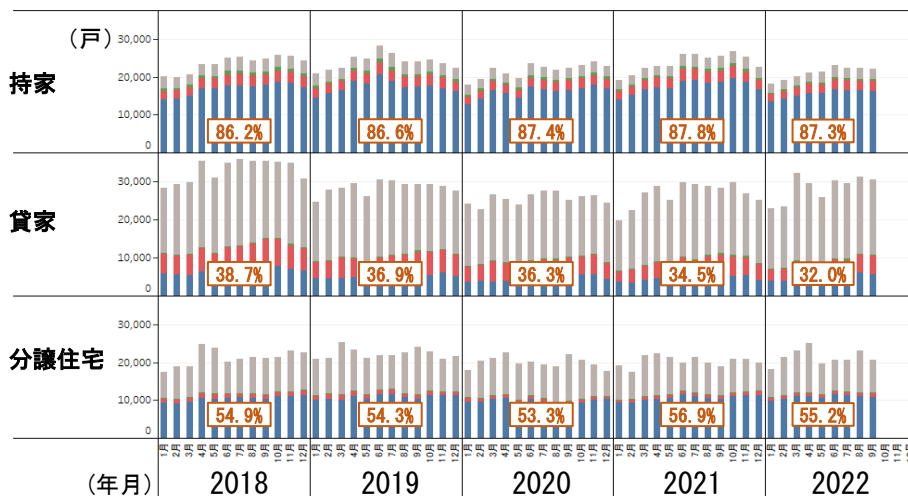
基礎的指標-1 新設住宅着工戸数

- 2021年の新設住宅着工戸数は、85.6万戸（前年比105.0%）、このうち木造住宅は50.2万戸（同107.0%）
- 2022年1～9月の新設住宅着工戸数は、64.3万戸（前年同期比101.0%）、このうち木造住宅は35.6万戸（同96.1%）。



（単位：戸）

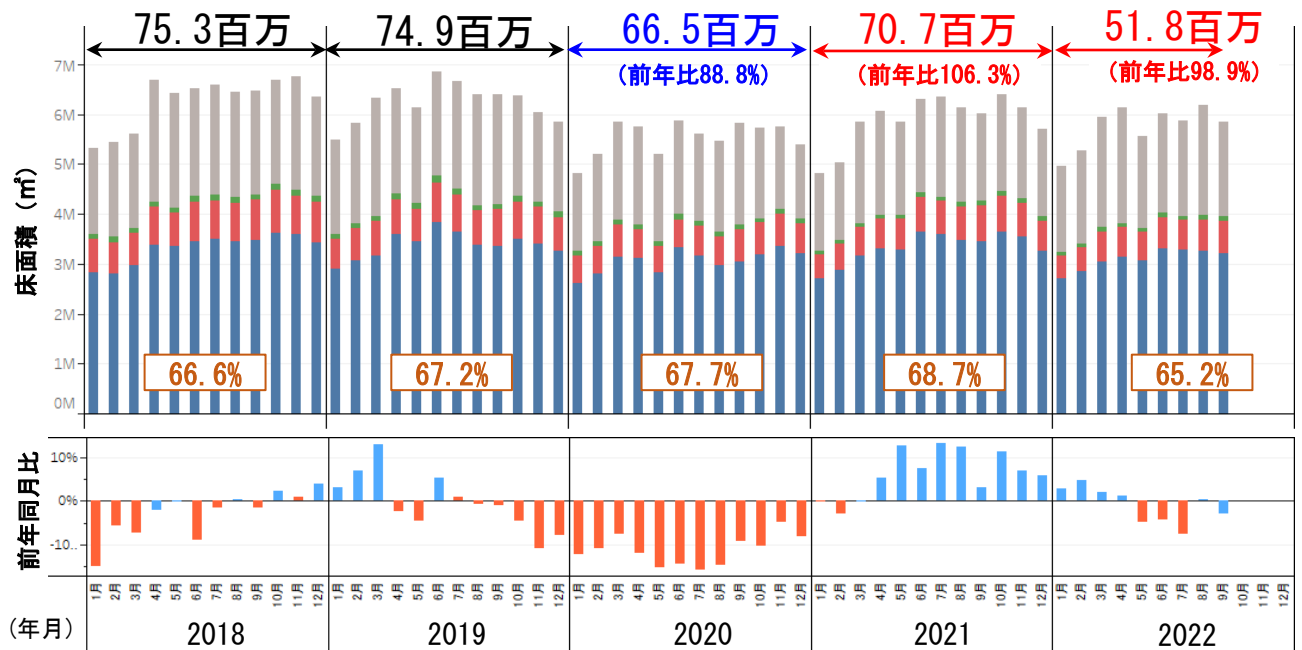
構造別の着工戸数	2022年 1～9月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	643,120	636,673	101.0%	608,214	105.7%
■非木造	287,251	266,483	107.8%	263,936	108.8%
■木造	355,869	370,190	96.1%	344,278	103.4%
■木造プレハブ	7,333	7,641	96.0%	8,010	91.5%
■2×4	66,999	70,312	95.3%	68,636	97.6%
■在来軸組	281,537	292,237	96.3%	267,632	105.2%
□木造率	55.3%	58.1%		56.6%	



資料：国土交通省「住宅着工統計」

基礎的指標 - 2 新設住宅着工床面積

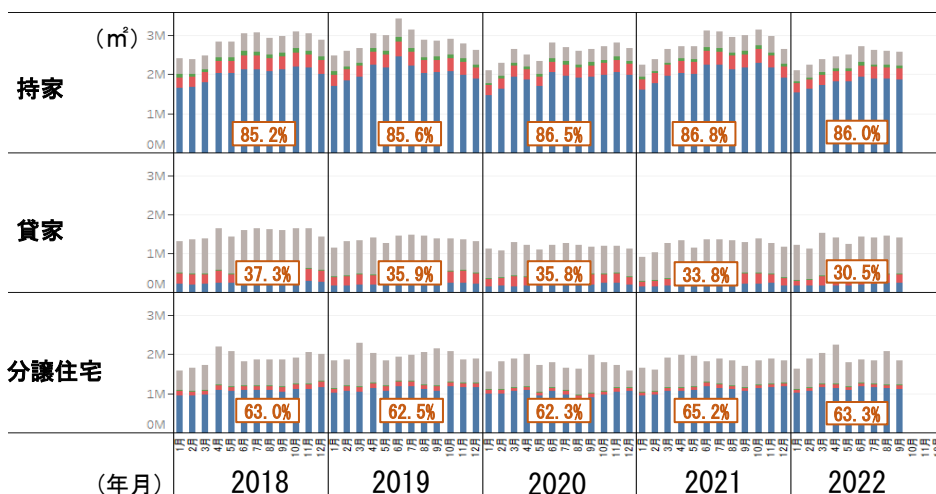
- 2021年の新設住宅着工床面積は、70.7百万㎡（前年比106.3%）、このうち木造住宅は48.6百万㎡（同107.9%）。
- 2022年1～9月の新設住宅着工床面積は、51.8百万㎡（前年同期比98.9%）、このうち木造住宅は33.8百万㎡（同94.3%）。



(単位：千㎡)

構造別の 着工床面積	2022年 1～9月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	51,831	52,431	98.9%	49,584	104.5%
■ 非木造	18,021	16,594	108.6%	16,508	109.2%
木造	33,810	35,838	94.3%	33,076	102.2%
■ 木造プレハブ	734	781	94.0%	824	89.1%
■ 2×4	5,176	5,540	93.4%	5,252	98.6%
■ 在来軸組	27,900	29,517	94.5%	27,001	103.3%
□ 木造率	65.2%	68.4%		66.7%	

(参考) 利用関係別の着工床面積 (ただし、「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

<参考> 非居住用建築物着工床面積

(単位:千㎡、%)

年次	月	合計		構造別			
				木造		非木造	
		前年比	前年比	前年比	前年比		
2019年	1	3,970	101	259	84	3,711	102
	2	3,700	85	243	96	3,457	84
	3	3,334	81	294	105	3,040	79
	4	4,440	96	354	105	4,085	95
	5	4,170	99	327	103	3,844	99
	6	4,641	102	377	102	4,264	102
	7	4,980	100	452	122	4,527	99
	8	3,987	95	479	131	3,508	91
	9	3,609	82	431	96	3,179	80
	10	3,922	85	409	99	3,513	84
	11	3,750	90	386	102	3,364	89
	12	4,184	97	330	92	3,854	98
2020年	1	2,973	75	228	88	2,745	74
	2	3,605	97	230	95	3,374	98
	3	3,718	112	280	95	3,437	113
	4	4,086	92	312	88	3,774	92
	5	4,078	98	259	79	3,818	99
	6	3,798	82	347	92	3,451	81
	7	3,855	77	323	71	3,532	78
	8	3,662	92	371	77	3,291	94
	9	3,891	108	416	97	3,476	109
	10	3,635	93	400	98	3,235	92
	11	3,371	90	346	90	3,025	90
	12	3,565	85	308	93	3,257	85
2021年	1	3,364	113	246	108	3,118	114
	2	3,345	93	241	105	3,104	92
	3	4,272	115	287	103	3,984	116
	4	4,207	103	347	111	3,861	102
	5	4,277	105	307	119	3,970	104
	6	4,275	113	327	94	3,948	114
	7	4,082	106	344	107	3,738	106
	8	3,127	85	299	81	2,828	86
	9	3,700	95	307	74	3,394	98
	10	5,328	147	341	85	4,987	154
	11	3,737	111	293	85	3,444	114
	12	4,747	133	281	91	4,465	137
2019年計		48,687	93	4,341	103	44,346	92
2020年計		44,237	91	3,820	88	40,415	91
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2019年	第1四半期	11,004	89	796	94	10,208	88
	第2四半期	13,251	99	1,058	103	12,193	99
	第3四半期	12,576	93	1,362	115	11,214	90
	第4四半期	11,856	91	1,125	98	10,731	90
2020年	第1四半期	10,296	94	738	93	9,556	94
	第2四半期	11,962	90	918	87	11,043	91
	第3四半期	11,408	91	1,110	81	10,299	92
	第4四半期	10,571	89	1,054	94	9,517	89
2021年	第1四半期	10,981	107	774	105	10,206	107
	第2四半期	12,759	107	981	107	11,779	107
	第3四半期	10,909	96	950	86	9,960	97
	第4四半期	13,812	131	915	87	12,896	136
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97
	第2四半期	13,572	106	952	97	12,620	107
	第3四半期	12,537	115	1,026	108	11,512	116

資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

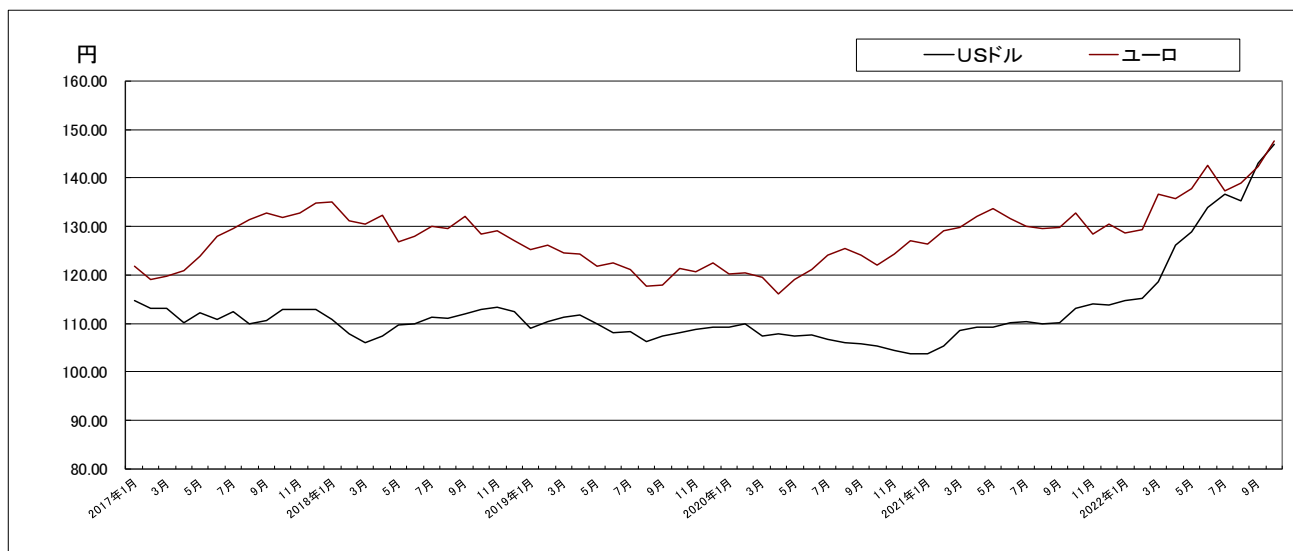
基礎的指標-3 木材産業の業況

- 2021年は、木材産業の倒産件数が19件（前年比70.3%）、負債金額が4,313百万円（同112.0%）。
- 2022年1～9月は、木材産業の倒産件数が10件（前年同期比55.6%）、負債金額が7,028百万円（同166.8%）。

年・月	企業倒産状況								
	全 企 業				木材・木製品業				
	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	
2019年	1	666	105	168,374	161	0	-	0	-
	2	589	95	195,534	217	1	100	10	2
	3	662	84	97,114	73	1	33	532	51
	4	645	99	106,916	112	2	50	797	111
	5	695	91	107,465	103	3	100	795	313
	6	734	106	86,957	40	1	25	59	8
	7	802	114	93,400	83	5	500	347	694
	8	678	98	87,149	72	3	300	278	150
	9	702	113	112,985	61	6	300	959	3,197
	10	780	107	88,578	75	2	100	91	1
	11	727	101	122,452	101	2	200	470	904
	12	704	113	156,864	192	4	200	543	32
2020年	1	773	116	124,734	74	0	-	0	-
	2	651	111	71,283	36	0	-	0	-
	3	740	112	105,949	109	1	100	300	56
	4	743	115	144,990	136	10	500	1,280	161
	5	314	45	81,336	76	2	67	320	40
	6	780	106	128,816	148	4	400	444	753
	7	789	98	100,821	108	1	20	89	26
	8	667	98	72,416	83	2	67	150	54
	9	565	80	70,740	63	1	17	637	66
	10	624	80	78,342	88	2	100	57	63
	11	569	78	102,101	83	3	150	550	117
	12	558	79	138,518	88	1	25	25	5
2021年	1	474	61	81,388	65	2	-	180	-
	2	446	69	67,490	95	0	-	0	-
	3	634	86	141,453	134	3	300	327	109
	4	477	64	84,098	58	4	40	50	4
	5	472	150	168,664	207	1	50	120	38
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296	742
	7	476	60	71,465	71	0	-	0	-
	8	466	70	90,973	126	1	50	10	7
	9	505	89	90,860	128	2	200	230	36
	10	525	84	98,464	126	0	-	0	-
	11	510	90	94,101	92	0	-	0	-
	12	504	90	93,181	67	1	100	100	400
2022年	1	452	95	66,940	82	1	50	13	7
	2	459	103	70,989	105	0	-	0	-
	3	593	94	169,673	120	4	133	2,010	615
	4	486	102	81,253	97	2	50	2,900	5,800
	5	524	111	87,380	52	1	100	180	150
	6	546	101	1,232,583	1,798	0	-	0	-
	7	494	104	84,570	118	0	-	0	-
	8	492	106	111,428	122	1	100	1,880	18,800
	9	599	119	144,871	159	1	50	45	20
2019年計		8,384	102	1,423,788	96	30	115	4,881	40
2020年計		7,773	93	1,220,046	86	27	90	3,852	79
2021年計		6,030	78	1,150,703	94	19	70	4,313	112
2019年	第1四半期	1,917	94	461,022	141	2	33	542	33
	第2四半期	2,074	98	301,338	72	6	55	1,651	99
	第3四半期	2,182	108	293,534	70	14	350	1,584	598
	第4四半期	2,211	107	367,894	115	8	160	1,104	13
2020年	第1四半期	2,164	113	301,966	65	1	50	300	55
	第2四半期	1,837	89	355,142	118	16	267	2,044	124
	第3四半期	2,021	93	243,977	83	4	29	876	55
	第4四半期	1,751	79	318,961	87	6	75	632	57
2021年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507	169
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466	170
	第3四半期	1,447	72	253,298	104	3	75	240	27
	第4四半期	1,539	88	285,746	90	1	17	100	16
2022年	第1四半期	1,504	97	307,602	106	5	100	2,023	399
	第2四半期	1,556	104	1,401,216	436	3	30	3,080	89
	第3四半期	1,585	110	340,869	135	2	67	1,925	802

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

- 2022年10月の為替相場は、1ドル147.01円、1ユーロ147.59円。



(単位:円)

年月	USDドル	ユーロ
2017年1月	114.73	121.75
2月	113.06	118.98
3月	113.01	119.79
4月	110.06	120.85
5月	112.21	123.95
6月	110.91	127.97
7月	112.44	129.65
8月	109.91	131.34
9月	110.68	132.85
10月	112.96	131.76
11月	112.92	132.81
12月	112.97	134.94
2018年1月	110.77	135.08
2月	107.82	131.28
3月	106.00	130.52
4月	107.43	132.39
5月	109.69	126.73
6月	110.03	127.91
7月	111.37	129.93
8月	111.06	129.56
9月	111.89	132.14
10月	112.78	128.43
11月	113.37	129.19
12月	112.45	127.00
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54

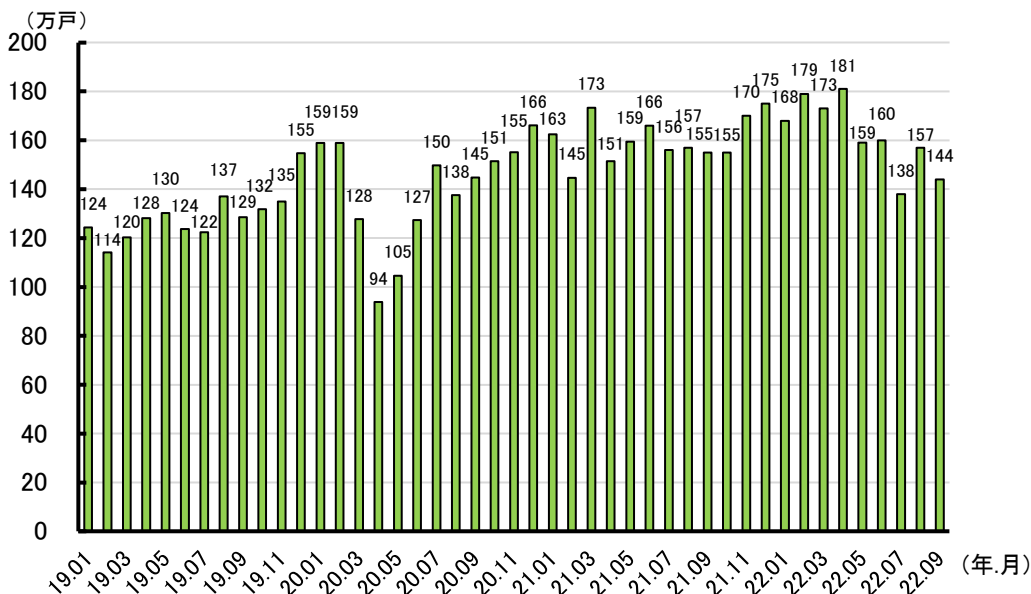
(単位:円)

年月	USDドル	ユーロ
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11
8月	109.84	129.69
9月	110.17	129.86
10月	113.10	132.77
11月	114.13	128.41
12月	113.87	130.51
2022年1月	114.83	128.66
2月	115.20	129.34
3月	118.51	136.70
4月	126.04	135.83
5月	128.78	137.76
6月	133.86	142.67
7月	136.63	137.25
8月	135.24	139.03
9月	143.14	142.32
10月	147.01	147.59

資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。

- 米国の住宅着工戸数(戸建て計)は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落した。その後、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、2020年5月から増加傾向が続き、2022年4月には181万戸(年率換算)を記録。2022年5月からは、住宅ローン金利が急騰したことにより、下落傾向が続き、2022年9月は前月比92%の144万戸と減少した。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2020年11月頃から急上昇し、その後は欧州発、米国発ともに高値を維持。

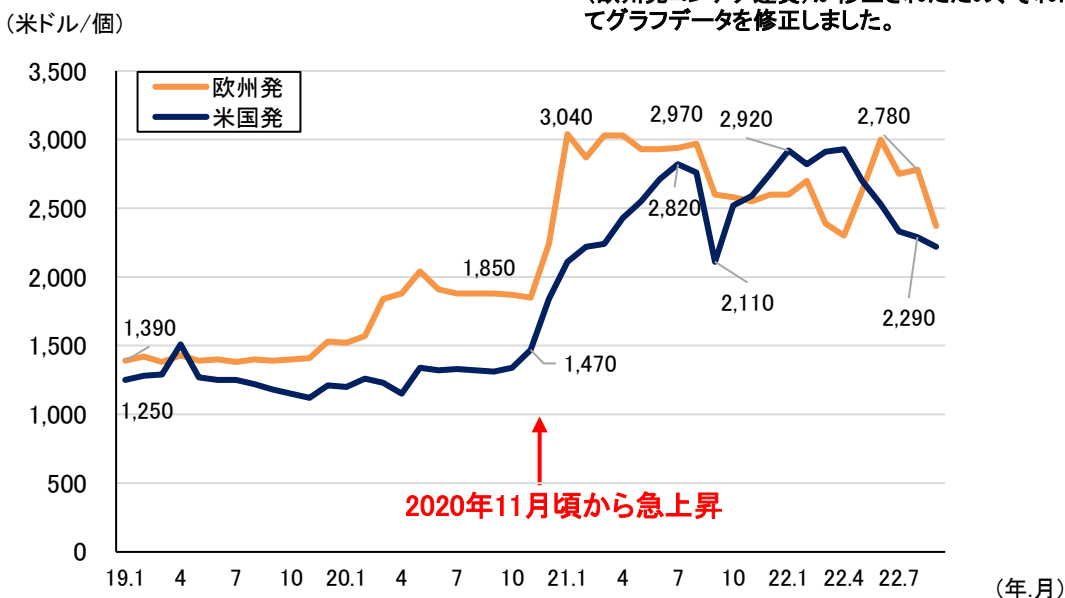
○米国における住宅着工戸数



資料：(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

○日本向けコンテナ運賃の推移

※2022年6月に出典元のDrewry社集計データの一部(欧州発コンテナ運賃)が修正されたため、それに併せてグラフデータを修正しました。

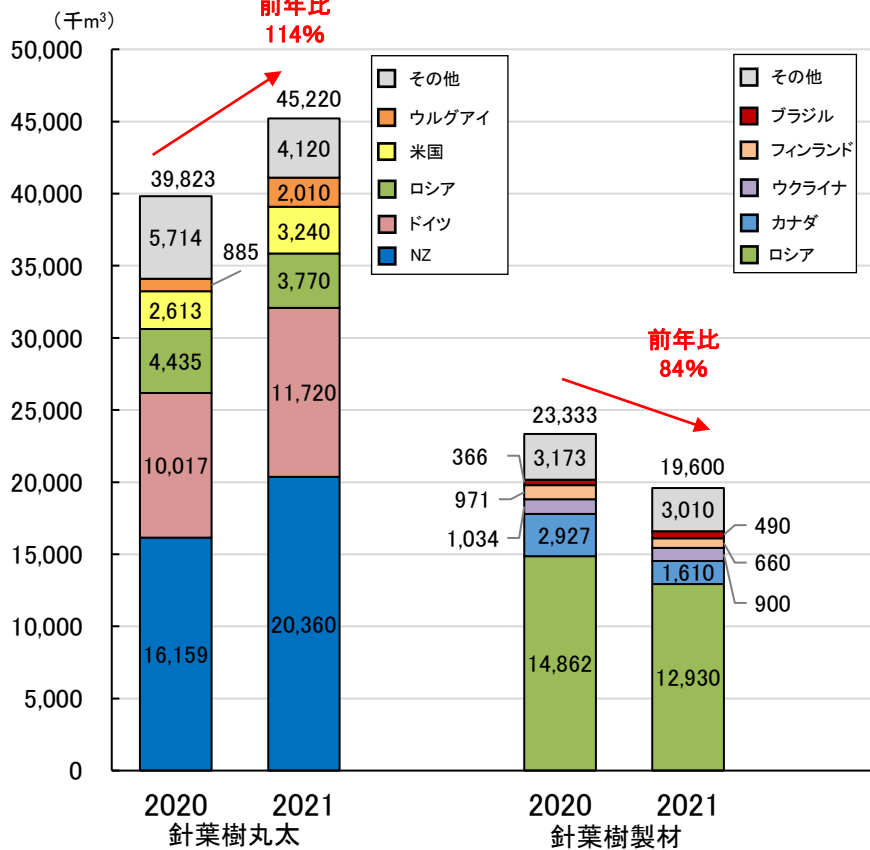


注：40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。
出典：Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

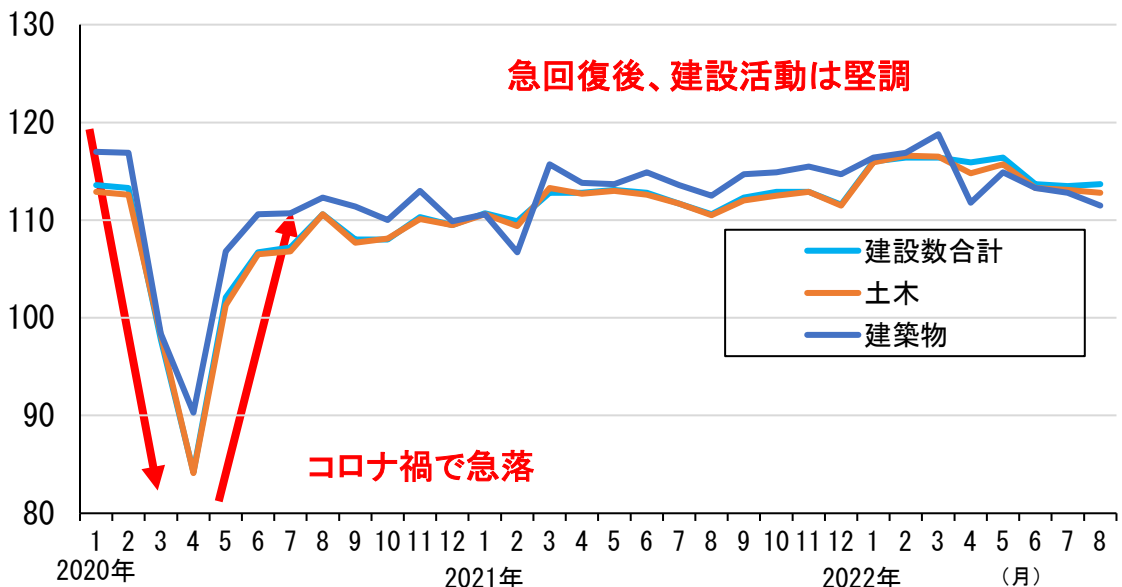
- 中国では、木材需要が継続して増加。2021年の針葉樹丸太輸入量は、前年同期比114%の4,522万m³。一方、針葉樹製材輸入量は、前年同期比84%の1,960万m³。木材輸入の形態が製材から丸太へシフト。
- EUでは、コロナ禍により、一昨年春に建設活動が急激に低下したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。

○中国の木材輸入量



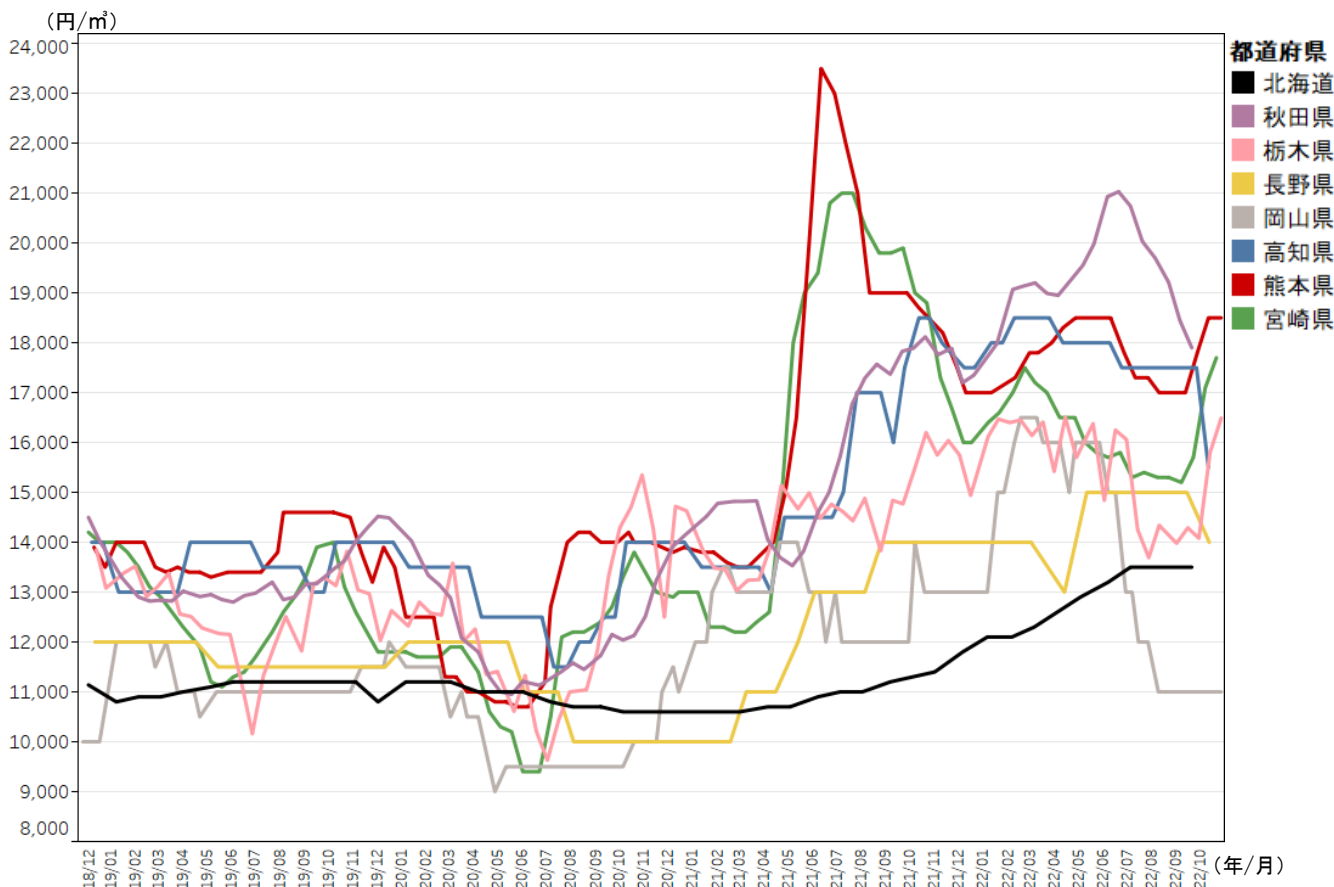
○EUにおける建設活動水準 (2015年比)

2015年=100



木材価格情報-1 スギ原木の主要市場価格

- 2021年4月以降、いわゆるウッドショックにより価格が大きく上昇し、その後一部の地域で下落したが、全般的には、2021年3月以前と比較すると高い水準で推移。
- 直近のスギ原木価格は、11,000円～18,500円/m³となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）。

注3：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

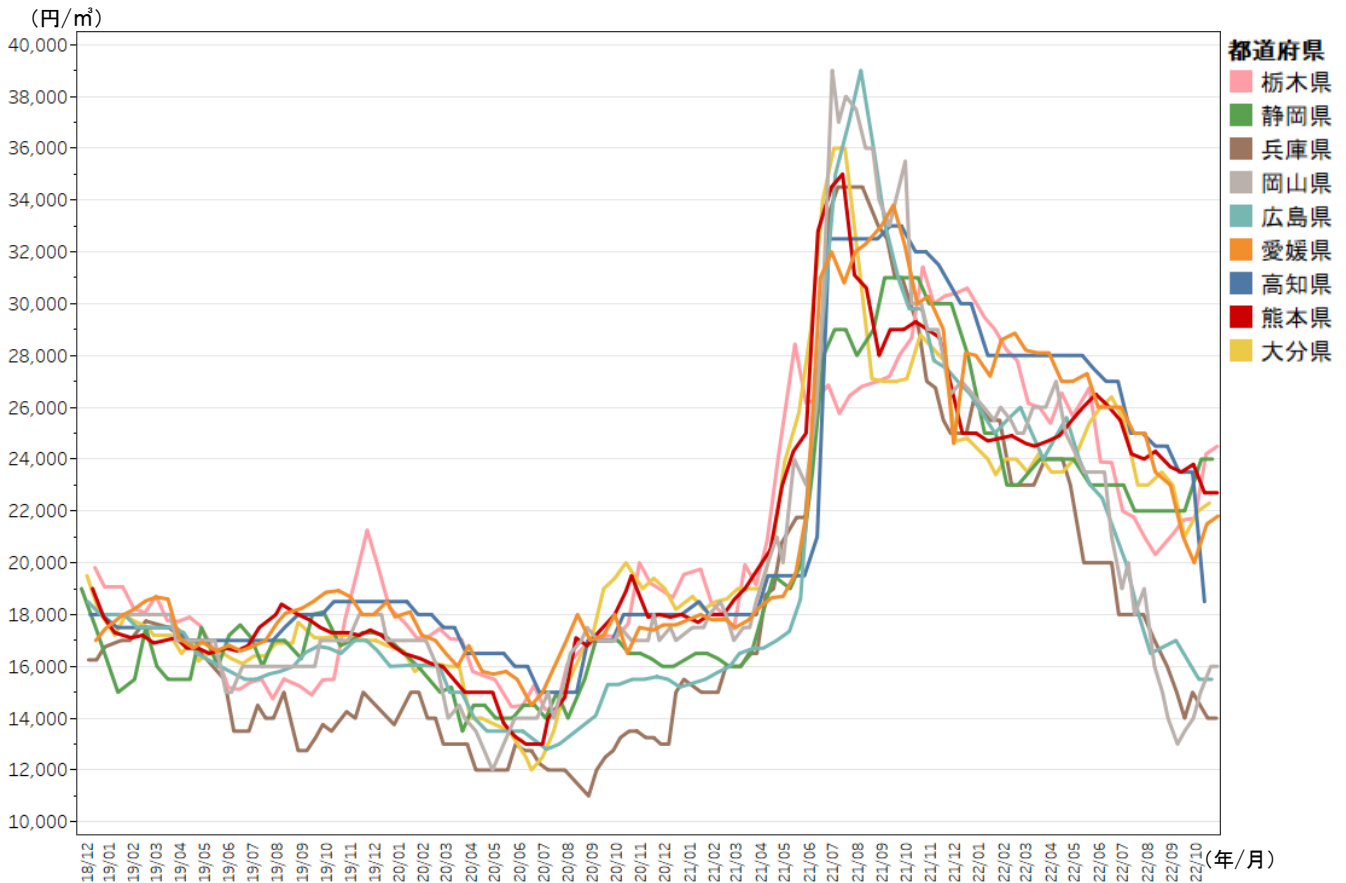
(単位：円)

都道府県	2022年直近*	前年同期	前年同期比
■ 北海道	13,500	11,200	121%
■ 秋田県	17,900	17,830	100%
■ 栃木県	16,490	16,200	102%
■ 長野県	14,000	14,000	100%
■ 岡山県	11,000	13,000	85%
■ 高知県	15,500	18,500	84%
■ 熊本県	18,500	18,700	99%
■ 宮崎県	17,700	18,800	94%

※北海道、秋田県については9月、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については10月の値を使用。

木材価格情報-1 ヒノキ原木の主要市場価格

- ヒノキにおいてもスギと同様に、2021年4月以降、価格が大きく上昇。その後下落傾向に転じているが、2021年3月以前と比較すると全般的に高い水準で推移。
- 直近のヒノキ原木価格は、14,000円～24,490円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円)

都道府県	2022年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	24,490	31,420	78%
静岡県	24,000	30,000	80%
兵庫県	14,000	27,000	52%
岡山県	16,000	30,000	53%
広島県	15,500	29,800	52%
愛媛県	21,800	30,280	72%
高知県	18,500	32,000	58%
熊本県	22,700	29,300	77%
大分県	22,300	28,800	77%

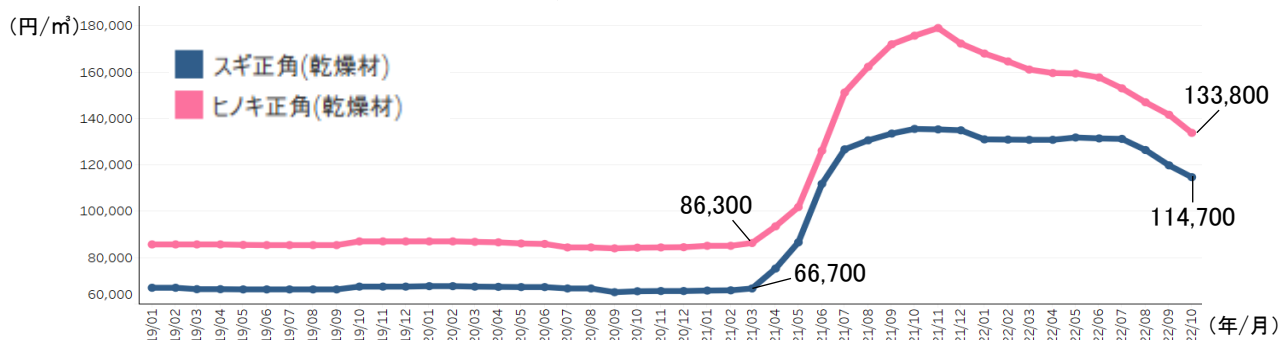
※各県10月の値を使用。

木材価格情報-2 木材価格（農林水産統計）

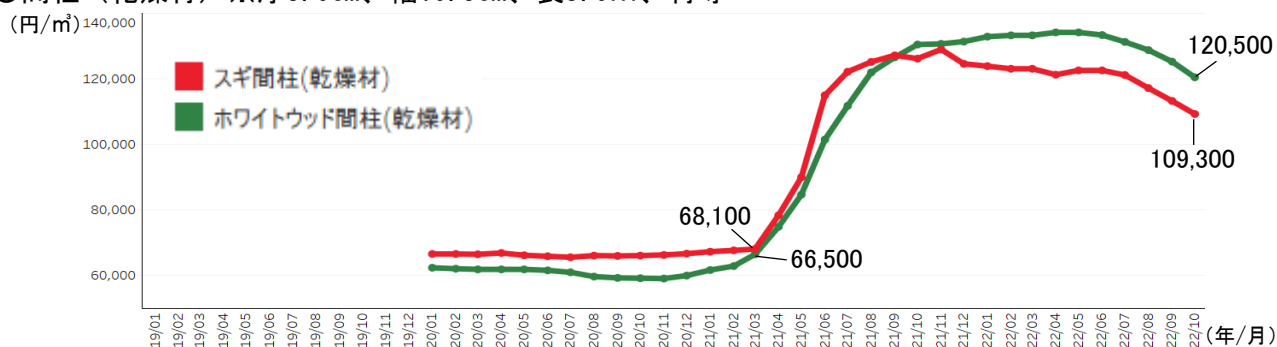
- 主な製材品及び針葉樹合板の全国平均価格は、いわゆるウッドショック以前（2021年3月以前）と比較すると、引き続き高い水準で推移。
- 2022年10月の正角（乾燥材）の価格は、スギは114,700円/m³（前年同期比85%）、ヒノキは133,800円/m³（同76%）。
- 同月の間柱（乾燥材）の価格は、スギは109,300円/m³（前年同期比87%）、ホワイトウッドは120,500円/m³（同92%）。
- 同年9月の針葉樹合板の価格は、2,350円/枚（前年同期比167%）。

■主な製材品等の価格推移（全国平均価格）

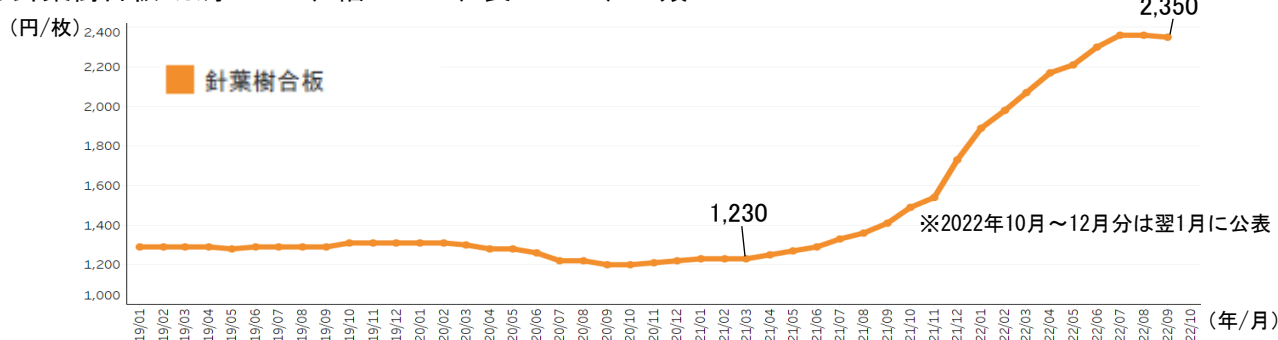
○正角（乾燥材）※厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級



○間柱（乾燥材）※厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等



○針葉樹合板 ※厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類



資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：1 針葉樹合板は、2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。

2 製材品価格及び合板価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。

3 2022年は「木材価格」に拠る速報値、2021年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0～28.0cm、長3.65～4.0m）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	11,900	12,000	11,900	11,900	11,900	12,500	12,700	12,800	13,100	13,200	13,300	13,300
岩手	17,600	17,600	17,600	17,700	18,300	18,800	20,100	20,100	20,800	20,900	21,000	21,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
北海道	13,700	13,600	13,800	14,000	14,500	15,800	15,500	15,700	15,500	15,600
岩手	21,200	23,900	25,300	25,500	31,500	32,000	32,200	30,500	30,500	30,100

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岩手	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,900	10,600	11,300	11,700	12,400
宮城	10,900	10,900	10,900	10,900	10,900	11,100	11,100	11,100	11,600	11,900	13,300	14,400
秋田	10,300	10,300	10,300	10,600	10,500	10,600	10,600	11,200	11,400	11,500	12,900	13,300
島根	11,900	12,700	12,800	12,800	12,900	13,000	13,200	13,800	14,300	14,800	14,900	14,900

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
岩手	12,600	13,300	14,100	14,100	14,100	15,100	14,500	13,800	13,800	13,800
宮城	15,300	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400
秋田	14,100	16,700	17,200	17,900	17,800	17,800	18,100	17,800	17,100	16,900
島根	14,300	14,900	15,000	15,300	15,600	15,500	15,700	15,400	15,300	15,400

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉	52,900	52,900	52,900	66,800	72,000	98,700	98,700	98,700	98,700	98,700	98,500	88,000
東京	x	x	x	x	66,000	66,000	66,000	61,200	61,200	61,200	61,200	61,200
大阪	55,000	55,000	58,100	61,900	65,000	80,500	92,900	105,800	105,800	105,800	105,800	105,800
福岡	38,900	38,900	38,900	41,800	44,000	53,600	56,900	57,200	57,200	59,300	58,600	58,600

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
千葉			88,000			88,000			77,300
東京			58,800			58,800			57,300
大阪			103,100			103,100			103,100
福岡			58,600			60,500			58,600

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は1月。

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	60,900	61,000	64,100	86,000	97,800	132,500	137,600	138,800	143,200	143,000	142,700	142,300
千葉	69,100	69,400	70,100	86,300	99,000	125,500	147,100	152,300	153,100	153,100	146,900	142,900
東京	71,400	71,400	71,400	71,500	85,900	115,400	142,600	142,900	148,300	148,300	148,300	148,300
神奈川	66,300	68,100	68,500	77,400	79,400	111,200	131,700	152,000	153,000	153,100	153,100	153,100
愛知	71,300	71,300	71,300	80,700	89,100	107,500	121,800	121,800	121,800	121,800	121,600	116,100
大阪	70,600	70,600	70,900	76,800	82,500	99,000	111,200	111,200	111,200	112,500	112,500	112,500
兵庫	70,200	70,200	71,500	79,300	91,500	113,300	128,000	142,700	142,700	142,700	142,700	142,700
福岡	62,000	62,000	62,000	67,400	77,800	93,100	103,900	112,900	113,600	120,400	120,400	120,400

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
埼玉	125,700	125,200	125,200	125,500	125,500	124,400	123,700	112,200	109,800	96,100
千葉	146,100	146,100	146,100	140,800	140,800	140,800	140,800	135,500	135,500	134,700
東京	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,800	148,800	132,800	132,400
神奈川	153,100	153,000	153,000	153,000	153,000	152,300	151,600	151,600	146,300	139,800
愛知	116,100	116,100	114,800	114,800	120,100	120,100	120,100	117,300	114,400	110,500
大阪	111,900	111,900	111,900	112,500	122,300	121,700	121,700	111,900	111,900	110,000
兵庫	142,900	142,900	142,900	142,900	146,000	143,700	143,700	134,300	131,200	128,000
福岡	120,400	120,400	120,400	120,400	120,400	120,300	120,300	117,600	113,800	110,100

資料：農林水産省「木材価格」

注1：2021年8月より、東京都の調査対象が変更になったことから、2021年7月及び8月の東京都のスギ正角の数値は接続しない。

注2：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注3：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注4：スギ正角の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉	71,900	71,900	71,900	73,900	84,800	86,000	98,200	98,200	98,200	98,200	98,200	98,200
東京	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
愛知	85,400	85,400	85,400	86,700	88,000	92,500	96,100	96,100	96,100	96,100	96,100	96,100
大阪	62,400	62,400	71,300	67,900	72,000	83,200	108,700	118,200	145,700	129,000	129,000	125,800
兵庫	66,800	66,800	67,200	69,500	76,400	79,600	87,400	99,300	120,700	120,400	120,400	116,100
福岡	50,300	50,300	50,300	50,300	55,800	66,000	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
千葉			98,200			98,100			92,000
東京			x			x			x
愛知			94,800			94,800			93,500
大阪			119,700			112,100			107,900
兵庫			116,300			114,300			106,300
福岡			82,500			86,600			84,200

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は1月。

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	78,200	78,200	79,000	91,400	100,900	138,900	147,000	148,000	164,300	168,700	167,900	160,200
千葉	94,000	94,900	95,800	105,500	114,200	131,500	149,300	161,300	161,300	165,900	163,800	164,900
東京	98,900	98,900	98,900	98,900	104,500	121,000	142,900	143,100	159,500	175,800	175,800	175,800
神奈川	78,700	79,000	84,100	94,800	110,500	146,200	178,800	184,700	186,300	187,400	187,400	187,400
愛知	94,700	94,700	94,700	97,500	102,900	113,500	128,100	129,400	142,400	142,900	165,700	161,900
大阪	80,100	80,100	82,800	90,600	98,000	128,900	169,100	192,900	193,800	193,800	193,800	181,100
兵庫	78,900	78,900	79,700	88,600	101,800	113,800	152,600	179,600	188,800	188,400	188,400	180,800

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
埼玉	145,600	142,500	142,500	142,500	142,500	141,800	139,800	128,600	122,800	110,100
千葉	171,400	169,100	169,100	164,800	164,800	164,800	164,800	158,100	158,100	156,100
東京	175,500	175,400	175,400	175,500	175,500	175,500	175,200	175,200	164,600	164,200
神奈川	187,400	185,300	185,300	185,300	185,300	181,900	178,600	173,300	167,300	151,900
愛知	159,400	159,400	151,900	149,700	149,700	149,700	137,000	131,600	130,700	124,600
大阪	176,400	169,900	163,600	162,600	161,700	159,800	154,400	152,600	147,000	137,800
兵庫	184,800	178,400	173,900	168,100	168,100	161,200	156,600	143,000	138,400	131,500

○米ツガ正角・防腐処理材（厚10.5cm、幅10.5cm、長4.0m、2級）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	78,900	78,900	79,900	85,600	98,600	104,600	116,100	129,300	139,300	139,300	141,300	141,300
千葉	78,200	78,500	78,500	85,600	91,900	100,300	119,100	129,800	139,400	139,400	139,400	138,500
神奈川	81,000	82,000	84,500	86,500	95,700	105,600	117,700	133,300	137,400	139,700	139,700	142,200
愛知	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	145,500	136,900
大阪	79,200	79,200	84,200	93,500	96,200	104,500	121,000	121,000	121,000	121,000	121,000	121,000
兵庫	79,200	79,200	80,500	88,000	93,500	103,300	107,700	114,300	121,000	121,000	121,000	121,000

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
北海道			135,700			138,000			138,000
埼玉			144,700			148,800			151,900
千葉			139,800			142,400			142,400
東京			154,400			154,400			154,400
神奈川			142,200			143,100			143,100
愛知			158,300			158,300			145,500
大阪			121,000			132,000			132,000
兵庫			138,500			141,800			141,800

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は1月。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：ヒノキ正角、米ツガ正角・防腐処理材の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	60,200	60,900	62,800	78,900	94,600	130,900	133,100	133,100	138,900	136,000	131,200	122,300
千葉	65,300	65,800	66,600	77,100	93,600	136,600	140,900	141,800	142,100	137,500	124,700	119,300
東京	x	x	66,800	71,700	97,200	109,400	112,400	132,000	133,800	133,800	133,800	124,000
神奈川	67,100	67,600	69,800	81,300	88,500	116,900	135,100	140,500	141,600	141,900	141,200	136,800
愛知	68,300	68,300	68,300	79,300	85,400	99,800	112,300	119,200	119,800	119,800	119,300	119,300
大阪	62,700	63,100	63,800	74,800	82,500	89,100	110,000	118,800	121,000	121,000	121,000	112,200
兵庫	68,300	69,400	70,500	77,200	88,300	104,900	131,500	136,800	137,300	137,300	137,100	137,000
広島	85,500	85,800	85,800	95,000	95,000	96,200	97,400	97,400	101,000	101,000	167,200	167,200
福岡	65,700	65,700	65,700	71,700	80,500	101,300	104,800	105,500	105,500	108,900	108,900	107,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
埼玉	115,400	113,300	113,300	116,600	120,600	120,100	116,900	111,200	103,800	99,500
千葉	120,300	120,300	120,300	120,200	120,200	120,200	120,200	115,200	110,300	107,500
東京	129,300	129,300	129,300	129,300	129,300	129,300	122,200	122,200	120,900	115,400
神奈川	134,400	132,900	132,900	132,900	132,900	131,800	131,300	128,900	122,200	117,500
愛知	121,800	119,300	119,300	119,300	120,500	120,500	120,500	113,700	110,300	106,900
大阪	112,200	112,200	112,200	112,200	121,000	118,800	118,800	110,000	110,000	110,000
兵庫	137,000	137,000	137,000	137,200	142,400	142,400	137,200	131,900	126,600	121,200
広島	167,200	167,200	167,200	141,900	138,100	140,800	140,800	140,800	138,500	127,300
福岡	107,100	107,100	107,100	107,100	106,900	106,900	106,900	105,900	105,900	104,900

○ホワイトウッド間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	56,800	58,100	65,400	75,900	89,000	99,200	107,000	116,400	118,700	120,200	120,200	120,200
千葉	75,500	76,800	79,600	93,300	103,500	123,500	131,500	138,700	141,500	147,700	147,700	148,000
東京	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
神奈川	58,900	60,200	66,700	79,500	90,600	107,000	115,900	127,400	132,300	136,900	136,900	139,200
愛知	63,200	63,800	66,300	69,100	78,200	92,900	102,500	112,800	118,400	123,100	125,600	126,900
大阪	x	x	x	x	x	97,700	109,400	119,700	121,000	122,300	127,100	127,100
兵庫	56,700	57,800	59,900	73,500	84,500	99,200	114,300	133,200	133,200	140,600	128,800	128,800
広島	72,200	75,300	78,200	78,800	79,000	91,500	102,100	102,400	124,900	125,200	126,300	126,300

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
埼玉	111,300	111,300	111,300	121,000	122,400	122,400	119,000	114,700	111,500	107,800
千葉	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	145,600	143,800	134,800
東京	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	144,400	131,300
神奈川	139,200	137,800	137,800	137,800	138,500	139,000	136,700	136,000	133,000	125,300
愛知	126,900	128,100	128,100	127,900	127,900	127,200	126,900	126,500	122,200	115,200
大阪	132,000	132,000	132,000	132,000	132,000	126,900	121,600	115,500	110,600	110,000
兵庫	140,400	143,200	143,200	143,200	143,200	143,200	140,400	137,500	134,600	134,600
広島	126,300	126,300	126,300	125,600	121,500	125,600	125,400	124,300	122,400	122,400

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2021年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
宮崎	1,800	1,900	1,900	2,000	2,200	2,700	2,900	3,000	3,200	3,800	4,400	4,400

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
秋田	x	4,700	4,400	4,400	4,300	4,200	4,000	4,000	4,000	3,800
宮崎	4,200	4,300	4,300	4,300	4,300	4,400	4,400	4,400	4,200	4,200

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2021年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岡山	2,000	2,000	2,100	2,300	2,300	2,800	2,900	3,500	4,400	5,100	5,100	5,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
岡山	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	4,900	4,700	4,500	4,400

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類）

・2021年

単位：円/枚

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	1,180	1,180	1,190	1,190	1,260	1,320	1,360	1,390	1,510	1,520	1,590	1,760
東京	1,360	1,360	1,360	1,360	1,390	1,410	1,440	1,460	1,510	1,580	1,640	1,760
大阪	1,030	1,030	1,030	1,030	1,060	1,060	1,110	1,150	1,170	1,290	1,330	1,660

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
埼玉			2,220			2,420			2,390
東京			2,140			2,420			2,410
大阪			1,840			1,990			2,220

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は1月。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：針葉樹合板の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○チップ用丸太（針葉樹）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	7,000
青森	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100
宮城	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
秋田	6,600	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	6,700	6,900	6,700	6,500	6,200	6,000	6,100	6,100	6,200	5,900	6,100	5,900
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,700	5,700	5,700	5,900	6,400	6,500
長野	6,000	6,000	6,000	6,000	6,100	6,200	6,400	6,400	6,400	6,400	6,500	6,800
京都	7,900	8,000	8,000	8,000	8,100	8,300	8,300	8,400	8,400	8,600	8,600	8,600
兵庫	6,300	6,300	6,800	6,800	6,300	6,400	6,500	6,500	6,500	6,600	6,600	6,600
島根	9,200	8,000	9,200	9,300	9,700	9,700	9,700	9,500	9,900	9,600	9,900	9,200
広島	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
高知	5,600	5,700	5,500	5,500	5,700	5,800	5,900	5,600	5,500	5,400	5,300	5,500
熊本	6,200	6,800	6,400	6,300	6,600	6,300	6,600	6,400	7,200	6,500	6,600	6,900
宮崎	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	8,000	7,900	7,800	7,700
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
北海道	7,000	7,000	7,000	7,100	7,100	7,300	7,200	7,300	7,300	7,300
青森	6,500	6,500	6,500	6,800	6,800	6,800	7,000	7,000	7,000	7,000
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
宮城	5,600	5,600	5,600	5,700	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800
秋田	6,700	6,700	6,700	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	5,400	5,400	6,100	6,200	6,200	6,100	6,100	5,900	6,600	6,300
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	6,800	6,600	7,000	7,100	6,900	7,200	7,300	7,700	7,800	7,400
長野	6,800	6,700	6,700	6,700	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800
京都	8,600	8,600	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
兵庫	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	7,200	7,200	7,200	7,200
島根	9,700	9,200	9,200	9,700	9,600	9,700	10,100	10,100	10,200	9,600
広島	5,000	5,000	5,000	5,600	6,000	6,300	6,400	6,500	6,400	6,300
高知	5,400	5,600	5,500	5,700	5,800	5,400	5,700	5,600	5,600	5,900
熊本	7,300	7,100	7,000	7,000	7,000	7,800	7,000	6,800	7,100	7,400
宮崎	7,400	7,400	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,900	7,900
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	8,200	8,200	8,200	8,200

○チップ用丸太（広葉樹）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
青森	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
岩手	10,700	10,700	10,500	10,600	10,700	10,700	10,700	10,900	10,900	10,900	10,900	10,900
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700
秋田	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,900	8,900	8,800	8,900	8,900	8,900	8,800	8,900	8,800	8,800	8,800	8,900
山梨	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	6,000	6,000	6,000	6,200	6,400	6,500
島根	10,600	10,400	10,500	10,500	10,700	10,600	10,500	10,400	10,400	10,300	10,200	10,400
広島	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900
熊本	8,000	8,400	8,300	8,300	8,600	8,800	8,700	8,600	8,700	8,300	8,500	8,300
宮崎	8,600	8,300	8,600	8,400	8,400	8,400	8,500	8,600	8,500	8,400	8,400	8,200
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,700	9,700	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900
青森	11,600	11,600	11,600	11,900	11,900	11,900	12,100	12,100	12,100	12,100
岩手	11,000	11,000	11,000	11,100	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
秋田	11,800	11,800	11,800	12,000	12,000	12,400	12,500	12,500	12,500	12,500
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,700	8,900	8,900	8,900	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800	9,000
山梨	6,600	6,600	6,500	6,500	6,800	6,800	7,000	7,500	7,500	7,500
島根	10,500	10,300	10,400	10,600	10,600	10,500	10,700	10,800	10,800	10,800
広島	6,000	6,100	6,100	6,100	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,100
熊本	8,200	8,500	8,400	8,800	9,100	9,000	8,800	8,900	9,100	8,900
宮崎	8,200	8,200	8,200	8,100	8,500	8,500	8,300	8,300	8,300	8,300
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○木材チップ (針葉樹)

・2021年

単位：円／t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	14,700	14,900	14,900	14,900	14,900	15,000	15,000	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900
青森	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600
岩手	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800
宮城	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600
秋田	16,100	15,900	16,000	15,900	15,900	15,900	15,900	15,900	16,200	16,200	15,900	15,900
福島	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,100
茨城	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	24,600	22,400	20,900	20,900	20,900
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900
京都	17,500	17,500	17,500	17,500	17,500	18,100	18,100	19,200	19,200	19,200	19,200	19,200
兵庫	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100
岡山	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
広島	13,400	11,500	11,400	11,500	11,500	11,600	11,600	11,600	11,700	11,700	11,600	11,500
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,100	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
大分	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
北海道	14,900	14,900	14,900	14,900	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,200
青森	15,600	15,600	15,600	16,200	16,300	16,300	16,700	16,700	16,700	17,000
岩手	15,800	15,800	15,800	15,900	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200
宮城	18,600	18,600	18,600	18,800	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000
秋田	15,900	16,400	16,400	16,500	16,700	16,800	16,800	16,300	16,300	16,500
福島	18,100	18,100	18,100	18,100	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400
茨城	7,200	7,200	7,200	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900
京都	19,200	19,500	19,700	19,700	19,700	19,700	19,900	19,900	19,900	21,900
兵庫	17,100	17,100	17,100	18,700	18,800	18,800	19,300	19,300	19,300	19,300
岡山	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,500	14,500	14,600	14,600	14,600
広島	15,300	15,300	15,600	15,600	15,600	15,800	15,900	15,900	15,900	15,900
徳島	20,900	20,900	20,900	20,900	21,300	21,300	21,300	21,500	21,500	21,500
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,300	19,300	19,300	19,200	19,500	19,500	19,700	19,700	19,700	19,700
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,200
大分	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	12,500
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
鹿児島	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000

○木材チップ (広葉樹)

・2021年

単位：円／t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400
青森	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500
岩手	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600
秋田	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,700	20,700	20,700	20,300	20,300
福島	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,100
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	16,000	16,000
島根	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800
広島	20,800	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500
熊本	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000
宮崎	19,700	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
北海道	20,400	20,400	20,400	20,700	20,700	20,700	20,800	20,800	20,800	20,900
青森	18,500	18,500	18,500	18,800	18,800	18,800	19,100	19,100	19,100	19,300
岩手	18,600	18,600	18,600	18,700	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600	19,800	19,800	19,800	19,800	19,800	19,800
秋田	20,300	20,300	20,300	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
福島	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,200	15,600	15,600	15,600	15,900	15,900	16,000	17,400	17,400	17,400
島根	20,800	20,800	20,800	21,700	22,400	22,400	22,400	22,400	22,600	22,600
広島	19,700	19,800	19,800	19,700	19,700	19,700	19,700	19,800	19,800	19,800
熊本	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,600	21,600	21,600	21,600
宮崎	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,500	20,500	20,500
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

木材需給情報-1 木材需要の動向（2021年木材需給表）

- 木材の総需要量は、82,132千 m^3 （対前年比110.3%）となった。内訳は、用材が67,142千 m^3 （同109.4%）、しいたけ原木が246千 m^3 （同101.7%）、燃料材が14,744千 m^3 （同115.1%）である。
- 国内消費量は、78,881千 m^3 （対前年比110.4%）となった。この中で、前年に比べて増加量が大きかったものは、パルプ・チップ用材の+2,629千 m^3 （同110.6%）、燃料材の+1,940千 m^3 （同115.2%）である。
- 輸出量は、3,251千 m^3 （対前年比108.0%）となった。この中で、前年に比べて増加したものは、丸太（用材）の+75千 m^3 （同105.4%）、製材品等の+60千 m^3 （同121.8%）、合板等の+58千 m^3 （同132.4%）、木材パルプ・チップ等の+50千 m^3 （同104.3%）である。

木材需要の動向

区 分			2021年		2020年		対前年 増減量 (千 m^3)	対前年 比 (%)
			数量 (千 m^3)	構成比 (%)	数量 (千 m^3)	構成比 (%)		
総 需 要 量	用 材	製材用材	26,179	31.9	24,597	33.0	1,582	106.4
		合板用材	10,294	12.5	8,919	12.0	1,375	115.4
		パルプ・チップ用材	28,743	35.0	26,064	35.0	2,679	110.3
		その他用材	1,926	2.3	1,812	2.4	114	106.3
		小計	67,142	81.7	61,392	82.5	5,750	109.4
	しいたけ原木	246	0.3	242	0.3	4	101.7	
	燃料材	14,744	18.0	12,805	17.2	1,939	115.1	
計			82,132	100.0	74,439	100.0	7,693	110.3
国 内 消 費	用 材	製材用材	25,844	32.8	24,321	34.0	1,523	106.3
		合板用材	10,056	12.7	8,741	12.2	1,315	115.0
		パルプ・チップ用材	27,529	34.9	24,900	34.9	2,629	110.6
		その他用材	466	0.6	426	0.6	40	109.4
		小計	63,895	81.0	58,387	81.7	5,508	109.4
	しいたけ原木	246	0.3	242	0.3	4	101.7	
	燃料材	14,740	18.7	12,800	17.9	1,940	115.2	
計			78,881	100.0	71,430	100.0	7,451	110.4
輸 出	用 材	丸太	1,459	44.9	1,384	46.0	75	105.4
		製材品等	335	10.3	275	9.2	60	121.8
		合板等	237	7.3	179	5.9	58	132.4
		木材パルプ・チップ等	1,214	37.3	1,164	38.7	50	104.3
		その他	2	0.1	3	0.1	△1	66.7
	小計	3,247	99.9	3,005	99.8	242	108.1	
	燃料材	4	0.1	5	0.2	△1	80.0	
計			3,251	100.0	3,009	100.0	242	108.0

資料：林野庁「木材需給表」

注：1）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

2）輸出の製材品等は、製材、集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル、加工材等である。

3）輸出の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

4）輸出の木材パルプ・チップ等は、木材パルプ、木材チップ、再生木材である。

5）輸出の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

6）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報-1 木材供給の動向（2021年木材需給表）

- 木材の総供給量は、82,132千 m^3 （対前年比110.3%）となった。内訳は、用材が67,142千 m^3 （同109.4%）、しいたけ原木が246千 m^3 （同101.7%）、燃料材が14,744千 m^3 （同115.1%）である。
- 国内生産量は、33,723千 m^3 （対前年比108.3%）となった。この中で、前年に比べて増加量が大きかったものは、丸太（用材）の+2,092千 m^3 （同109.6%）である。
- 輸入量は、48,409千 m^3 （対前年比111.8%）となった。この中で、前年に比べ増加量が大きかったものは、木材チップ等の+2,538千 m^3 （同115.2%）、燃料材の+1,516千 m^3 （同139.1%）である。一方で、製材品等は Δ 218千 m^3 （同97.8%）、木材パルプは Δ 199千 m^3 （同96.0%）と減少した。

木材供給の動向

区 分			2021年		2020年		対前年 増減量 (千 m^3)	対前年 比 (%)	
			数量 (千 m^3)	構成比 (%)	数量 (千 m^3)	構成比 (%)			
総供給量	用材	丸太	27,845	33.9	25,180	33.8	2,665	110.6	
		林地残材	161	0.2	106	0.1	55	151.9	
		輸入木材製品	39,136	47.6	36,106	48.5	3,030	108.4	
		小計	67,142	81.7	61,392	82.5	5,750	109.4	
	しいたけ原木	246	0.3	242	0.3	4	101.7		
	燃料材	14,744	18.0	12,805	17.2	1,939	115.1		
	計	82,132	100.0	74,439	100.0	7,693	110.3		
国内生産	用材	丸太	23,966	71.1	21,874	70.2	2,092	109.6	
		林地残材	161	0.5	106	0.3	55	151.9	
		小計	24,127	71.5	21,980	70.6	2,147	109.8	
	しいたけ原木	246	0.7	242	0.8	4	101.7		
	燃料材	9,350	27.7	8,927	28.7	423	104.7		
計	33,723	100.0	31,149	100.0	2,574	108.3			
輸入	用材	丸太	3,879	8.0	3,306	7.6	573	117.3	
		製材品等	製材品等	9,903	20.5	10,121	23.4	Δ 218	97.8
			合板等	5,201	10.7	4,293	9.9	908	121.2
			木材パルプ	4,798	9.9	4,997	11.5	Δ 199	96.0
			木材チップ等	19,184	39.6	16,646	38.5	2,538	115.2
			その他	49	0.1	49	0.1	0	100.0
	小計	39,136	80.8	36,106	83.4	3,030	108.4		
	燃料材	5,394	11.1	3,878	9.0	1,516	139.1		
計	48,409	100.0	43,290	100.0	5,119	111.8			

資料：林野庁「木材需給表」

- 注：1）林地残材とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。
- 2）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。
- 3）輸入の製材品等は、製材、集成材、構造用集成材、セルラーウツパネル、加工材等である。
- 4）輸入の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。
- 5）輸入の木材チップ等は、木材チップ、再生木材である。
- 6）輸入の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。
- 7）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報-1 木材自給率の動向（2021年木材需給表）

- 建築用材等の自給率は、製材用材の国内生産が大きく増加したこと等により、対前年比で0.8ポイント上昇し、48.0%となった。
- 非建築用材等の自給率は、パルプ・チップ用材及び燃料材の輸入が大きく増加したこと等により、対前年比で2.0ポイント低下し、35.5%となった。
- これらを合わせた総数での自給率は、対前年比で0.7ポイント低下し、41.1%となった。

【参考】木材自給率（%）＝ 国内生産量 ÷ 総需要量（※） × 100
 ※「総需要量」は「国内消費量」に「輸出量」を加えたもの。

木材自給率の動向

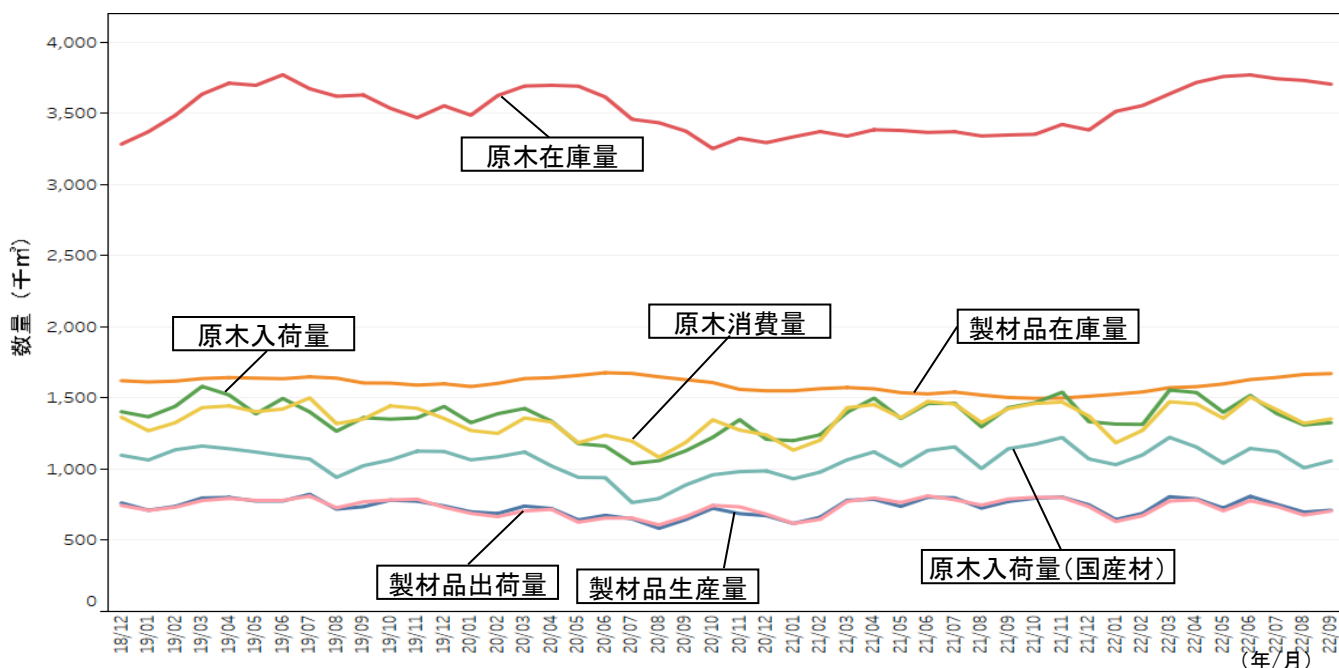
区 分		2021年	2020年	対前年 増減量 (千m ³)	対前年比 (%)	
		数量 (千m ³)	数量 (千m ³)			
建築用材等	国内生産	17,522	15,810	1,712	110.8	
	輸 入	18,951	17,706	1,245	107.0	
	総 需 要 量	36,473	33,516	2,957	108.8	
	自 給 率	48.0%	47.2%	0.8ポ ^ン ト		
用材	製材用材	国内生産	12,861	11,615	1,246	110.7
		輸 入	13,318	12,982	336	102.6
	総 需 要 量	26,179	24,597	1,582	106.4	
	自 給 率	49.1%	47.2%	1.9ポ ^ン ト		
合板用材	国内生産	4,661	4,195	466	111.1	
	輸 入	5,633	4,724	909	119.2	
総 需 要 量	10,294	8,919	1,375	115.4		
自 給 率	45.3%	47.0%	△ 1.7ポ ^ン ト			
非建築用材等	国内生産	16,201	15,339	862	105.6	
	輸 入	29,458	25,584	3,874	115.1	
	総 需 要 量	45,659	40,923	4,736	111.6	
	自 給 率	35.5%	37.5%	△ 2.0ポ ^ン ト		
用材	パルプ・チップ用材	国内生産	4,744	4,420	324	107.3
		輸 入	24,000	21,644	2,356	110.9
	総 需 要 量	28,743	26,064	2,679	110.3	
	自 給 率	16.5%	17.0%	△ 0.5ポ ^ン ト		
その他用材	国内生産	1,862	1,750	112	106.4	
	輸 入	65	62	3	104.8	
総 需 要 量	1,926	1,812	114	106.3		
自 給 率	96.6%	96.6%	0.0ポ ^ン ト			
しいたけ原木	国内生産	246	242	4	101.7	
	輸 入	-	-	-	-	
	総 需 要 量	246	242	4	101.7	
自 給 率	100.0%	100.0%	0.0ポ ^ン ト			
燃料材	国内生産	9,350	8,927	423	104.7	
	輸 入	5,394	3,878	1,516	139.1	
	総 需 要 量	14,744	12,805	1,939	115.1	
	自 給 率	63.4%	69.7%	△ 6.3ポ ^ン ト		
総 数	国内生産	33,723	31,149	2,574	108.3	
	輸 入	48,409	43,290	5,119	111.8	
	総 需 要 量	82,132	74,439	7,693	110.3	
	自 給 率	41.1%	41.8%	△ 0.7ポ ^ン ト		
うち 用材の計	国内生産	24,127	21,980	2,147	109.8	
	輸 入	43,015	39,412	3,603	109.1	
	総 需 要 量	67,142	61,392	5,750	109.4	
	自 給 率	35.9%	35.8%	0.1ポ ^ン ト		

資料：林野庁「木材需給表」

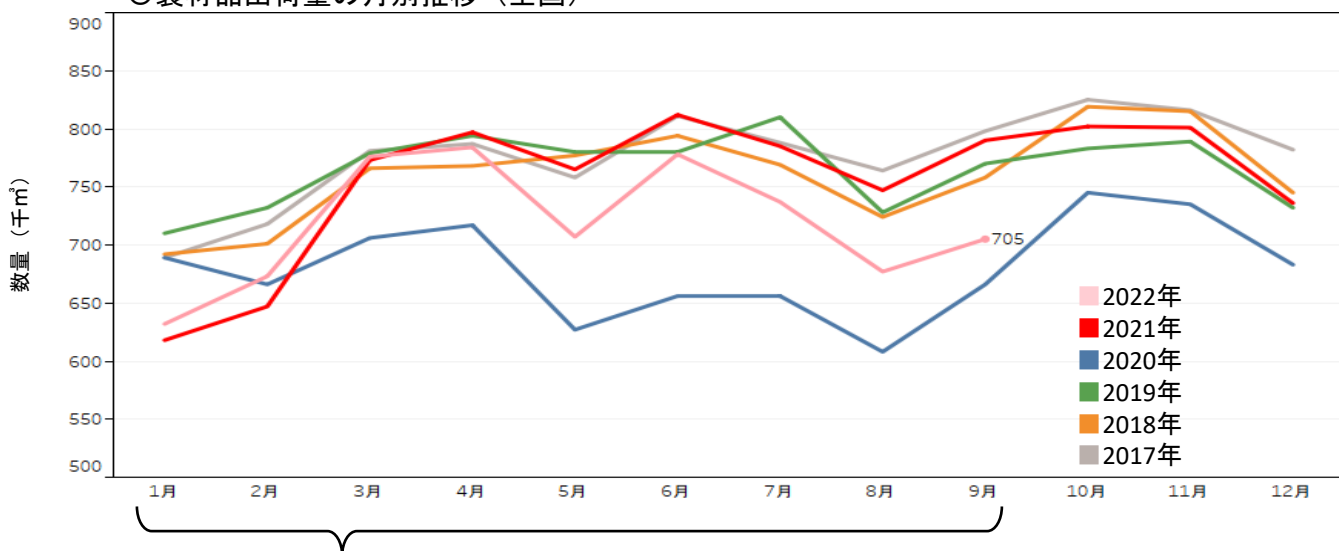
注) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報-2 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2022年1～9月の原木の入荷量は12,664千 m^3 （2019年比99%）。
- 同様に製材品の出荷量は6,469千 m^3 （2019年比94%）。



○製材品出荷量の月別推移（全国）

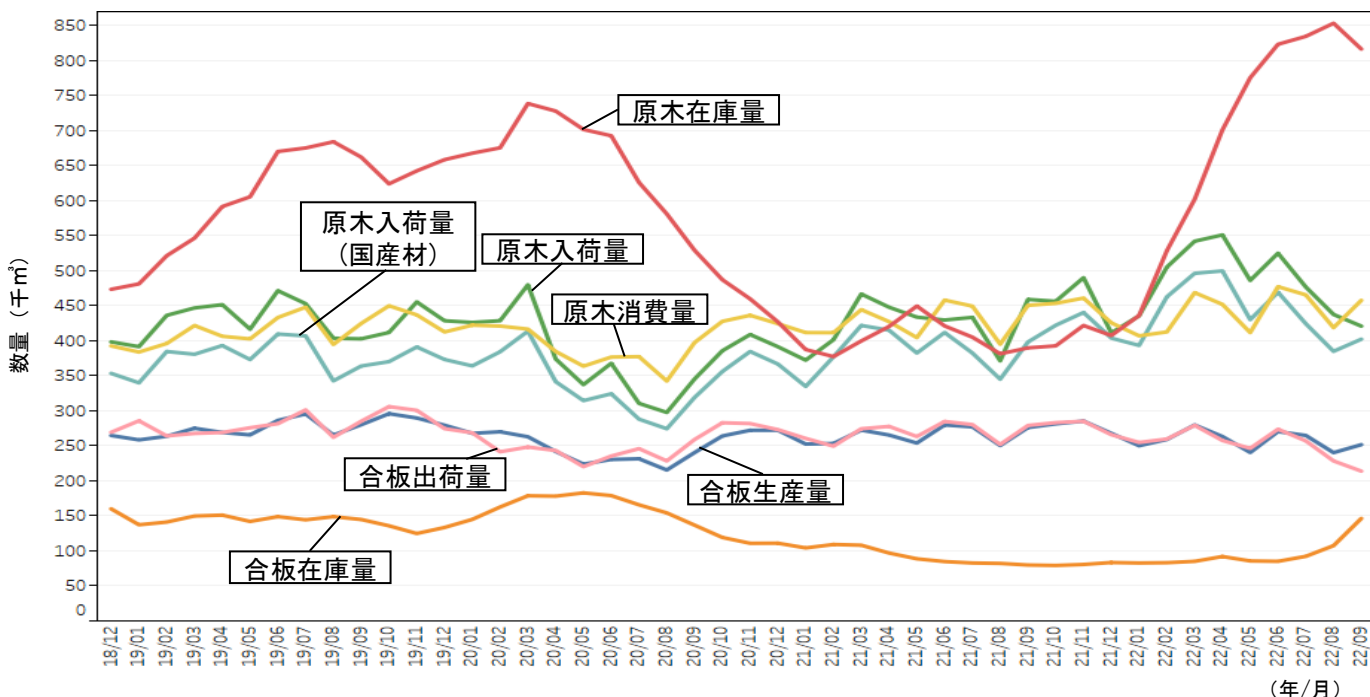


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～9月原木入荷量合計(千 m^3)	12,341	12,318	12,823	11,045	12,346	12,664
2019年との比較*	96%	96%	—	86%	96%	99%
1～9月出荷量合計(千 m^3)	6,894	6,749	6,883	5,991	6,743	6,469
2019年との比較*	100%	98%	—	87%	98%	94%

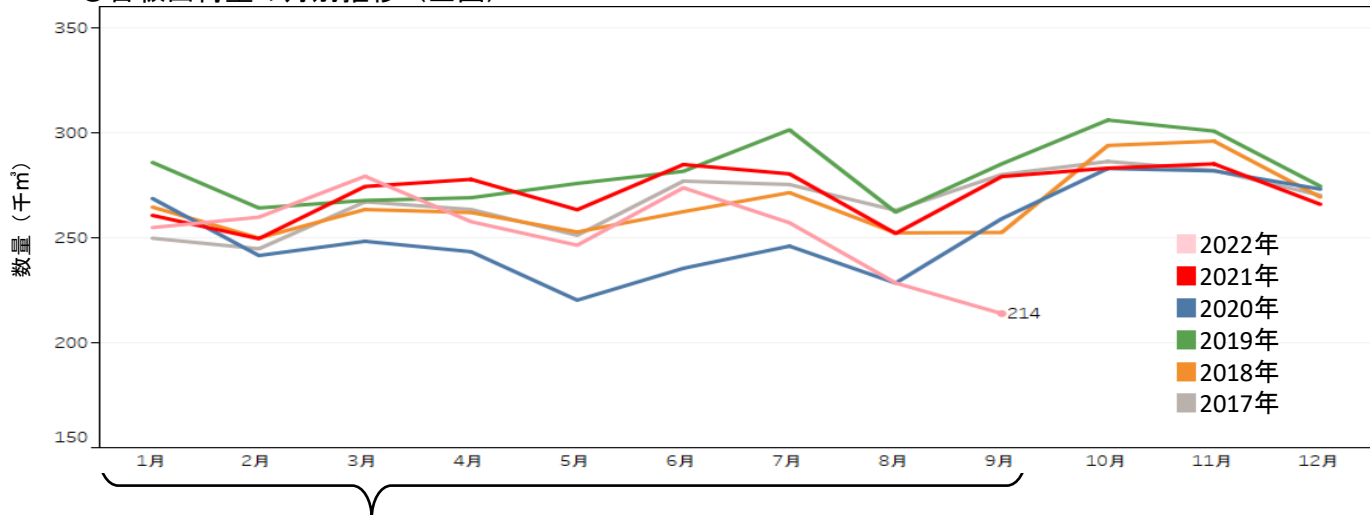
*2019年の数値を100%とした比較

資料：農林水産省「製材統計」

- 2022年1～9月の原木の入荷量は4,380千 m^3 （2019年比113%）。
- 同様に合板の出荷量は2,271千 m^3 （2019年比91%）。



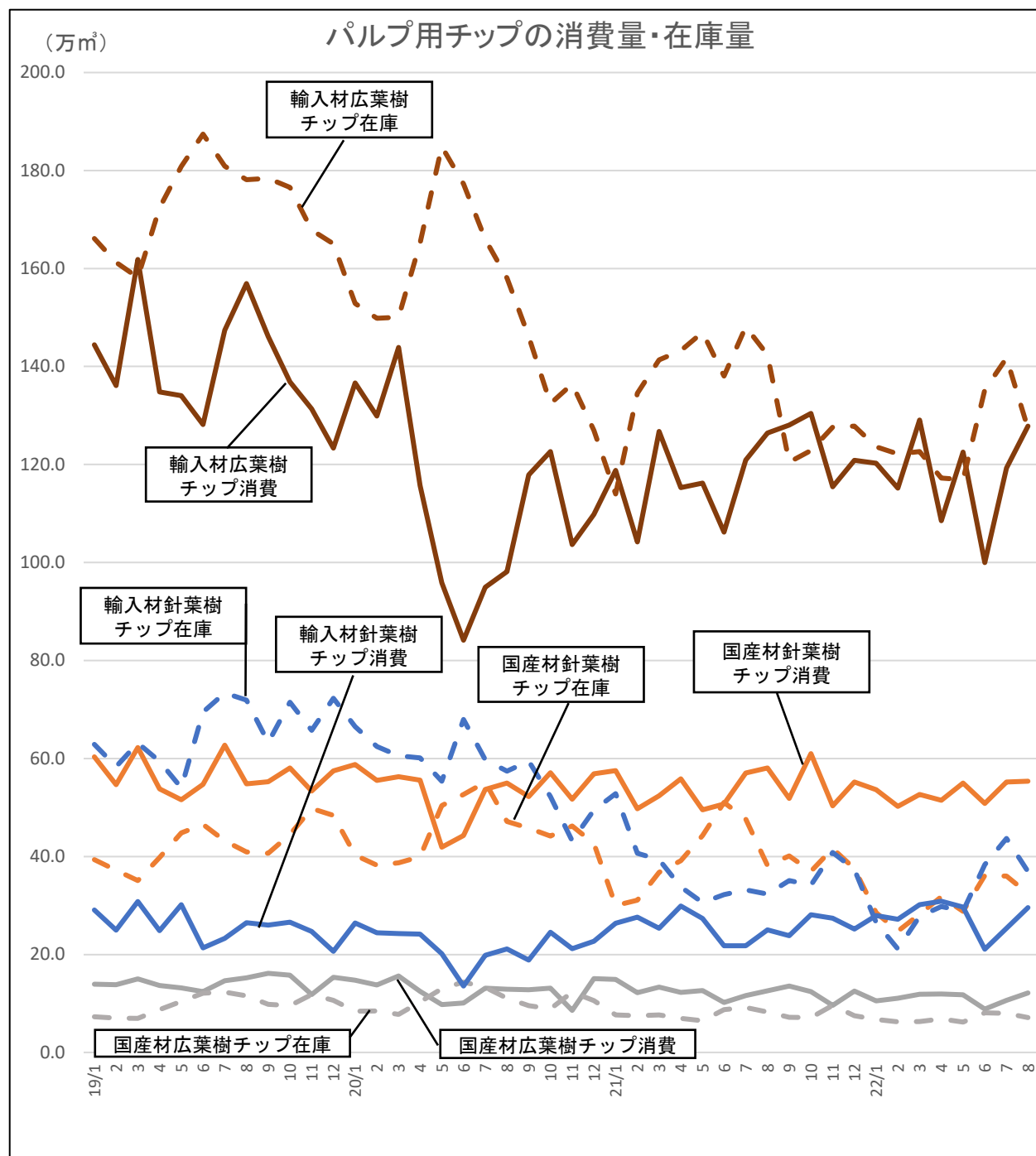
○合板出荷量の月別推移（全国）



	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～9月原木入荷量 合計(千 m^3)	3,432	3,696	3,874	3,368	3,815	4,380
2019年との比較*	89%	95%	—	87%	98%	113%
1～9月出荷量 合計(千 m^3)	2,371	2,331	2,492	2,190	2,422	2,271
2019年との比較*	95%	94%	—	88%	97%	91%

※2019年の数値を100%とした比較

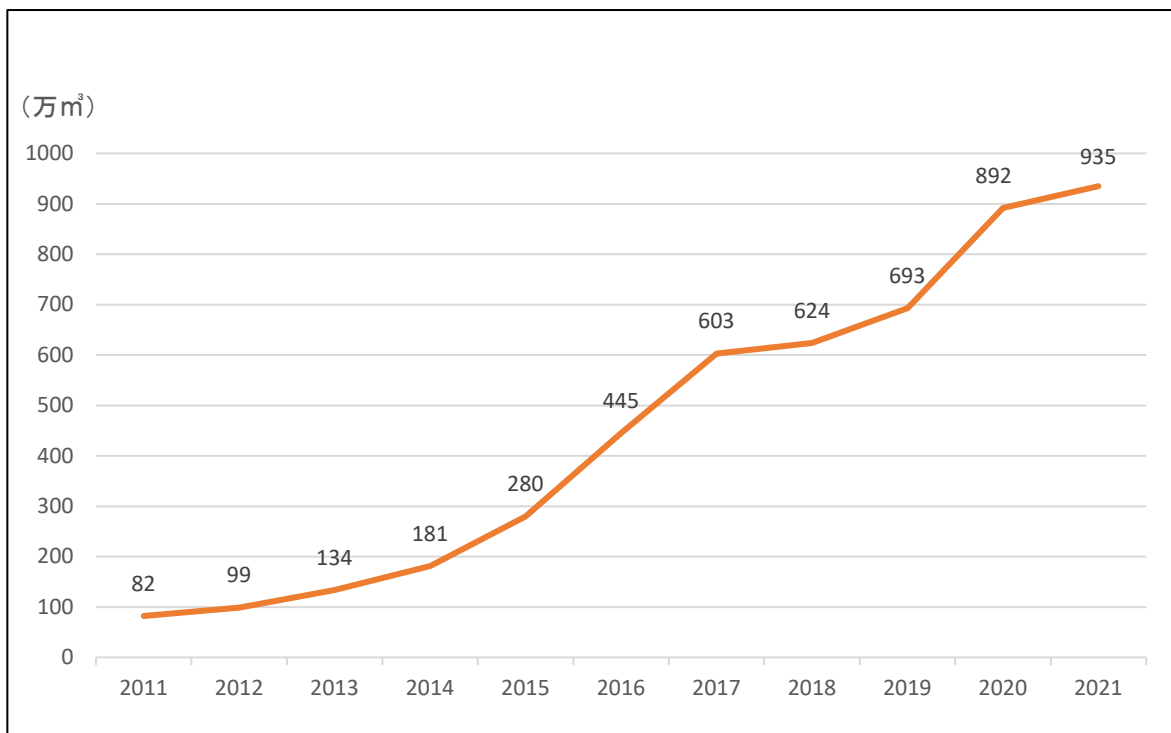
- パルプ用チップの消費について、輸入広葉樹チップの消費量は2020年4月から6月まで激減した。その後は回復傾向。国産針葉樹チップの消費量は、2020年5月に大きく減少したが、その後回復した。



資料：林野庁木材産業課調べ

- 燃料材(国内生産)の利用量は、発電利用を中心に増加(過去10年間で約11倍)。
- 紙の生産高は2020年6月に減少したが、その後一定程度回復している。

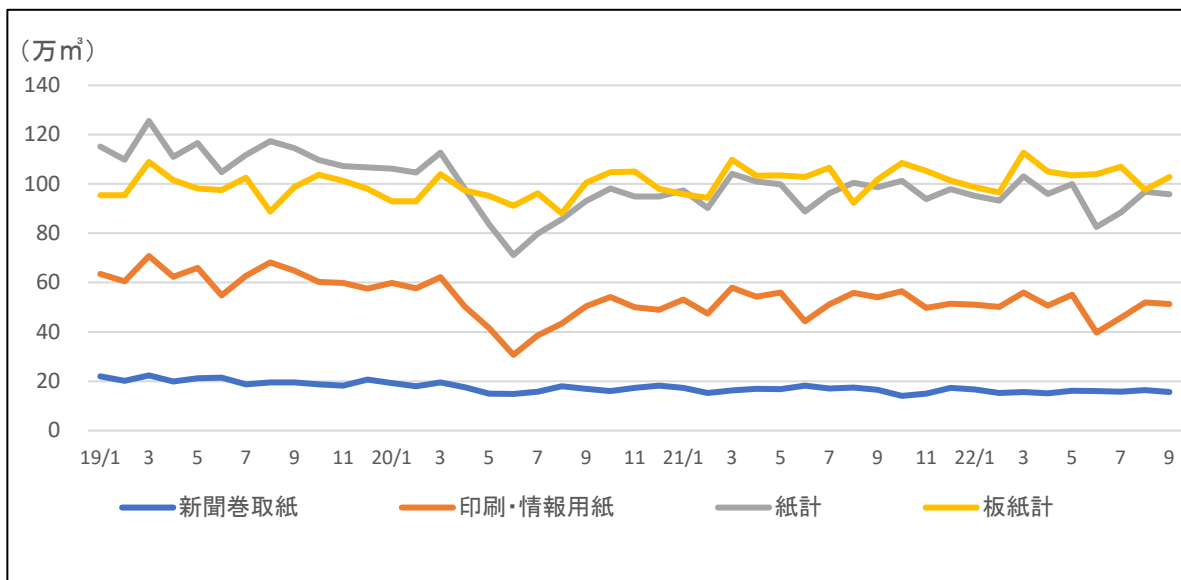
○燃料材(国内生産)の利用量の推移



資料：木材利用課調べ(～2014年)、林野庁「木材需給表」(2015年～)

注：利用量には輸出量は含まない。

○紙品種別生産高



資料：林野庁木材産業課調べ

木材需給情報-6 素材生産量（2021年）

- 2021年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量は2,185万 m^3 。

単位：千 m^3

全 国 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹		広葉樹
					スギ		
全 国	21,847	12,861	4,661	4,325	20,088	12,917	1,759
北 海 道	3,163	1,630	652	881	2,615	63	548
青 森	971	360	397	214	924	812	47
岩 手	1,431	525	547	359	1,228	770	203
宮 城	627	218	292	117	588	538	39
秋 田	1,183	486	554	143	1,109	1,095	74
山 形	305	223	75	7	302	291	3
福 島	890	444	64	382	756	568	134
茨 城	401	320	4	77	374	254	27
栃 木	658	463	5	190	571	396	87
群 馬	252	162	31	59	240	179	12
埼 玉	67	31	x	x	43	25	24
千 葉	50	16	4	30	35	28	15
東 京	64	17	8	39	58	37	6
神 奈 川	10	8	x	x	9	6	1
新 潟	119	81	23	15	112	111	7
富 山	112	57	21	34	96	90	16
石 川	108	52	37	19	98	85	10
福 井	122	57	30	35	120	114	2
山 梨	125	27	x	x	104	27	21
長 野	460	188	207	65	453	106	7
岐 阜	385	256	80	49	381	211	4
静 岡	608	199	99	310	608	248	0
愛 知	139	96	28	15	127	76	12
三 重	277	189	81	7	276	122	1
滋 賀	72	15	14	43	57	40	15
京 都	159	51	41	67	140	98	19
大 阪	x	7	-	x	10	6	x
兵 庫	301	98	143	60	287	189	14
奈 良	125	107	x	x	125	67	0
和 歌 山	206	138	24	44	201	129	5
鳥 取	232	83	101	48	211	163	21
鳥 根	346	120	124	102	289	204	57
岡 山	427	348	23	56	389	100	38
広 島	347	152	81	114	267	136	80
山 口	221	123	46	52	198	135	23
徳 島	333	175	x	x	321	263	12
香 川	13	5	-	8	8	1	5
愛 媛	563	528	3	32	563	342	-
高 知	519	x	x	94	516	254	3
福 岡	402	343	7	52	395	353	7
佐 賀	130	109	1	20	119	66	11
長 崎	139	77	12	50	120	59	19
熊 本	938	752	123	63	907	686	31
大 分	1,129	892	210	27	1,116	929	13
宮 崎	2,042	1,830	164	48	2,026	1,931	16
鹿 児 島	664	417	132	115	596	514	68
沖 縄	x	x	-	x	0	-	x

資料：農林水産省「令和3年木材統計」

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの

木材需給情報-7 木材生産の産出額（2020年）

- 2020年の木材生産の都道府県別木材生産の産出額の合計は1,944億円。

単位：千万円

都道府県	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
		スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ			
北海道	2,793	2,318	30	-	-	2,260	475	-
青森	744	679	540	0	43	60	65	-
岩手	1,307	1,035	551	0	155	329	259	-
宮城	438	406	375	4	21	4	30	2
秋田	1,002	905	871	-	2	28	95	-
山形	245	240	228	0	2	9	5	0
福島	688	606	478	71	26	28	80	-
茨城	392	368	252	114	1	0	24	-
栃木	587	551	363	185	1	1	30	2
群馬	172	168	115	19	1	31	4	-
埼玉	45	28	18	10	0	0	17	-
千葉	41	26	21	4	-	-	12	3
東京	19	16	7	9	-	0	2	-
神奈川	11	10	5	5	-	0	1	-
新潟	103	96	96	0	0	0	6	0
富山	71	67	64	1	1	1	4	-
石川	132	115	93	6	8	1	16	0
福井	102	97	94	1	1	0	5	0
山梨	104	86	21	9	15	34	13	-
長野	463	436	59	95	32	240	17	-
岐阜	456	444	250	179	3	11	11	-
静岡	307	304	135	165	1	2	2	-
愛知	208	207	99	90	0	15	2	-
三重	320	316	131	182	0	-	4	-
滋賀	44	36	26	10	0	0	7	1
京都	116	94	66	23	0	-	17	5
大阪	5	5	3	2	0	-	0	-
兵庫	204	193	124	65	1	0	11	0
奈良	147	147	72	74	0	-	0	0
和歌山	140	134	73	61	0	-	4	2
鳥取	226	211	167	39	4	0	16	-
島根	397	321	255	52	14	0	76	-
岡山	446	435	68	363	3	-	8	3
広島	274	232	115	106	11	0	41	-
山口	230	209	140	67	2	-	20	1
徳島	281	275	214	60	1	-	6	0
香川	8	7	2	5	0	-	-	1
愛媛	550	549	260	287	2	-	-	0
高知	500	496	243	250	3	-	3	1
福岡	187	177	128	48	1	-	9	1
佐賀	125	115	67	48	0	-	9	0
長崎	100	81	30	52	-	-	18	-
熊本	1,142	1,108	739	366	3	-	26	8
大分	1,038	1,020	833	186	0	-	7	5
宮崎	1,977	1,950	1,814	131	4	-	26	-
鹿児島	548	475	405	62	1	-	58	15
沖縄	2	0	-	-	-	-	2	-
合計	19,437	17,796	10,739	3,506	364	3,055	1,541	49

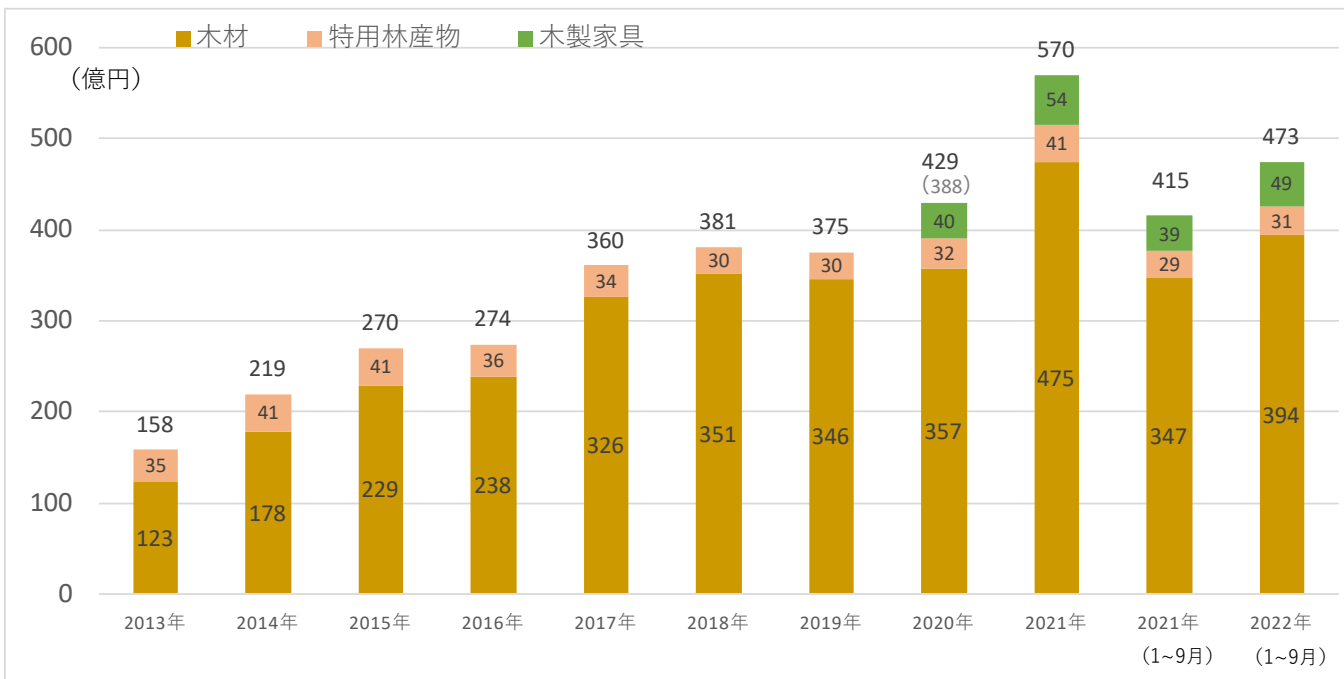
資料：農林水産省「令和2年林業産出額」

注：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場に直接入荷されるパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額を含まない。

また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。

- 令和4年9月の林産物の輸出額は48億円（前年同月比107%）となった。
- 内訳としては木材が39億円（同105%）、特用林産物が4億円（同118%）、木製家具が6億円（同111%）となった。
- 1～9月の累計は、473億円（前年同期比114%）となった。

○林産物輸出の推移



資料：財務省「貿易統計」

※特用林産物には、きのこ（はらたけ属以外）、乾しいたけ、ロジン、植物性ろう等が含まれる。なお、木質ペレット、薪、木炭は木材に含まれる。

※2020年の(388)は品目の見直しによる追加品目（木製家具、調整・保存処理したきのこ等）を含まない数字。

※四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

○林産物の月別輸出額

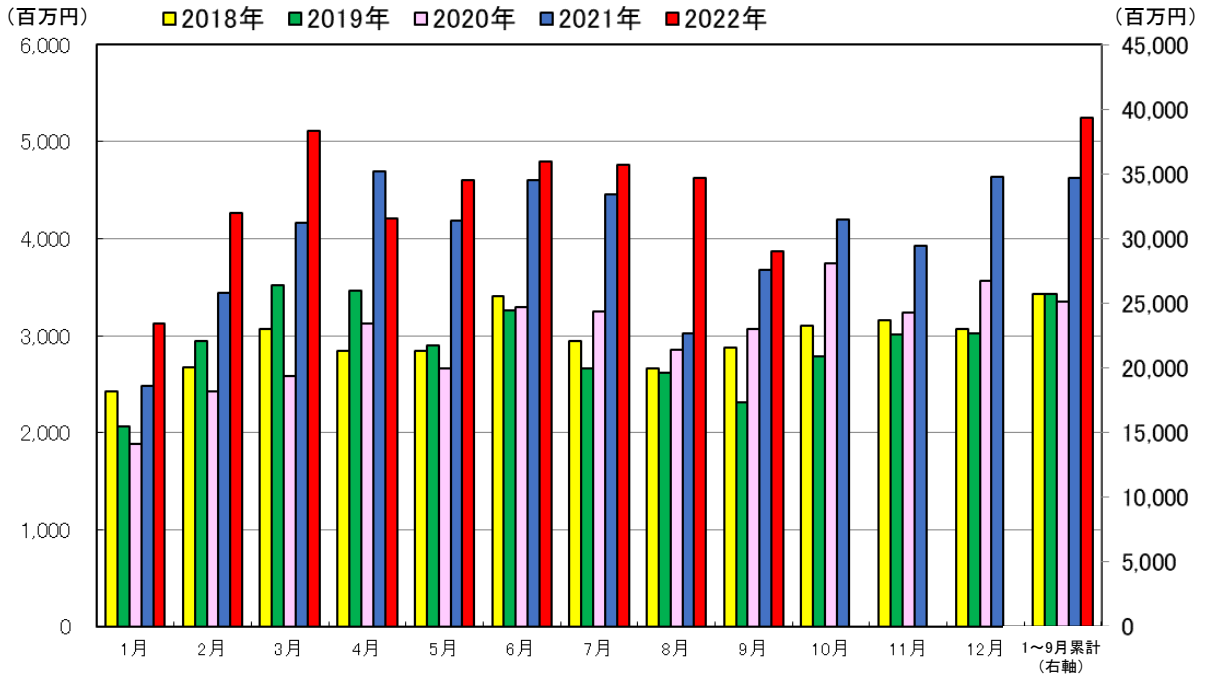
(億円)

	2021年				2022年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	31	25	3	3	37	119%	157%	31	3	4
2月	41	34	4	3	50	121%	164%	43	3	4
3月	51	42	4	5	61	121%	192%	51	4	6
4月	55	47	3	5	51	92%	138%	42	3	5
5月	49	42	3	4	55	113%	176%	46	3	5
6月	54	46	3	5	58	107%	154%	48	4	6
7月	52	45	3	4	58	111%	156%	48	4	7
8月	37	30	3	5	56	149%	165%	46	3	6
9月	45	37	3	5	48	107%	130%	39	4	6
10月	52	42	4	5						
11月	48	39	4	5						
12月	55	46	4	5						
9月累計	415	347	29	39	473	114%	158%	394	31	49

資料：財務省貿易統計

- 令和4年(2022年)9月の輸出額は39億円(前年同月比105%)となった。2022年(1~9月)の累計は394億円(前年同期比113%)となった。
- 特に丸太輸出額については、韓国向けや台湾向けの輸出が減少している。また、製材についても全体的に減少傾向となっている。

○木材輸出額の推移(月別)



○木材輸出額の推移(主な国別・品目別)

輸出先	単月 9月					累計1~9月				
	輸出額	前年比	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)			輸出額	前年比	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)		
	(百万円)	(%)	丸太	製材	合板	(百万円)	(%)	丸太	製材	合板
中国	1,442	88%	1,113 98%	104 89%	37 72%	16,170	97%	12,439 96%	1,203 106%	288 66%
韓国	196	63%	100 57%	35 69%	0 9%	2,879	102%	1,650 101%	451 90%	35 109%
台湾	159	99%	79 74%	25 81%	0 -	2,084	117%	1,148 107%	482 112%	2 11%
米国	619	192%	0 -	175 97%	0 -	4,690	121%	0 -	2,411 88%	11 156%
フィリピン	1,055	109%	0 -	165 60%	805 144%	10,678	152%	0 -	2,502 149%	7,273 150%
その他	402	146%	30 393%	57 136%	25 583%	2,865	111%	241 65%	453 152%	54 89%
総計	3,873	105%	1,322 93%	560 81%	867 140%	39,365	113%	15,479 97%	7,502 111%	7,663 141%

※資料：財務省貿易統計(第44類を集計)

※四捨五入により、数値が合わないことがある。

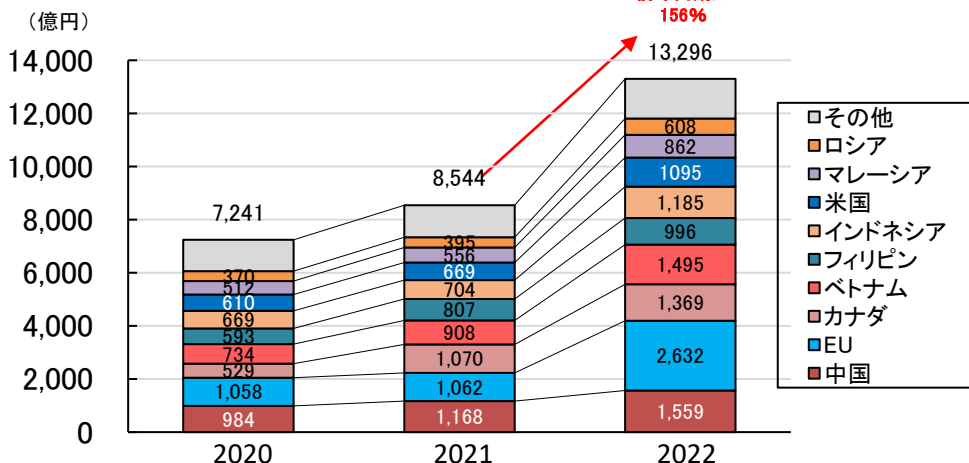
林産物輸出入情報-3 木材輸入額

- 2022年9月の木材輸入額は、前月比88%、前年同月比136%の1,495億円となった。
- 国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入額に占めるシェア14%）が72%、中国（同14%）が88%、カナダ（同12%）が77%、ベトナム（同10%）が97%、フィリピン（同9%）が99%、インドネシア（同8%）が96%と軒並み減少する一方、米国（同7%）が105%と増加した。
- 前年同月比で見ると、カナダが85%と減少する一方、EUが188%、中国が102%、ベトナムが203%、フィリピンが121%、インドネシアが170%、米国が146%などと軒並み増加した。

(単位: 億円)

年 国名	2021年 (1月～ 12月)	月別金額				累計金額		
		2022年 8月	2022年 9月	前月比	前年 同月比	2021年 1～9月	2022年 1～9月	前年 同期比
世界計	12,291	1,694	1,495	88%	136%	8,544	13,296	156%
E U	1,712	379	273	72%	188%	1,062	2,632	248%
(フィンランド)	557	141	105	74%	234%	341	882	259%
(スウェーデン)	399	71	40	55%	112%	235	560	239%
中 国	1,663	181	160	88%	102%	1,168	1,559	133%
カナダ	1,514	179	137	77%	85%	1,070	1,369	128%
ベトナム	1,268	228	220	97%	203%	908	1,495	165%
フィリピン	1,123	113	112	99%	121%	807	996	123%
インドネシア	1,029	155	150	96%	170%	704	1,185	168%
米 国	914	118	124	105%	146%	669	1,095	164%
マレーシア	769	113	99	88%	161%	556	862	155%
ロシア	634	64	39	62%	64%	395	608	154%
その他	1,664	166	182	110%	132%	1,206	1,495	124%
我が国の総輸入額	845,898	108,848	109,145	100%	146%	605,376	858,728	142%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.45%	1.56%	1.37%			1.41%	1.55%	

○2020～2022年の1～9月における木材輸入額(累計)



資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

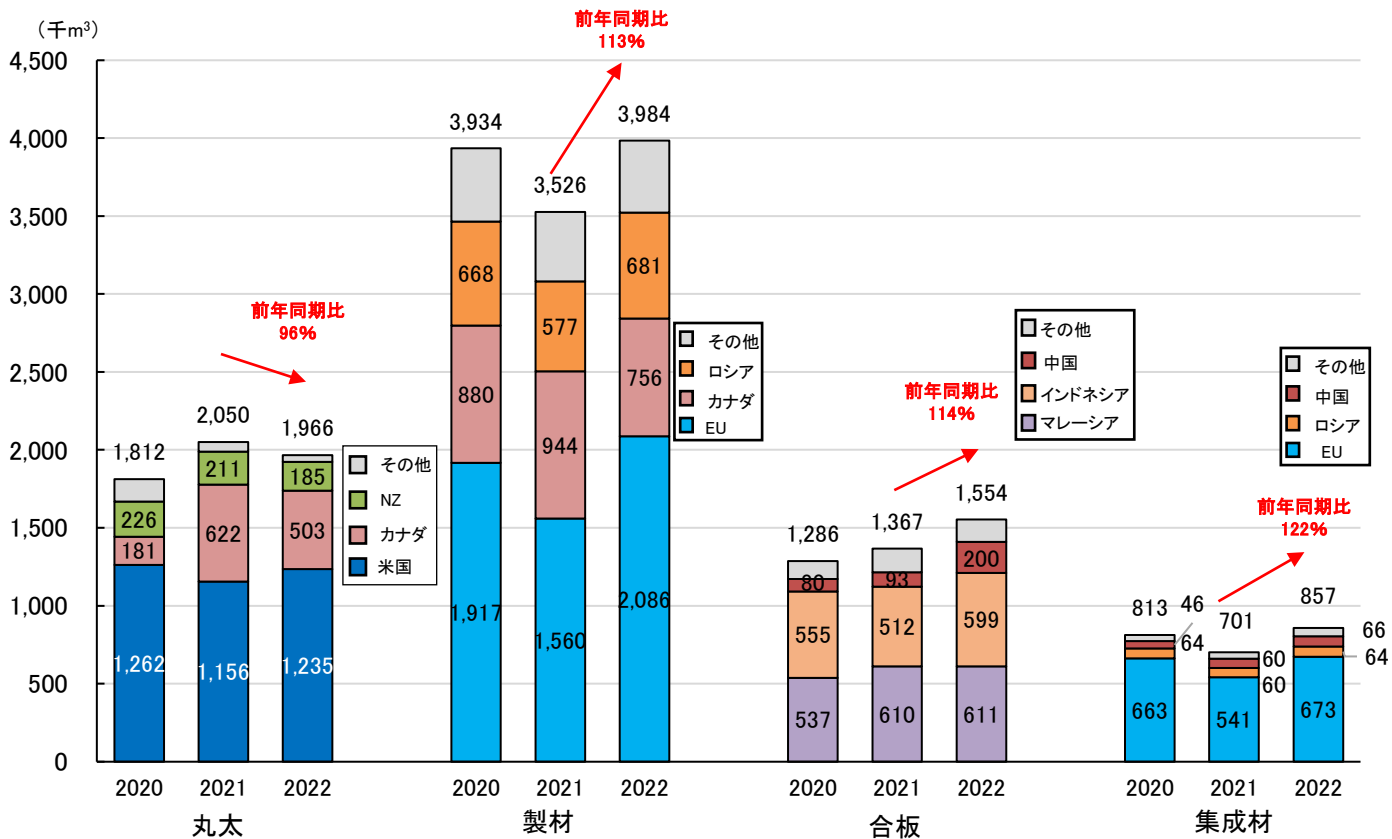
注2：EUに英国は含まない。

注3：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（累計）

- 2022年1～9月における品目別の輸入量は、前年同期比で丸太が96%と減少する一方で、製材が113%、合板が114%、集成材が122%と、増加した。
- なお、2020年同期と比較すると、丸太が109%、製材が101%、合板が121%、集成材が106%。

○2020～2022年の1～9月における品目別木材輸入量



資料：財務省貿易統計

(注)2022年2月のエクアドルからの丸太(4403.99-990号)輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（丸太）

- 2022年9月の丸太輸入量は、前月比78%、前年同月比80%の17万³となった。
- 国別に、前月比で見ると、カナダ（前年輸入量に占めるシェア28%）が29%、ニュージーランド（同12%）が93%と減少する一方、米国（同57%）が108%と増加した。
- 前年同月比で見ると、米国が89%、カナダが34%と減少した。ニュージーランドは皆増だった。

（単位：千³）

材種 国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 8月	2022年 9月	前月比	前年 同月比	2021年 1～9月	2022年 1～9月	前年 同期比
合計	[100%] 2,639	[100%] 223	[100%] 174			[100%] 2,050	[100%] 1,966	
米材	[86%] 2,257	[88%] 197	[90%] 156			[87%] 1,778	[88%] 1,738	
米国	[57%] 1,511	[56%] 125	[78%] 135			[56%] 1,156	[63%] 1,235	
カナダ	[28%] 746	[32%] 71	[12%] 21			[30%] 622	[26%] 503	
南洋材	[1%] 21	[3%] 7	-			[1%] 14	[1%] 14	
インドネシア	[0%] 0	-	-			-	[0%] 0	
マレーシア	[0%] 8	[3%] 7	-			[0%] 8	[1%] 14	
パプアニューギニア	[0%] 13	-	-			[0%] 6	-	
ロシア材	[1%] 35	-	-			[2%] 31	[0%] 7	
ニュージーランド材	[12%] 306	[8%] 18	[10%] 17			[10%] 211	[9%] 185	
欧州材	[1%] 13	[0%] 1	[0%] 0			[1%] 12	[1%] 15	
EU計	[1%] 13	[0%] 1	[0%] 0			[1%] 12	[1%] 15	
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 1	[0%] 2	
中国	[0%] 1	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 1	[0%] 2	
その他	[0%] 3	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 2	[0%] 3	

資料：財務省貿易統計

注1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

9：2022年2月のエクアドルからの丸太（4403.99-990号）輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（製材）

- 2022年9月の製材輸入量は、前月比72%、前年同月比82%の36万^mとなった。
- 国別に、前月比で見ると、カナダ（前年輸入量に占めるシェア25%）が100%となる一方、ロシア（同18%）が67%、EU（同44%）が66%と軒並み減少した。
- 前年同月比で見ると、カナダが74%、ロシアが62%と減少する一方、EUが114%と増加した。

（単位：千^m）

材種 国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 8月	2022年 9月	前月比	前年 同月比	2021年 1～9月	2022年 1～9月	前年 同期比
合計	[100%] 4,830	[100%] 490	[100%] 355			[100%] 3,526	[100%] 3,984	113%
米材	[28%] 1,361	[18%] 91	[25%] 90			[30%] 1,047	[21%] 855	82%
米国	[3%] 135	[2%] 11	[3%] 11	99%	72%	[3%] 103	[3%] 100	97%
カナダ	[25%] 1,226	[16%] 79	[22%] 79	100%	74%	[27%] 944	[19%] 756	80%
南洋材	[1%] 56	[1%] 5	[2%] 6	111%	96%	[1%] 41	[1%] 46	114%
インドネシア	[0%] 20	[0%] 1	[1%] 2	138%	93%	[0%] 15	[0%] 16	108%
マレーシア	[1%] 34	[1%] 4	[1%] 4	101%	98%	[1%] 25	[1%] 30	120%
パプアニューギニア	[0%] 0	-	-	-	-	[0%] 0	[0%] 0	65%
ロシア材	[18%] 846	[14%] 71	[13%] 48	67%	62%	[16%] 577	[17%] 681	118%
ニュージーランド材	[1%] 57	[1%] 4	[1%] 4	118%	97%	[1%] 42	[1%] 36	86%
チリ材	[5%] 226	[3%] 14	[1%] 2	15%	6%	[5%] 166	[5%] 179	108%
欧州材	[46%] 2,210	[61%] 300	[56%] 200	67%	113%	[45%] 1,604	[54%] 2,132	133%
EU計	[44%] 2,148	[61%] 296	[55%] 195	66%	114%	[44%] 1,560	[52%] 2,086	134%
(スウェーデン)	[16%] 756	[16%] 81	[13%] 45	56%	77%	[15%] 546	[17%] 689	126%
(フィンランド)	[15%] 729	[22%] 108	[21%] 73	68%	128%	[15%] 528	[17%] 685	130%
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	108%	506%	[0%] 1	[0%] 2	121%
中国	[1%] 64	[1%] 5	[1%] 4	77%	38%	[1%] 41	[1%] 45	110%
その他	[0%] 9	[0%] 1	[0%] 0	61%	92%	[0%] 6	[0%] 6	102%

資料：財務省貿易統計

注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

注2：米材は米国、カナダより輸入された材。

注3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

注4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

注5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

注7：「-」は輸入実績なし等。

注8：EUに英国は含まない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（合板、木材チップ）

- 2022年9月の合板輸入量は、前月比88%、前年同月比95%の15万^m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、マレーシア（前年輸入量に占めるシェア43%）が93%、インドネシア（同38%）が85%と減少した。
- 前年同月比で見ると、マレーシアが95%と減少する一方、インドネシアが100%となった。

(単位:千^m³)

国名	年	月別数量				累計数量			
		2021年 (1月～ 12月)	2022年 8月	2022年 9月	前月比	前年 同月比	2021年 1～9月	2022年 1～9月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 1,865	[100%] 173	[100%] 152	88%	95%	[100%] 1,367	[100%] 1,554	114%	
マレーシア	[43%] 795	[36%] 63	[38%] 58	93%	95%	[45%] 610	[39%] 611	100%	
インドネシア	[38%] 715	[41%] 71	[40%] 60	85%	100%	[37%] 512	[39%] 599	117%	
ベトナム	[11%] 207	[11%] 18	[11%] 16	87%	74%	[10%] 142	[8%] 131	93%	
中国	[7%] 133	[11%] 19	[11%] 16	86%	105%	[7%] 93	[13%] 200	216%	
EU	[0%] 6	[1%] 1	[0%] 0	51%	133%	[0%] 5	[0%] 5	103%	
その他	[0%] 9	[0%] 1	[0%] 1	127%	94%	[0%] 6	[0%] 7	130%	

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：EUに英国は含まない。

- 2022年9月の木材チップ輸入量は、前月比99%、前年同月比108%の93万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア38%）が82%と減少する一方、オーストラリア（同18%）が152%、チリ（同10%）が225%と増加した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが89%、オーストラリアが87%と減少する一方、チリが143%と増加した。

(単位:千トン)

国名	年	月別数量				累計数量			
		2021年 (1月～ 12月)	2022年 8月	2022年 9月	前月比	前年 同月比	2021年 1～9月	2022年 1～9月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 10,996	[100%] 939	[100%] 926	99%	108%	[100%] 8,207	[100%] 8,395	102%	
ベトナム	[38%] 4,132	[45%] 426	[38%] 349	82%	89%	[38%] 3,121	[39%] 3,281	105%	
オーストラリア	[18%] 1,947	[11%] 102	[17%] 156	152%	87%	[18%] 1,513	[17%] 1,421	94%	
チリ	[10%] 1,060	[4%] 35	[9%] 79	225%	143%	[10%] 825	[8%] 685	83%	
南アフリカ共和国	[9%] 1,026	[12%] 115	[13%] 121	105%	198%	[8%] 682	[10%] 826	121%	
米国	[7%] 811	[7%] 63	[4%] 41	65%	202%	[7%] 606	[8%] 656	108%	
その他	[18%] 2,020	[21%] 199	[20%] 182	91%	119%	[18%] 1,460	[18%] 1,527	105%	

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（集成材）

- 2022年9月の集成材輸入量は、前月比75%、前年同月比107%の8.5万m³となった。構造用集成材に限ると、前月比76%、前年同月比115%の7.6万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入量に占めるシェア76%）が75%、中国（同10%）が59%と減少する一方、ロシア（同9%）が112%と増加した。EUの国別内訳では、フィンランド（同36%）が83%、ルーマニア（同15%）が50%、オーストリア（同13%）が83%と軒並み減少した。
- 前年同月比で見ると、中国が37%、ロシアが73%と減少する一方、EUが125%と増加した。

（単位：千m³）

年 国名	2021年 (1月～12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 8月	2022年 9月	前月比	前年 同月比	2021年 1～9月	2022年 1～9月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 967	[100%] 113	[100%] 85	75%	107%	[100%] 701	[100%] 857	122%
うち 構造用集成材	[100%] 832	[100%] 100	[100%] 76	76%	115%	[100%] 609	[100%] 752	123%
EU	[76%] 733	[84%] 95	[84%] 71	75%	125%	[77%] 541	[79%] 673	124%
うち 構造用集成材	[85%] 709	[93%] 93	[92%] 70	75%	127%	[86%] 524	[87%] 657	125%
フィンランド	[36%] 349	[42%] 48	[47%] 40	83%	143%	[38%] 264	[36%] 310	117%
うち 構造用集成材	[41%] 345	[48%] 47	[51%] 39	82%	143%	[43%] 261	[41%] 308	118%
ルーマニア	[15%] 148	[16%] 18	[10%] 9	50%	71%	[15%] 102	[17%] 145	142%
うち 構造用集成材	[17%] 139	[17%] 17	[11%] 8	49%	72%	[16%] 96	[18%] 138	144%
オーストリア	[13%] 126	[13%] 15	[15%] 12	83%	139%	[13%] 93	[12%] 99	107%
うち 構造用集成材	[14%] 116	[14%] 14	[16%] 12	88%	149%	[14%] 85	[12%] 93	108%
中国	[10%] 93	[6%] 6	[4%] 4	59%	37%	[9%] 60	[8%] 66	110%
うち 構造用集成材	[6%] 52	[3%] 3	[3%] 2	70%	41%	[6%] 34	[5%] 40	117%
ロシア	[9%] 84	[4%] 5	[6%] 5	112%	73%	[8%] 60	[7%] 64	107%
うち 構造用集成材	[9%] 71	[4%] 4	[5%] 4	108%	72%	[8%] 51	[7%] 55	108%
その他	[6%] 57	[6%] 7	[5%] 4	62%	90%	[6%] 40	[6%] 54	136%
うち 構造用集成材	[0%] 0	[0%] -	[0%] -	-	-	[0%] 0	[0%] 0	207%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.59号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（木質ペレット、LVL）

- 2022年9月の木質ペレット輸入量は、前月比104%、前年同月比203%の47万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、カナダ（前年輸入量に占めるシェア34%）が90%と減少する一方、ベトナム（同53%）が115%と増加した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが223%、カナダが185%と増加した。

（単位：千トン）

国名	年	月別数量				累計数量			
		2021年 (1月～ 12月)	2022年 8月	2022年 9月	前月比	前年 同月比	2021年 1～9月	2022年 1～9月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 3,117	[100%] 447	[100%] 467	104%	203%	[100%] 2,177	[100%] 3,326	153%	
ベトナム	[53%] 1,647	[55%] 248	[61%] 286	115%	223%	[51%] 1,112	[55%] 1,813	163%	
カナダ	[34%] 1,058	[32%] 142	[27%] 127	90%	185%	[36%] 781	[31%] 1,041	133%	
マレーシア	[5%] 156	[3%] 14	[1%] 4	27%	41%	[5%] 110	[2%] 76	69%	
その他	[8%] 256	[10%] 43	[11%] 49	115%	214%	[8%] 175	[12%] 396	226%	

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2022年9月のLVL輸入量は、前月比92%の4.0万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国が88%と減少した。

（単位：千m³）

国名	年	月別数量				累計数量			
		2021年 (1月～ 12月)	2022年 8月	2022年 9月	前月比	前年 同月比	2021年 1～9月	2022年 1～9月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 44	[100%] 40	92%		[100%] 384			
中国		[74%] 32	[71%] 29	88%		[75%] 289			
ベトナム		[21%] 9	[24%] 10	107%		[20%] 77			
インドネシア		[4%] 2	[4%] 2	85%		[4%] 15			
その他		[1%] 0	[1%] 0	80%		[1%] 3			

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。

2：LVLは、HSコードの改定に伴い、2022年1月1日より集計可能となったため、2021年以前のデータは存在しない。

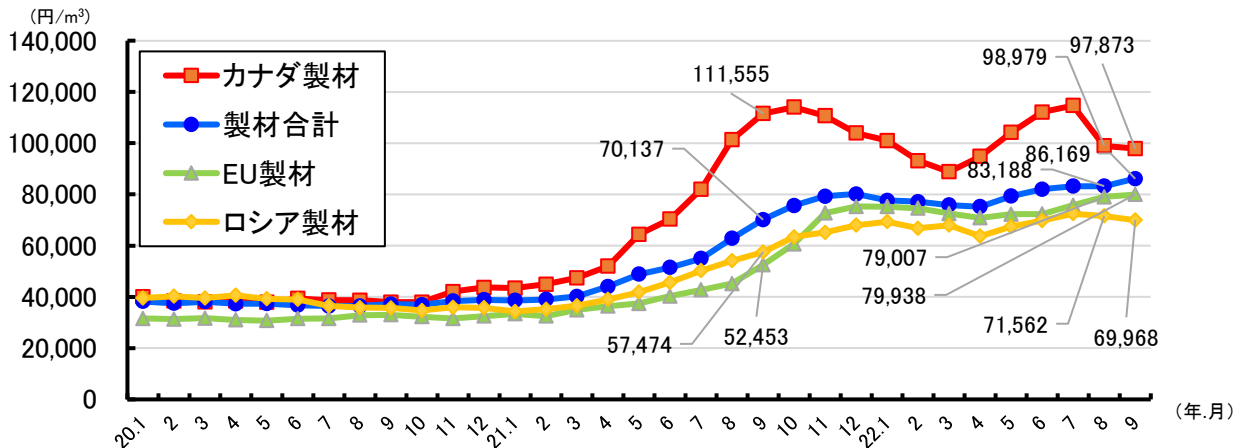
3：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

4：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

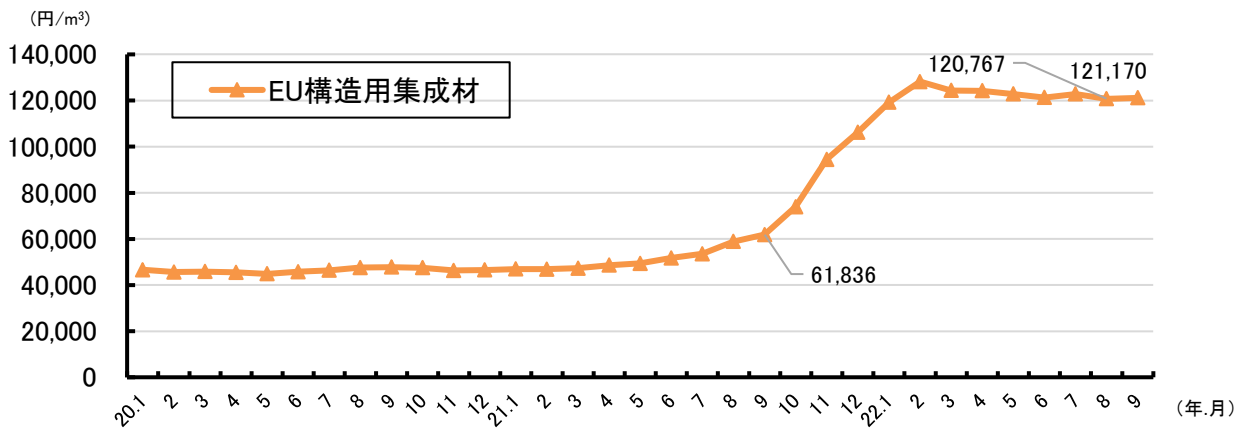
林産物輸出入情報-5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価

- 2022年9月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比104%の86,169円/ m³（前年同月比123%）。うち、カナダの製材は、前月比99%の97,873円/ m³（前年同月比88%）、EUの製材は、前月比101%の79,938円/ m³（前年同月比152%）、ロシアの製材は、前月比98%の69,968円/ m³（前年同月比122%）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比100%の121,170円/ m³（前年同月比196%）。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比102%の109,856円/ m³（前年同月比158%）。

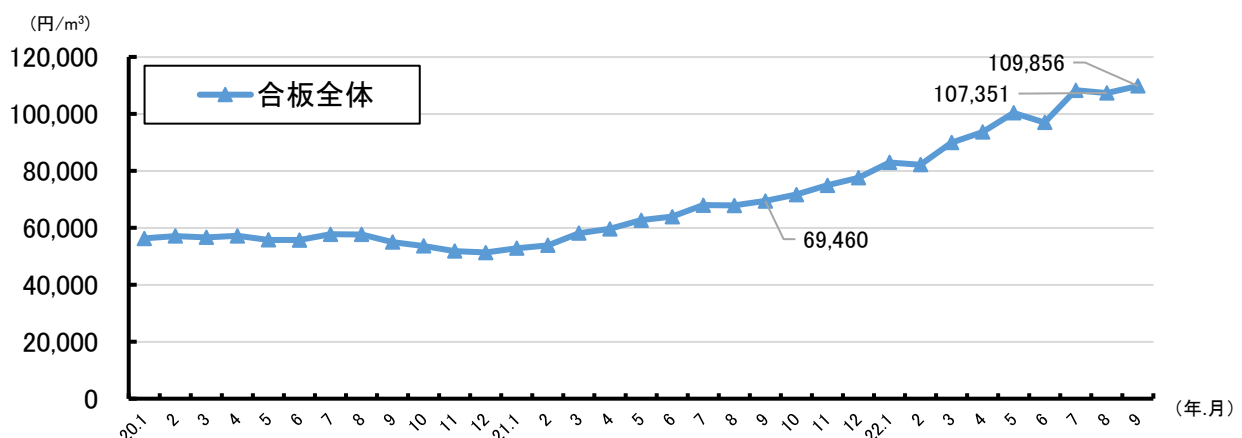
○製材の輸入平均単価



○構造用集成材の輸入平均単価



○合板の輸入平均単価



資料：財務省貿易統計

注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

特用林産情報-1 特用林産物の国内生産量

- 2021年の食用きのこ類の生産量は46万2,021t（対前年比99.9%）となった。
- たけのこの生産量は1万9,917t（対前年比75.3%）となった。
- 木炭の生産量は1万1,806t（対前年比91.2%）となった。

○きのこ類

単位:t

年次	品目	きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ	きのこ類		なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
						原木栽培	菌床栽培								
2011	平成23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32
2021	3	86,573	2,216	15,514	71,058	4,981	66,078	24,063	129,587	4,463	119,545	54,521	38,344	3,031	39

注:まつたけの1972年までの生産量は、『農林省統計表』による。

○その他食品

単位:t

年次	品目	その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎+葉柄)
2011	平成23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017
2021	3	15,700	19,917	1,886

注:くりの2010年～2020年の生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和2年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量』による。

○非食品

年次	品目	非食用																
		生うるし	木ろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m	t	t	t	t	m ³	t	kl	千本、t	千本、t	t	t	kl	kl
2011	平成23	1,345	16	1,184	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160	11,567	2,141	287
2012	24	1,438	18	1,193	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840	11,567	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,173	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,233	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,573	47	1,892	1,016	6,104	8,233	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,873	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,945	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151
2021	3	2,036	22	916	187	11,806	459	5,156	19	91,791	155,836	78	1,865	1,075	3,972	5,123	1,708	192

- 注1 木炭、薪の昭和47年までに生産量は『農林省統計表』による。
- 注2 木炭は平成3年から粉炭を含み、平成9年から竹炭を除く。
- 注3 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業界調べによる
- 注4 しきみ、さかきの単位を平成22年より千本からtに変更した。

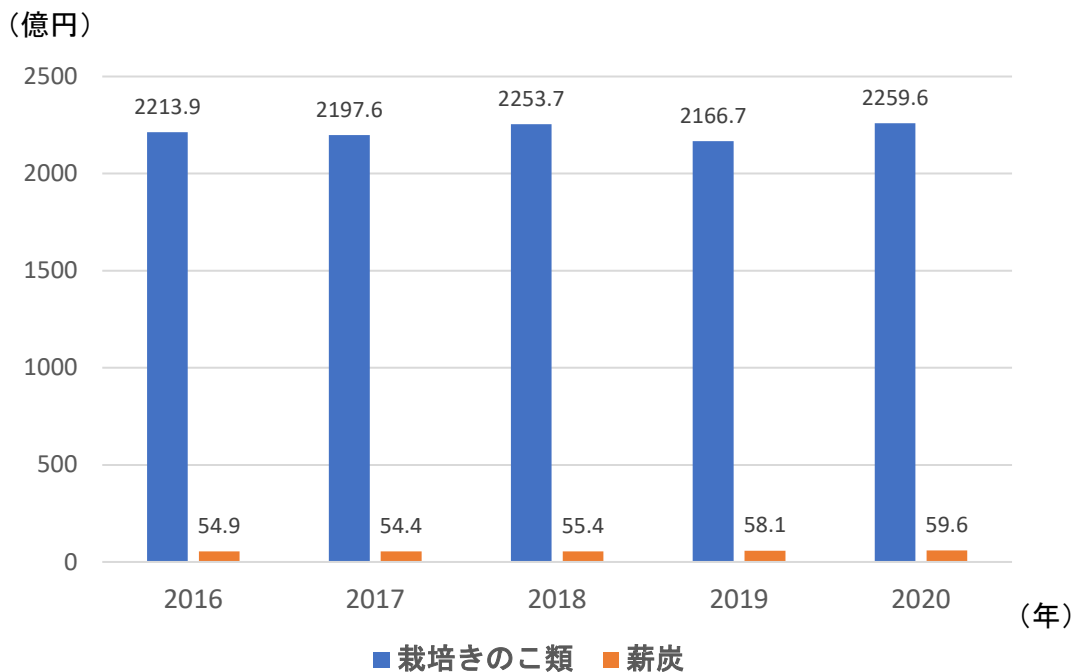
資料：特用林産基礎資料（第一報）

特用林産情報-2 特用林産物の産出額

- 2020年のきのこ類の林業産出額は2,259.6億円（対前年比104.3%）となった。
- 薪炭の林業産出額は59.6億円（対前年比102.6%）となった。

（単位：億円）

	2016	2017	2018	2019	2020
栽培きのこ類	2,213.9	2,197.6	2,253.7	2,166.7	2,259.6
薪炭	54.9	54.4	55.4	58.1	59.6



資料：農林水産省「令和2年林業産出額」

特用林産情報-3 特用林産物の輸出入量

- 2021年の乾しいたけの輸出量は41トン（対前年比124.2%）、輸入量は4,575トン（対前年比105.1%）。
- 2021年の木炭の輸出量は270トン（対前年比61.5%）、輸入量は84,224トン（対前年比105.6%）。

品目	単位	2017		2018		2019		2020		2021	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	26	5,050	24	4,998	33	4,869	33	4,354	41	4,575
生しいたけ	トン	…	2,108	…	1,942	…	1,835	…	1,785	…	1,988
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	28	24,735	46	26,696	89	25,320	14	23,190	66	22,058
まつたけ	トン	…	787	…	798	…	849	…	629	…	524
くり	トン	…	10,837	…	9,781	…	9,019	…	7,371	…	8,401
くるみ	トン	…	57,536	…	56,389	…	52,236	…	56,478	…	67,581
たけのこ	トン	…	172,499	…	167,868	…	157,296	…	142,544	…	149,780
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	14	…	3	19	7	10	4	9	5	11
生うるし	k g	…	40,925	…	35,879	…	36,254	…	30,165	…	21,910
つばき油	k l	…	154	…	177	…	180	…	220	…	224
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	…	244	1	251	0	215	0	194	0	191
桐材	m ³	…	12,527	…	10,750	…	10,099	…	9,726	…	9,871
木炭	トン	521	141,662	442	144,462	460	143,953	439	79,739	270	84,224
竹炭	トン	0	8,061	0	8,744	0	9,414	12	7,605	2	6,790
木酢液	Kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	Kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m ³	753	351	833	476	788	1,830	468	2,326	490	7,099
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	56,135	…	53,679	…	54,183	…	44,499	…	37,584
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

資料：財務省貿易統計

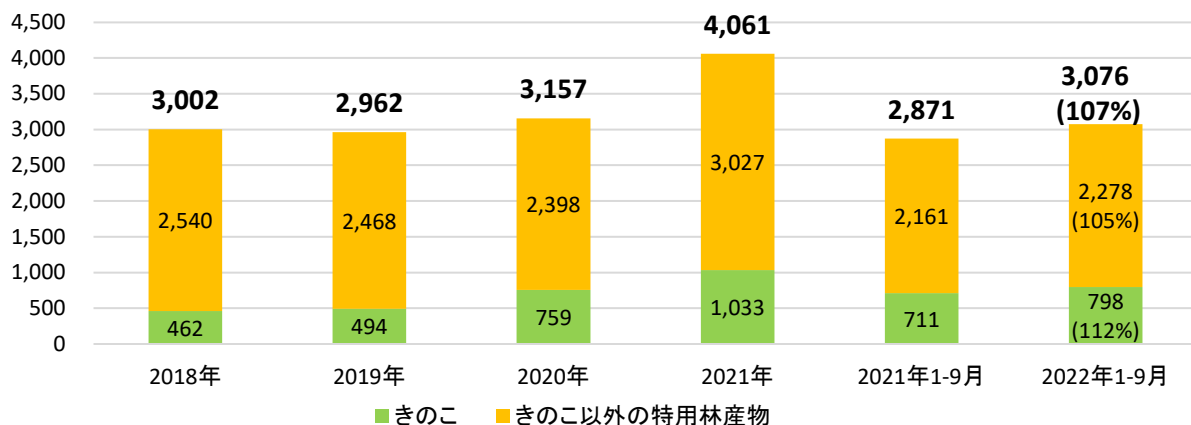
注：「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

特用林産情報-4 特用林産物の輸出額①

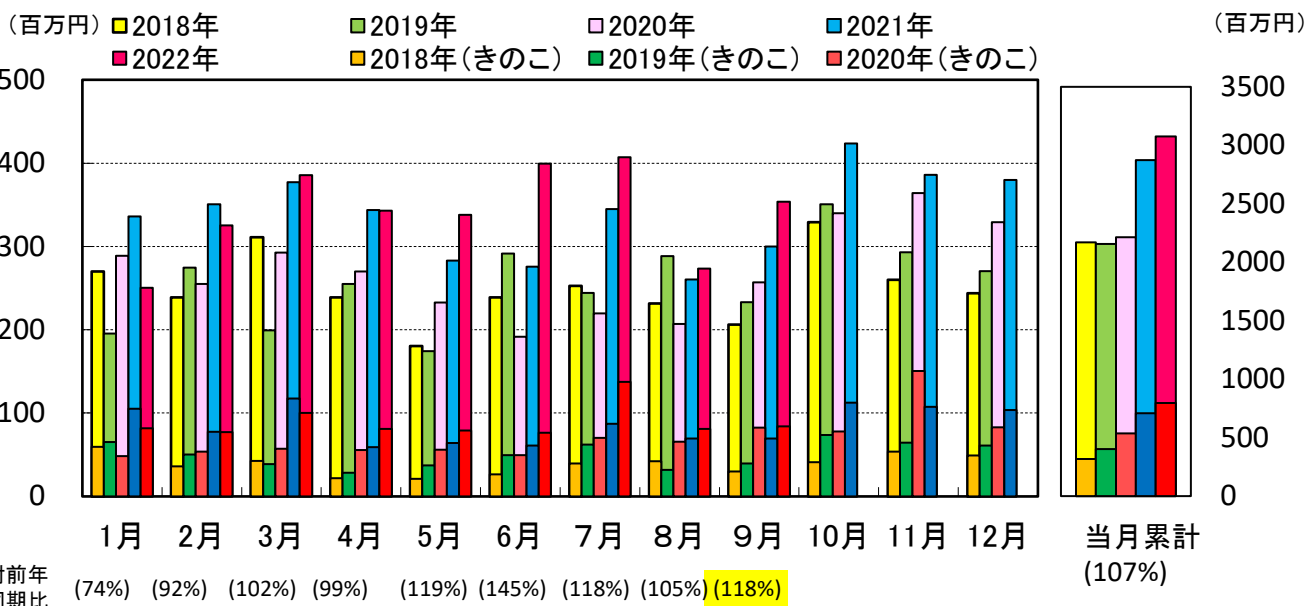
- 2022年（1～9月）での特用林産物輸出額は3,076百万円（前年同期比107%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけ含む）は、798百万円（対前年同期比112%）、きのこ以外は、2,278百万円（対前年同期比105%）となった。
- 9月輸出額は、354百万円（対前年同月比118%）となった。
- 内訳としては、きのこ（乾しいたけ含む）は84百万円（対前年同月比121%）、きのこ以外の特用林産物は270百万円（対前年同月比117%）となった。

○特用林産物輸出額全体の推移（累計）

（百万円）



○特用林産物輸出額全体の推移（月別）



資料：財務省貿易統計

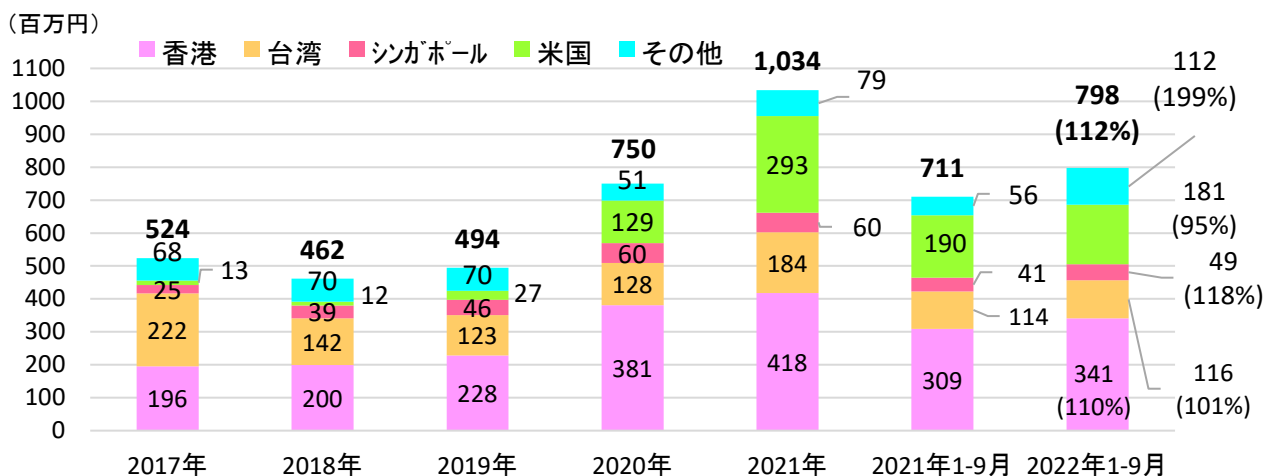
※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

特用林産情報-4 特用林産物の輸出額②

- 2022年（1～9月）のきのこの輸出額は798百万円で、対前年同期比112%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比110%、台湾が101%、シンガポールが118%、米国が95%となっている。
- 同年同期の輸出量は1,059トンで、対前年同期比132%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比122%、台湾が120%、シンガポールが104%、米国が146%となっている。

〇きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）



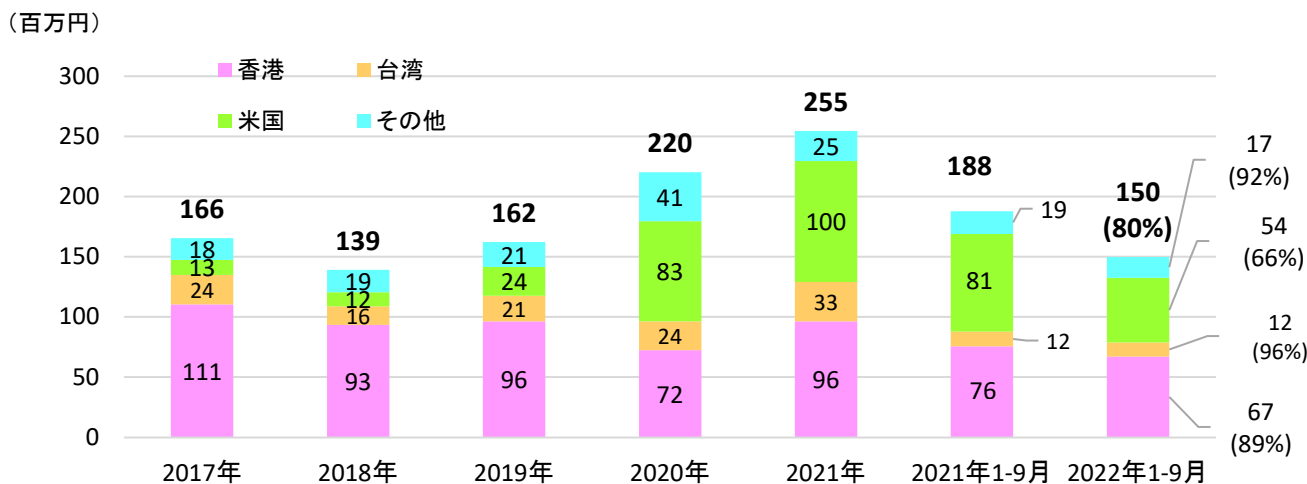
資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

- 2022年（1～9月）の乾しいたけの輸出額は150百万円で、対前年同期比80%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比89%、台湾は96%、米国は66%となっている。
- 同年同期の輸出量は30トンで、対前年同期比103%となっている。主要な輸出先では、対前年同期比は香港が83%、台湾が60%、米国が127%となっている。

〇乾しいたけ輸出額の推移（累計）



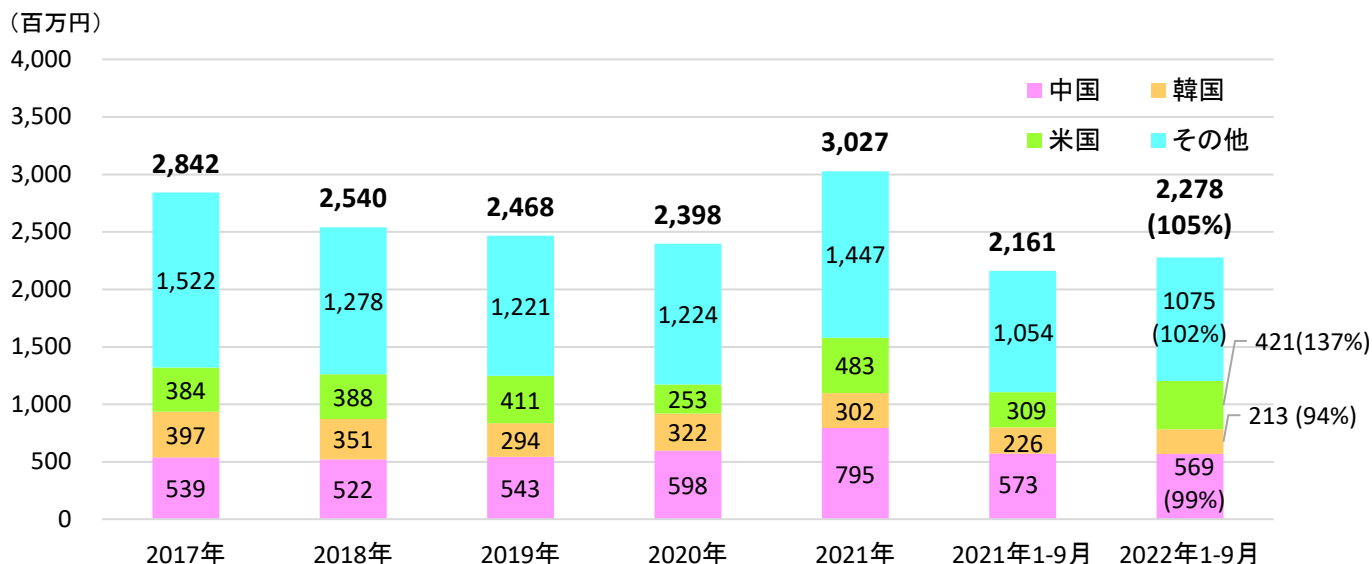
資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

特用林産情報-4 特用林産物の輸出額③

- 2022年（1～9月）のきのこ以外の特用林産物の輸出額は2,278百万円で、対前年同期比105%となっている。国別には、中国が対前年同期比99%、韓国が94%、米国が137%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比103%、植物性ろうが106%、テルペン油が109%となっている。
- 同年同期の輸出量は1,978トンで、対前年同期比105%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比103%、韓国が75%、米国が124%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

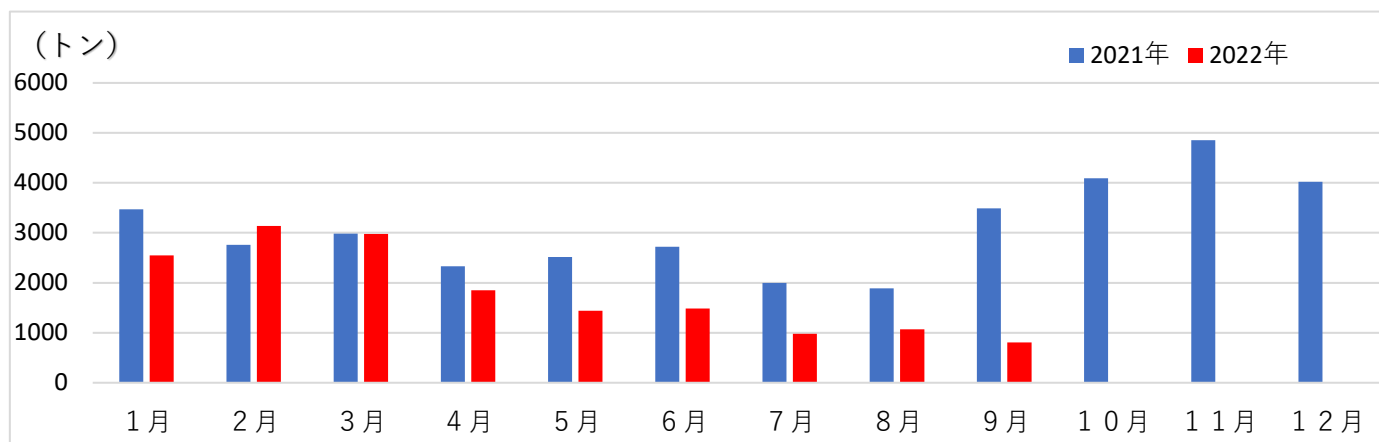
特用林産情報-5 中国からのしいたけ菌糸輸入量

- 中国からのしいたけ菌糸の輸入量は近年増加傾向にあるが、2022年4月以降は減少傾向に転じている。
- 2022年の月別の輸入量について前年と比較すると、4月以降の輸入量に減少が見られ、直近の7月には、前年の3,488トンから808トン（対前年同期比23.2%）へと大幅に減少。

○中国からのしいたけ菌糸輸入量（月別）

（単位：トン）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	3,472	2,757	2,984	2,330	2,513	2,722	1,996	1,889	3,488	4,092	4,856	4,022
2022年	2,548	3,136	2,975	1,850	1,439	1,482	980	1,068	808			



資料：財務省貿易統計

特用林産情報-6 きのこと類の卸売量・価格

- 2021年のきのこと類の卸売量は、225,649トン（対前年比99.7%）となった。
- 2021年のきのこと類の卸売価額は、96,668,000千円（対前年比91.1%）となった。

きのこと類の卸売量

単位：トン

	2017	2018	2019	2020	2021※
生しいたけ	48,399	49,391	49,121	48,466	47,744
なめこ	15,549	16,143	16,193	16,889	16,285
えのきだけ	117,251	111,238	106,291	98,312	99,571
しめじ	72,518	68,505	65,619	62,573	62,049
合計	253,717	245,277	237,224	226,240	225,649

きのこと類の卸売価額

単位：千円

	2017	2018	2019	2020	2021※
生しいたけ	46,171,290	44,690,633	43,515,380	43,780,628	41,270,000
なめこ	6,914,944	7,348,774	7,248,066	7,430,921	7,032,000
えのきだけ	25,534,311	26,329,886	24,221,698	26,244,760	23,267,000
しめじ	31,033,202	30,829,573	28,912,378	28,687,620	25,099,000
合計	109,653,747	109,198,866	103,897,522	106,143,929	96,668,000

きのこと類の卸売価格

単位：円/kg

	2017	2018	2019	2020	2021※
生しいたけ	954	905	886	903	864
なめこ	445	455	448	440	432
えのきだけ	218	237	228	267	234
しめじ	428	450	441	458	404

資料：青果物卸売市場調査

※：2021年の数値は速報値。

セミナー・イベント情報

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報をご紹介します。

■11月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
森林の仕事 ガイダンス	(エリアガイダンス) 全国各地で順次開催	全国33会場 (詳細はHP 参照)	森林・林業に関心を持つ方や就業を考える方を 対象に実施する説明会・相談会です。 主催：全国森林組合連合会 他 事前申込：要の場合あり（詳細はHP参照） 参加費：無料 詳細： https://www.ringyou.net/guidance/
第4回純国産 メンマサミット in淡路島	11月26日（土）	洲本市文化 体育館文化 ホール 「しばえも ん座」	“美味しく食べて竹林整備”の純国産メンマを始 めとした“資源としての竹”の利活用に関するさ まざまな取り組みを紹介します。 主催：純国産メンマプロジェクト 事前申込：要（申込は以下のURLから） https://lit.link/menmasummit 詳細： https://awaji- satoyama.com/aboutsumit/
ウッド デザイン賞 2022	●表彰式 12月7日（水） ●受賞作品展示 12月7日（水） ～9日（金）	東京ビッグ サイト (エコプロ 2022)	木の良さや価値を再発見できる建築物、製品や 取組について、特に優れたものを評価し、表彰 します。 主催：（一社）日本ウッドデザイン協会 詳細： http://www.wooddesign.jp
～美しい地球 は、私達の心 のハーモニー から～ 雨谷麻世 環境チャリ ティコンサー トvol. 82	12月21日（水）	セルリアン タワー東急 ホテル	歌を通じて地球環境の大切さ、命の源である 緑・森の大切さを伝えるコンサートです。 主催：（特非）太陽の会 （公社）国土緑化推進機構 Mayo Crystal Music 詳細： http://mayocrystalvoice.com/
第30回日本 文化を担う・ 漆の美展	1月20日（金） ～26日（木）	東京都 美術館 ギャラリーB	「漆の美の今の姿」を広く社会に伝える作品を 展示し、特に優れたものを評価、表彰します。 主催：（一社）日本漆工協会 事前申込：不要 入場料：無料 詳細： http://www.nihon-shikkou- kyokai.or.jp/
建築・建材展 2023	2月28日（火） ～3月3日（金）	東京国際 展示場「ビッ グサイト」 東展示棟 (オンライン 展も開催)	安心・安全で快適な住環境、商環境の実現に不 可欠な各種建材及び関連設備機器などを一堂に 集め展示します。 主催：（株）日本経済新聞社 入場料：3,000円 (ウェブサイトからの事前登録で無料) 詳細： https://messe.nikkei.co.jp/ac/info.html

ウッド・チェンジ ロゴマーク 活用のご案内

ウッド・チェンジ ロゴマークは、「ウッド・チェンジ (※)」の趣旨に賛同し、木材利用の取組を積極的に推進していることのPRにご使用いただけます！（例：ポスター、チラシ、webサイト等）

広くロゴマークをご使用いただくことで、「ウッド・チェンジ」の輪が大きくなり、「木づかい運動」を盛り上げ、木材利用の需要拡大につながります。多くの方の使用登録をお待ちしています！

(※) ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

【背景】

林野庁では、日本の森林の健全な維持やカーボンニュートラルにつながる「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を促進するため、建築物等の木造・木質化や身近なものの木製品化による木材利用拡大に取り組んでいます。

その一環で国民運動として「木づかい運動」を展開しており、「ウッド・チェンジ」を合言葉に様々な取組を行っています。



WOOD ▲ CHANGE

WOOD ▲ CHANGE



【ロゴマークの使用申請について】

1. ウッド・チェンジ ロゴマーク使用規程をご確認の上、内容にご了承いただける場合には、使用を開始する日の5日前（土、日、祝日の日数は算入しない）までに、登録フォームに必要事項を入力して申請してください。
2. 使用を認められないと判断される場合のみ、遅滞なく通知いたします。

(注) 使用が認められない場合の例として、営利を主たる目的とする場合が該当します。

例えば、販売して収益を上げる予定の布バッグやTシャツの柄としてロゴマークをプリントするなど、商品そのものへのマークの使用はお控えください。

なお、商品のチラシやパッケージ、イベントで着用するTシャツや配布者自ら製作する頒布品等に使用することは問題ありません。

ロゴマークの使用規程・ガイドライン、申請登録フォームなど、詳細はこちらから↓
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wood-change-logo.html>



お知らせ

林業の保証実績豊富な（独）農林漁業信用基金がご提供

New! 林業・木材産業の創業等支援保証

新たに林業・木材産業を開始する方（新規創業者）、他産業から林業・木材産業へ参入する方（新分野進出者）の資金調達の際に債務を保証します。この場合、**最大で5年間の保証料免除**を受けられます。

これまで、公務員、会社員、自営業の方の新規創業や、飲食・運輸業関係の企業等の新分野進出のお手伝いをしています。

※融資及び保証については一定の審査をさせていただきます。

ご利用対象者	<p>新規創業者</p> <ul style="list-style-type: none">・新規創業を行おうとする会社（※1）、個人又は組合であって、当該事業の具体的な計画を有するもの・新規創業を行った会社（※1）、個人又は組合であって、当該新規創業後の決算期が3期を経過していないもの <p>※1：事業を営んでいる会社であって当該事業開始後の決算期が3期を経過しているものの子会社を除く。</p> <p>新分野進出者</p> <ul style="list-style-type: none">・新分野進出を行おうとする会社（※2）、個人又は組合であって、当該新分野進出を行う具体的な計画を有するもの・新分野進出を行った会社（※2）、個人又は組合であって、当該新分野進出後の決算期が3期を経過していないもの <p>※2：林業・木材産業以外の事業を営んでいる会社であって当該事業開始後の決算期が3期を経過しているものの子会社を含む。</p>
保証限度額	3,000万円
保証期間	運転資金：1～10年以内、設備資金：10～15年以内
返済方法	一括返済／分割返済
保証料	免除（最大で5年間）
貸付利率	金融機関所定の利率
貸付方式	手形貸付／証書貸付
保証人・担保	ご利用条件により連帯保証人や担保が必要となる場合があります。
出資金	保証額に応じた出資金が必要です。（完済後、ご請求により払戻します。）
その他	事業見通しや経営理念などを記載した計画書を作成いただき、審査を行います。 計画書様式ダウンロード： https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/yousiki.html
申込窓口	お近くの金融機関へ直接お申込みください。 取扱い金融機関： https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/rin-yushikikan.html
相談窓口	独立行政法人農林漁業信用基金 林業調整室 林業業務推進課／林業信用保証業務部 業務課 電話：03-3434-7825（地方公共団体又は木材関係団体の方） 03-3434-7826、7827（融資機関又は保証ご利用の方） URL： https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html



お気軽にご相談ください。

2022年9月12日

木材業景況調査結果

第456回（令和4年8月分）

(一社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

8月は、販売量、仕入量については、流通部門、製造部門とも減少した。販売価格、仕入価格については、流通部門では変わらず、製造部門では下降した。今月は、特に製造部門での販売価格・仕入価格の下落が目立っている。

9月は、販売量については、流通部門では増加、製造部門では変わらずの見通し、仕入量については、流通部門、製造部門とも変わらずの見通しであった。また、販売価格については、流通部門、製造部門とも保ち合いの見通し、仕入価格については、流通部門では保ち合い、製造部門では弱含みの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材、北洋材（欧州材を含む）、国産材については、流通部門、製造部門とも弱含みの見通しである。また、建材は強含み予想である。今回は、建材を除きほとんどの部門で弱含みの予想となった。

8月はお盆休みと新型コロナ蔓延の影響により現場が進まず、低調な出荷となった。9月以降は大手ハウスメーカーと首都圏のビルダーからの受注が好調で、この状況は年内は続きそうである。また、非住宅物件の問い合わせも好調である。資材については、在庫不足は解消しつつある。

人件費、燃料費、電気代、資材、運賃等の高騰で大幅なコストアップとなり、木材事業者は対応に苦慮している。

景況調査

令和4年8月分集計表 () 内は実数

モニター数135 回答87 回収率64%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加13%(11)	変わらず43%(37)	減少45%(39)
仕入量	増加10%(9)	変わらず43%(37)	減少47%(41)
販売価格	上昇9%(8)	変わらず72%(63)	下降18%(16)
仕入価格	上昇16%(14)	変わらず70%(61)	下降14%(12)

来月の見通し

販売量	増加28%(24)	変わらず54%(47)	減少18%(16)
仕入量	増加24%(21)	変わらず55%(48)	減少21%(18)
販売価格	強含み13%(11)	保ち合い71%(62)	弱含み16%(14)
仕入価格	強含み15%(13)	保ち合い74%(64)	弱含み11%(10)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	18%(12)	54%(36)	28%(19)
南洋材	24%(14)	60%(35)	16%(9)
北洋材(欧州材を含む)	13%(8)	55%(33)	32%(19)
国産材	18%(15)	51%(42)	31%(26)
建材	41%(24)	48%(28)	10%(6)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	36%(21)	51%(30)	14%(8)

〔製造部門〕

モニター数128 回答数100 回収率78%

当月の状況

販売量	増加7%(7)	変わらず51%(51)	減少42%(42)
仕入量	増加7%(7)	変わらず47%(47)	減少46%(46)
販売価格	上昇4%(4)	変わらず69%(69)	下降27%(27)
仕入価格	上昇7%(7)	変わらず63%(63)	下降30%(30)

来月の見通し

販売量	増加26%(26)	変わらず55%(55)	減少19%(19)
仕入量	増加21%(21)	変わらず59%(59)	減少20%(20)
販売価格	強含み6%(6)	保ち合い71%(71)	弱含み23%(23)
仕入価格	強含み10%(10)	保ち合い68%(68)	弱含み22%(22)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	15%(5)	41%(14)	44%(15)
南洋材	22%(5)	57%(13)	22%(5)
北洋材(欧州材を含む)	0%(0)	31%(10)	69%(22)
国産材	14%(13)	38%(36)	48%(45)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	24%(10)	60%(25)	17%(7)

2022年10月12日

木材業景況調査結果

第457回（令和4年9月分）

（一社）全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

9月は、販売量については、流通部門・製造部門とも変わらず、仕入量については、流通部門では減少、製造部門では変わらなかった。販売価格については、流通部門では下降、製造部門では変わらなかった。また、仕入価格については、流通部門・製造部門とも下降した。

10月は、販売量については、流通部門では変わらず、製造部門では増加の見通し、仕入量については、流通部門、製造部門とも変わらずの見通しであった。また、販売価格については、流通部門では弱含み、製造部門では保ち合いの見通し、仕入価格については、流通部門・製造部門とも弱含みの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材、北洋材（欧州材を含む）、国産材については、流通部門、製造部門とも弱含みの見通しである。また、建材は強含み予想である。今回も前月同様、建材を除きほとんどの部門で弱含みの予想となった。

プレカットは、9～10月の出荷依頼が好調で年内は継続する見込みだが、年明け以降の受注減が懸念される。全国的に、非住宅物件の引き合いは好調である。また、木材相場は下がり傾向でも木材以外の経費（人件費、電気代、副資材、運賃等）が引き続き上がっており木材関係事業者は苦慮している。

景況調査

令和4年9月分集計表 ()内は実数

モニター数135 回答82 回収率61%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加27% (22)	変わらず46% (38)	減少27% (22)
仕入量	増加18% (15)	変わらず50% (41)	減少32% (26)
販売価格	上昇11% (9)	変わらず63% (52)	下降26% (21)
仕入価格	上昇15% (12)	変わらず56% (46)	下降29% (24)

来月の見通し

販売量	増加24% (20)	変わらず54% (44)	減少22% (18)
仕入量	増加21% (17)	変わらず54% (44)	減少26% (21)
販売価格	強含み11% (9)	保ち合い62% (51)	弱含み27% (22)
仕入価格	強含み15% (12)	保ち合い54% (44)	弱含み32% (26)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	14% (9)	49% (32)	37% (24)
南洋材	13% (7)	78% (42)	9% (5)
北洋材(欧州材を含む)	12% (7)	45% (26)	43% (25)
国産材	8% (6)	48% (36)	44% (33)
建 材	32% (18)	55% (31)	13% (7)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	24% (13)	69% (38)	7% (4)

〔製造部門〕

モニター数128 回答数98 回収率77%

当月の状況

販売量	増加23% (23)	変わらず51% (50)	減少26% (25)
仕入量	増加22% (22)	変わらず48% (47)	減少30% (29)
販売価格	上昇6% (6)	変わらず72% (71)	下降21% (21)
仕入価格	上昇10% (10)	変わらず60% (59)	下降30% (29)

来月の見通し

販売量	増加26% (25)	変わらず58% (57)	減少16% (16)
仕入量	増加21% (21)	変わらず57% (56)	減少21% (21)
販売価格	強含み5% (5)	保ち合い70% (69)	弱含み24% (24)
仕入価格	強含み8% (8)	保ち合い67% (66)	弱含み24% (24)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	8% (3)	37% (14)	55% (21)
南洋材	17% (4)	50% (12)	33% (8)
北洋材(欧州材を含む)	3% (1)	35% (12)	62% (21)
国産材	8% (7)	44% (41)	48% (45)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	23% (9)	58% (23)	20% (8)

2022年11月14日

木材業景況調査結果

第458回（令和4年10月分）

(一社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

10月は、販売量、仕入量については、流通部門では減少、製造部門では変わらなかった。販売価格、仕入価格については、流通部門・製造部門とも下降した。前月と同様、販売量・販売価格ともに減少・下降が目立っている。

11月は、販売量、仕入量については、流通部門・製造部門とも変わらずの見通し、販売価格については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通し、仕入価格については、流通部門では弱含み、製造部門では保ち合いの見通しである。こちらは販売量・販売価格とも、変わらず・保ち合いが多い。

3ヵ月後の相場予想は、米材、北洋材（欧州材を含む）、国産材については、流通部門、製造部門とも弱含みの見通しである。また、建材は強含み予想である。今回も前月同様、建材を除きほとんどの部門で弱含みの予想となった。

プレカット工場の受注量は鈍化しており、年明け以降についても不透明である。木材の供給不安はなく、総じて値下げ傾向。非住宅物件の引き合いは好調である。土地と建材価格の上昇が住宅需要に影響しており、コストダウンのためプレカット工場への値下げ圧力が強い一方で、人件費、電気代、副資材、運賃が値上がりしており加工コストは上がっている。

景況調査

令和4年10月分集計表 () 内は実数

モニター数135 回答93 回収率69%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加17% (16)	変わらず56% (52)	減少27% (25)
仕入量	増加14% (13)	変わらず57% (53)	減少29% (27)
販売価格	上昇13% (12)	変わらず60% (56)	下降27% (25)
仕入価格	上昇15% (14)	変わらず55% (51)	下降30% (28)

来月の見通し

販売量	増加18% (17)	変わらず58% (54)	減少24% (22)
仕入量	増加14% (13)	変わらず63% (59)	減少23% (21)
販売価格	強含み13% (12)	保ち合い67% (62)	弱含み20% (19)
仕入価格	強含み14% (13)	保ち合い58% (54)	弱含み28% (26)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	10% (7)	42% (30)	49% (35)
南洋材	28% (17)	48% (29)	25% (15)
北洋材(欧州材を含む)	9% (6)	37% (24)	54% (35)
国産材	7% (6)	52% (46)	41% (36)
建 材	38% (25)	48% (31)	14% (9)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	32% (20)	62% (39)	6% (4)

〔製造部門〕

モニター数128 回答数101 回収率79%

当月の状況

販売量	増加24% (24)	変わらず55% (56)	減少21% (21)
仕入量	増加22% (22)	変わらず51% (52)	減少27% (27)
販売価格	上昇 7% (7)	変わらず66% (67)	下降27% (27)
仕入価格	上昇17% (17)	変わらず55% (56)	下降28% (28)

来月の見通し

販売量	増加21% (21)	変わらず65% (66)	減少14% (14)
仕入量	増加17% (17)	変わらず67% (68)	減少16% (16)
販売価格	強含み 7% (7)	保ち合い70% (71)	弱含み23% (23)
仕入価格	強含み14% (14)	保ち合い65% (66)	弱含み21% (21)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	15% (5)	39% (13)	45% (15)
南洋材	18% (4)	55% (12)	27% (6)
北洋材(欧州材を含む)	7% (2)	27% (8)	67% (20)
国産材	8% (8)	43% (41)	48% (46)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	28% (12)	56% (24)	16% (7)